



学校法人 瓜生山学園

京都芸術大学
通信教育部

募集要項2024

■ 4月入学（芸術教養学科・芸術学科・美術科・デザイン科）

学科・コース		出願期間
芸術教養学科		
芸術学科	<ul style="list-style-type: none">・芸術学コース・歴史遺産コース・文芸コース・和の伝統文化コース・アートライティングコース	[第1期] 2024年1月15日(月) 10:00 ~ 2月16日(金) [第2期] 2024年2月17日(土) ~ 2月29日(木) [第3期] 2024年3月 1日(金) ~ 3月30日(土) 17:00
美術科	<ul style="list-style-type: none">・日本画コース・洋画コース・陶芸コース・染織コース・写真コース・書画コース	
デザイン科	<ul style="list-style-type: none">・グラフィックデザインコース・建築デザインコース・ランドスケープデザインコース・空間演出デザインコース・イラストレーションコース・映像コース・食文化デザインコース	
		↓ [最終書類提出] 2024年4月5日(金) [消印有効]

■ 4月入学（科目等履修生）

課程	出願期間
博物館学芸員課程	2024年1月15日(月) 10:00 ~ 2月16日(金) 17:00 ↓ [書類提出] 2024年2月16日(金) [消印有効]

■ 10月入学（芸術教養学科のみ募集）

学科	出願期間
芸術教養学科	2024年8月22日(木) 10:00 ~ 10月5日(土) 17:00 ↓ [書類提出] 2024年10月5日(土) [消印有効]

基本情報

募集概要

- 学科・コース構成と募集定員
- 授与される学位、入学選考
- 出願資格、取得できる資格

アドミッション・ポリシー (求める学生像)

通信教育の大切な
ことをまとめています!



募集概要

学科・コース構成と募集定員

学部	学科	コース	定員	
通信教育部芸術学部	芸術教養学科	手のひら芸大	830名 1年次入学 330名 3年次編入学 500名	
	芸術学科	芸術学コース	週末芸大	400名 1年次入学 130名 2年次編入学* 10名 3年次編入学 260名
		歴史遺産コース	週末芸大	
		文芸コース	手のひら芸大	
		和の伝統文化コース	週末芸大	
		アートライティングコース	手のひら芸大	
	美術科	日本画コース	週末芸大	420名 1年次入学 150名 2年次編入学* 10名 3年次編入学 260名
		洋画コース	週末芸大	
		陶芸コース	週末芸大	
		染織コース	週末芸大	
		写真コース	週末芸大	
		書画コース	手のひら芸大	
	デザイン科	グラフィックデザインコース	週末芸大	1,760名 1年次入学 800名 2年次編入学* 10名 3年次編入学 950名
		建築デザインコース	週末芸大	
		ランドスケープデザインコース	週末芸大	
		空間演出デザインコース	週末芸大	
		イラストレーションコース	手のひら芸大	
		映像コース	手のひら芸大	
食文化デザインコース		手のひら芸大		

1学部4学科
18コース
あります



*2年次編入学は、別途本学が指定した場合に限る。

授与される学位

卒業すると学士(芸術)の学位が授与されます。

入学選考

入学試験は行いません。出願書類による書類選考のみ行います。

出願資格

入学形態は、1年次入学と3年次編入学があります。大学入学資格をお持ちでない方(ただし、2024年3月31日までに満30歳に達する方)は、7ページ「特修生制度」をご覧ください。

入学にあたってはインターネット接続環境が整ったパソコンの所有と基本操作能力が必要です(38ページ参照)。以下よりそれぞれの出願資格をご確認ください。

1年次入学

2024年3月31日までに満18歳に達する方、もしくは18歳未満でも文部科学省の定める大学入学資格を有する方で、次のいずれかに該当する方

1	高等学校もしくは中等教育学校を卒業した方、および2024年3月卒業見込の方*
2	通常の課程による12年の学校教育を修了した方、および2024年3月修了見込の方*
3	高等学校卒業程度認定試験(旧大学入学資格検定)の合格者、および2024年3月31日までに合格見込の方*
4	文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した方、および2024年3月修了見込の方*
5	文部科学大臣の指定した方

*芸術教養学科の後期(10月)入学は、2024年9月卒業および修了、2024年9月30日までに合格見込の方。

3年次編入学

次のいずれかに該当する方

1	大学、短期大学、高等専門学校(5年制)を卒業した方、および2024年3月卒業見込の方*
2	専修学校専門課程(専門学校)、高等学校の専攻科を修了した方、および2024年3月修了見込の方で、大学編入学資格のある方* 専修学校専門課程(専門学校)、高等学校の専攻科からの編入学には条件があります。下記の「(1)編入学の対象となる専修学校専門課程(専門学校)・高等学校の専攻科」を参照してください。
3	大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された方、および2024年3月までに授与見込の方*
4	大学2年次修了者(ひとつの大学に休学期間を含めずに2年以上在籍し、62単位以上〈建築デザインコースは52単位以上〉修得した方)、および2024年3月修了見込の方* ●通信制大学退学の場合は、62単位(建築デザインコースは52単位)のうち、6単位以上をスクーリングで修得していること。ただし、芸術教養学科、アートライティングコースを除く(スクーリングの単位数の条件はありません)。 ●複数の大学の在籍期間を合算して2年以上とすることや、修得単位を合算して62単位以上とすることはできません。 ●本学通信教育部芸術教養学科またはアートライティングコースに1年次入学後、自主退学を出願資格として同コースに入学する場合、学習期間が2年以上、62単位以上を修得した方でも、3年次編入学ができない場合があります。該当する方は、通信教育課程入学課(tsushin@office.kyoto-art.ac.jp)へご連絡ください。なお、同コースに1年次入学として入学する場合はこの限りではありません。

*芸術教養学科の後期(10月)入学は、2024年9月卒業および修了、2024年9月30日までに授与および取得見込の方。

未経験の方を前提にしたカリキュラムですので、出願資格をお持ちの方は3年次編入学でご出願ください



(1) 編入学の対象となる専修学校専門課程(専門学校)・高等学校の専攻科

大学入学資格を有する方で、次のいずれかに該当する方

1	修業年限が2年以上の課程で修了に必要な総授業時数が1,700時間以上の基準を満たす専修学校専門課程(専門学校)を修了した方 ●専門学校の場合、修了時に「専門士」の称号を付与された方は、この基準を満たしています。ご自身がこの基準を満たしているかどうかは、ご出身の専門学校で確認してください。
2	修業年限が2年以上で、その他文部科学大臣の定める基準を満たす高等学校の専攻科を修了した方 ●ご自身がこの基準を満たしているかどうかは、ご出身の高等学校で確認してください。

- 出願手続の際、本学所定の「編入学基礎資格証明書」を修了した学校にてすべて記入・捺印いただく必要があります(72、81～82ページ「提出書類 B.編入学基礎資格証明書」参照)。
- 大学入学資格を確認する書類の提出を別途求める場合があります。
- 専修学校専門課程(専門学校)の場合、入学した年が「専修学校設置基準施行」の1976年(昭和51年)1月以降の方が対象です。また、修了した課程が専修学校専門課程として設置認可を受ける前に入学した方は対象外です。

(2) 編入学出願資格に該当しないもの

以下は出願資格に該当しません。

- 大学院
- 高等学校の別科
- 高等専門学校 退学
- 高等学校の専攻科 退学
- 大専校*
- 大学・短期大学の専攻科、別科
- 短期大学 退学
- 専修学校専門課程(専門学校) 退学
- 海外の大学・短期大学 退学
- 各種学校

※各省庁設置の大学卒業で、大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された方は編入学出願資格に該当します。

海外の学校教育の課程修了を出願資格とされる方

1年次入学

2024年3月31日までに満18歳に達する方、もしくは18歳未満でも文部科学省の定める大学入学資格を有する方で、次のいずれかに該当する方

海外において学校教育における12年の課程を修了した方、および2024年3月までに修了見込の方*、IB(国際バカロレア)のDP修了資格を取得した方、および2024年3月までに取得見込の方、または、これに準ずる方で文部科学大臣の指定した方

以下の国際的な評価団体の認定を受けた学校の12年の課程を修了した方、および2024年3月までに修了見込の方*を含みます。

- WASC(ウェスタン・アソシエーション・オブ・スクールズ・アンド・カレッジズ)
- ACSI(アソシエーション・オブ・クリスチャン・スクールズ・インターナショナル)
- CIS(カウンセラー・オブ・インターナショナル・スクールズ)
- NEASC(ニューイングランド・アソシエーション・オブ・スクールズ・アンド・カレッジズ)

※芸術教養学科の後期(10月)入学は、2024年9月卒業および修了、2024年9月30日までに合格見込の方。

上記の大学入学資格をお持ちでない方は下記「特修生制度」参照

3年次編入学

次のいずれかに該当する方

海外において、学校教育における14年以上の課程を修了した方、および2024年3月までに修了見込の方*ただし、学士または準学士、短期大学士を取得した方、および2024年3月までに取得見込の方*に限る。

※芸術教養学科の後期(10月)入学は、2024年9月卒業および修了、2024年9月30日までに授与および取得見込の方。

特修生制度

大学入学資格をお持ちでない方(ただし、2024年3月31日までに満30歳に達する方)が「特修生」として1年間学習(科目等履修)し、16単位以上修得できれば、翌年度の4月に本学通信教育部芸術学部に1年次入学する資格を得ることができます。

「特修生制度」での出願を希望する方は本学通信教育部Webサイト(<https://www.kyoto-art.ac.jp/t/>)の「入学のしかた」ページをご確認ください。なお、旧制学校卒業の方は別途下記までお申し出ください。

- 出願期間：2024年1月15日(月)～2月16日(金)[消印有効]

京都芸術大学 通信教育課程入学課

☎ 0120-20-9141 E-mail : tsushin@office.kyoto-art.ac.jp

！ 出願資格と入学に関する諸注意

二重学籍

正科生として学校教育法に定められた大学、短期大学、大学院、高等専門学校、高等学校の専攻科に在籍している方は、二重学籍のため入学できません。

※専修学校専門課程(専門学校)、大学校、各種学校に在籍中の方や、他大学等の科目等履修生の方は入学できます。なお、本学通信教育部科目等履修との重複出願はできません。

退学見込者は退学日付に注意してください

学校教育法に定められた大学、短期大学、大学院、高等専門学校、高等学校の専攻科に在籍中で退学を予定している場合、退学の日付が2024年4月1日*以降になると二重学籍となり、入学できません。海外の大学、短期大学、大学院に在籍中の方も同様の扱いです。

*芸術教養学科の後期(10月)入学は2024年10月1日。

海外居住者の入学条件

出願にあたっては、日本国内の確実な連絡先を本人現住所として入力または記載してください。本学からのすべての送付物(郵便・宅配便等)の宛先は、日本国内の連絡先(中継先)です。海外の居住地に直接送ることはできません。なお、スクーリング(Web受講を除く)は日本国内で受けなければなりません。また、科目の課題提出時間や各種申請手続等の締切日時は、日本時間を基準にします。

※海外でパソコンをご利用の場合は、日本語版OSのみ利用できます。また、ブラウザの設定も日本語に設定する必要があります。タブレットやスマートフォンの場合は、言語環境を日本語に設定する必要があります。

疾患や障がいのある方の修学

該当する方は、出願締切の1ヶ月前までに通信教育課程入学課(tsushin@office.kyoto-art.ac.jp)にご相談ください。必要に応じて事前面談を行います。なお、ご連絡がない場合も出願時の「心身の状況」の内容に応じて、面談を提案させていただく可能性があります。

なお、通信教育部の学習上のサポートは主に対面スクーリングを対象にしています。

- 例) ・スクーリング時の介助者の同行許可
・スクーリング時の座席配慮
・補聴器や音声認識アプリ等、日常的に使用されている機器類の使用許可
・配付資料の事前提供(電子版の提供) など

その他、ご要望に応じて対応を検討いたしますので、事前にご相談ください。特に、学科・コースによっては実技(技術習得)を伴う科目が卒業認定上の必修科目として設定されている場合があります。障がい等の状況により配慮が必要になる場合は、学習方法・配慮方法について、事前にご相談ください。

なお、京都瓜生山キャンパスは立地の都合上、坂道や階段が多いキャンパスとなっています。場所によっては、バリアフリー整備が十分ではない校舎等もございますので、スクーリングを京都で予定されている方は、事前にご見学・ご相談ください。

取得できる資格

書画コース、イラストレーションコース、
映像コース、食文化デザインコース以外の全学科・コース

資格	取得の条件
学芸員	博物館学芸員課程の履修（受講登録料要、受講登録は2年次以上が対象）

建築デザインコース

資格	取得の条件
建築士試験（2級／木造）受験資格および免許登録資格	卒業
建築士試験（1級）受験資格	卒業 ※建築士法の改正により、卒業後すぐの受験が可能。ただし、免許登録要件としては、試験合格と2年の実務経験が必要。
技術検定（2級） 第二次検定 受験資格	建設機械施工管理 土木施工管理 建築施工管理 電気工事施工管理 電気通信工事施工管理 管工事施工管理 造園施工管理
技術検定（1級） 第一次検定 第二次検定 受験資格	第一次検定の合格、卒業後実務経験1年以上
	卒業後実務経験3年以上 ただし第二次検定の受験は第一次検定合格後

ランドスケープデザインコース

資格	取得の条件
造園施工管理技術検定（2級）第二次検定受験資格	第一次検定の合格、卒業後実務経験1年以上
造園施工管理技術検定（1級）第一次検定、 第二次検定受験資格	卒業後実務経験3年以上 ただし第二次検定の受験は第一次検定合格後
登録ランドスケープアーキテクト（RLA）受験資格	卒業後実務経験3年以上
登録ランドスケープアーキテクト補（RLA補）	卒業 ※卒業証明書提出により資格認定試験免除

空間演出デザインコース

資格	取得の条件
建築士試験（2級／木造）受験資格および免許登録資格	所定の科目を履修し卒業すること（57ページ参照）
インテリアプランナー登録資格	卒業
商業施設士受験資格	卒業後実務経験1年以上 ※商業施設士補（卒業制作着手年度に講習会を受講）を在学中に得た場合、卒業後実務経験不要かつ学科試験免除

アドミッション・ポリシー

(求める学生像)

—— 芸術教養学科 ——

人類の芸術遺産とそれに関わる学術的営みに敬虔であり、
かつ文化芸術の当事者たらんとする意志を備えた人の入学を期待しています。

- ・専門分野の学びはもちろん、人間・自然・社会の諸事象についての学びをおろそかにしない人
- ・みずから学ぶ手段を身につける意欲を持ち、基礎的な修練をいとわない人
- ・自分が生活する地域から学び、学びの成果を地域に返していこうとする人
- ・インターネットを通じた日本語による意思疎通が可能である人

—— 芸術学科 ——

文化芸術という行為に関心を持ち、それぞれの生きる場にありながら

他者と協力して問題を考えていく人の入学を期待しています。

- ・現代の文化芸術環境に問題意識を持っている人
- ・他者の理解を得ながらそれを探究しようという真摯な姿勢を持つ人
- ・必要な知識や技術をみずから学び身につけることのできる人

—— 美術科 ——

美術工芸の各専門分野に関心があり、

地域、年齢、職業を超えた交流を積極的に推進する人材を求めます。

- ・制作することの意味を問い、実践していく人
- ・構想力と表現力を身につけ意欲を持って制作を続けられる人
- ・みずから学ぶという積極的な学習意欲がある人

—— デザイン科 ——

ものづくりやデザインに関心を持ち、

柔軟な思考で未来を切り開く意欲のある人の入学を期待しています。

- ・現代の生活環境を取り巻くモノのカタチやデザインに問題意識を持っている人
- ・他者の理解を得ながらそれを探究しようという真摯な姿勢を持つ人
- ・必要な知識や技術をみずから学び身につけることのできる人



手のひら芸大

芸術教養学科

P12 ~



芸術教養
学科

文芸コース

P14 ~

アートライティングコース

書画コース

イラストレーションコース

映像コース

食文化デザインコース



文芸



アート
ライティング



書画



イラスト
レーション



映像



食文化
デザイン

通学不要。

完全オンライン学習で

どこでも学べます!



- 出願期間

- 卒業要件



手のひら芸大

出願期間

入学日は4月1日です。出願期間内はいつでも出願できますが、出願時期により学生証などの発送時期が異なります(74ページ参照)。最短年数での卒業をめざす場合は、できるだけ早く出願することをおすすめします。なお、出願者数の状況により出願期間内に募集を締め切ることがあります。

入学時期	出願期間	書類提出期限
前期(4月)入学	2024年1月15日(月)10:00～3月30日(土)17:00	4月5日(金)[消印有効]

※海外(日本国外)から送付の場合は【必着】です。【消印有効】ではありません。海外居住者の入学条件については8ページ参照。

卒業要件

1年次入学

修業年限(卒業までに必要とする最短年数) …4年

在籍年限(在籍できる最長年数) …9年 休学については57ページ参照。

卒業要件…124単位以上(スクーリング科目30単位以上)

学科	コース	学部共通 専門教育科目	コース専門教育科目	自由選択 ^{*1}	卒業要件
芸術学科	文芸	60単位以上 ^{*3}		64単位以上	124単位以上 スクーリング科目(WS科目含む) 30単位以上
	アート ライティング	32単位以上	28単位以上	64単位以上	124単位以上 スクーリング科目(WS科目含む) 30単位以上 ^{*2}
美術科	書画	20単位以上	40単位 テキスト科目16単位 スクーリング科目24単位	64単位以上	124単位以上 スクーリング科目(WS科目含む) 30単位以上 ^{*2}
デザイン科	イラスト レーション	12単位以上	48単位 テキスト科目24単位 スクーリング科目(WS科目含む) 24単位	64単位以上	124単位以上 スクーリング科目(WS科目含む) 30単位以上 ^{*2}
	映像	12単位以上	48単位 テキスト科目24単位 スクーリング科目(WS科目含む) 24単位	64単位以上	124単位以上 スクーリング科目(WS科目含む) 30単位以上 ^{*2}
	食文化 デザイン	12単位以上	48単位 テキスト科目24単位 スクーリング科目(WS科目含む) 24単位	64単位以上	124単位以上 スクーリング科目(WS科目含む) 30単位以上 ^{*2}

※履修科目一覧は47～56ページをご確認ください。

※1：自由選択は、総合教育科目、学部共通専門教育科目、コース専門教育科目、資格関連科目(要別途申込)のいずれでも選択できます。

※2：下記の条件により、30単位を上限に既修得単位認定を受けることが可能です。

※3：文芸コースでは「芸術学科専門教育科目」(47ページ参照)から修得した単位も含まれます。

既修得単位の認定(1年次入学の方のみ対象)

本学通信教育部入学前に大学、短期大学、高等専門学校(専攻科)で修得した単位は、本学通信教育部の単位として認定できます。認定された単位は、卒業に必要な単位数に含めることができます。

① 認定対象となる単位

- ・ 文部科学省認可の大学・短期大学で修得した単位、および高等専門学校(専攻科)で修得した単位
- ・ 文部科学省認可の大学・短期大学の科目等履修生として修得した単位

※1つの大学等での修得単位が30単位に満たない場合、30単位を上限として複数の大学等で修得した単位を合算して認定できます。

※本学通信教育部科目等履修(臨床美術士課程)で修得した単位も対象です。該当する方は、入学後、Web上の「airU学習ガイド」をご確認ください。

文芸コース・アートライティングコース・書画コース イラストレーションコース・映像コース・食文化デザインコース

②認定方法

「総合教育科目」として一括認定。認定上限は30単位、うちスクーリング上限は6単位。

文芸コース・アートライティングコースの方は、すべてテキスト科目として認定します。

※認定単位については、申請後に学習用Webサイト「airUマイページ」にてご確認ください。「既修得単位認定通知」を出力することも可能です。

※授業内容に関わらず「総合教育科目」として一括認定します。

希望者は、入学後(77ページ参照)に申請してください。

詳しくは入学後、Web上の「airU学習ガイド」をご確認ください。

認定外となる単位

- 高等学校の単位 ● 高等学校の専攻科の単位[※] ● 大学・短期大学の専攻科、および大学院の単位
- 高等専門学校の本科の単位 ● 専修学校専門課程(専門学校)の単位[※] ● 海外の大学や短期大学の単位[※]
- 大学校や各種学校の単位

※専修学校専門課程、高等学校の専攻科、海外の大学や短期大学を卒業・修了した方は編入学が可能な場合があります。6ページの3年次編入学の項目を確認してください。

▶あわせてご確認ください 77ページ「1年次入学の既修得単位認定の申請方法」

3年次編入学

修業年限(卒業までに必要とする最短年数) …2年

在籍年限(在籍できる最長年数) …7年 休学については57ページ参照。

卒業要件…62単位以上(スクーリング科目24単位以上[※])

学科	コース	学部共通 専門教育科目	コース専門教育科目	自由選択 [※]	卒業要件
芸術学科	文芸	60単位以上 ^{※2}		2単位以上	62単位以上 スクーリング科目24単位以上 (124単位から62単位免除)
	アート ライティング	32単位以上	28単位以上	2単位以上	62単位以上 スクーリング科目(WS科目含む) 24単位以上(124単位から62単位免除)
美術科	書画	12単位以上	40単位 テキスト科目16単位 スクーリング科目24単位	10単位以上	62単位以上 スクーリング科目24単位以上 (124単位から62単位免除)
デザイン科	イラスト レーション	12単位以上	48単位 テキスト科目24単位 スクーリング科目(WS科目含む) 24単位	2単位以上	62単位以上 スクーリング科目(WS科目含む) 24単位以上(124単位から62単位免除)
	映像	12単位以上	48単位 テキスト科目24単位 スクーリング科目(WS科目含む) 24単位	2単位以上	62単位以上 スクーリング科目(WS科目含む) 24単位以上(124単位から62単位免除)
	食文化 デザイン	12単位以上	48単位 テキスト科目24単位 スクーリング科目(WS科目含む) 24単位	2単位以上	62単位以上 スクーリング科目(WS科目含む) 24単位以上(124単位から62単位免除)

※履修科目一覧は47～56ページをご確認ください。

※1：自由選択は、総合教育科目、学部共通専門教育科目、コース専門教育科目、学科専門教育科目、資格関連科目(要別途申込)のいずれでも選択できます。

※2：文芸コースでは「芸術学科専門教育科目」(47ページ参照)から修得した単位も含まれます。

POINT

スクーリング受講について

手のひら芸大(芸術教養学科を除く)コースは完全オンラインで卒業可能ですが、選択科目としてスクーリング科目(総合教育科目、学部共通専門教育科目、学科専門教育科目、資格関連科目(要受講登録))を受講いただけます。

学費

- 学費早見表
- 出願時に必要な費用
- 入学後に必要な費用
(教材・機材・アプリケーション等)

学費の内容を
チェック
してください!



学費早見表

出願時には1年目の授業料と入学金等が必要です。

※スクーリング受講料は、会場、必修科目以外でのS科目受講数によって合計金額が変わります。卒業までの合計金額には教材・機材費、テキスト代などは含んでいません。

- スクーリング受講料 27ページ参照
- テキスト・教材・機材費 28～30ページ参照
- パソコン・アプリケーション 31～34ページ参照

卒業までに必要な費用

《芸術教養学科》

出願時	入学選考料	入学金	授業料(1年目)	保険料	合計
	20,000円	30,000円	170,000円	授業料に含む	220,000円

→24ページ参照

+

入学後	授業料
	170,000円 ×在籍年数(2年目～)

→27ページ参照

||

卒業までの合計金額
1年次入学(4年間) 730,000円
3年次編入学(2年間) 390,000円

卒業までに必要な費用

《芸術学科》

出願時	入学選考料	入学金	授業料(1年目)	保険料	合計
芸術学コース 歴史遺産コース 和の伝統文化コース	20,000円	30,000円	231,000円	140円	281,140円
文芸コース アートライティングコース			348,000円		398,140円

→24ページ参照

+

入学後	授業料
芸術学コース・歴史遺産コース・和の伝統文化コース	231,000円 ×在籍年数(2年目～)
文芸コース・アートライティングコース	348,000円 ×在籍年数(2年目～)

→27ページ参照

+

スクーリング受講料(文芸コース・アートライティングコースは任意)
8,000円～16,000円×単位数

→27ページ参照

||

卒業までの合計金額(目安)	
芸術学コース・歴史遺産コース・和の伝統文化コース	1年次入学(4年間) 1,070,140円～1,289,140円 3年次編入学(2年間) 608,140円～764,140円
文芸コース・アートライティングコース	1年次入学(4年間) 1,442,140円～ 3年次編入学(2年間) 746,140円～

卒業までに必要な費用

《美術科》

出願時	入学選考料	入学金	授業料(1年目)	保険料	合計
日本画コース・洋画コース・ 陶芸コース・染織コース・ 写真コース	20,000円	30,000円	323,000円	140円	373,140円
書画コース			348,000円		398,140円

→24ページ参照

+

入学後	授業料
日本画コース・洋画コース・陶芸コース・染織コース・写真コース	323,000円 ×在籍年数(2年目~)
書画コース	348,000円 ×在籍年数(2年目~)

→24ページ参照

+

スクーリング受講料(書画コースは任意)
8,000円~ 16,000円×単位数

→27ページ参照

||

卒業までの合計金額(目安)		
日本画コース・洋画コース 陶芸コース・染織コース・写真コース	1年次入学(4年間) 3年次編入学(2年間)	1,654,140円~ 1,822,140円 1,008,140円~ 1,080,140円
書画コース	1年次入学(4年間) 3年次編入学(2年間)	1,442,140円~ 746,140円~

卒業までに必要な費用

《デザイン科》

出願時	入学選考料	入学金	授業料(1年目)	保険料	合計
グラフィックデザインコース 建築デザインコース ランドスケープデザインコース 空間演出デザインコース	20,000円	30,000円	323,000円	140円	373,140円
イラストレーションコース 映像コース 食文化デザインコース			348,000円		398,140円

→24ページ参照

+

入学後	授業料
グラフィックデザインコース・建築デザインコース・ ランドスケープデザインコース・空間演出デザインコース	323,000円 ×在籍年数(2年目~)
イラストレーションコース・映像コース・食文化デザインコース	348,000円 ×在籍年数(2年目~)

→27ページ参照

+

スクーリング受講料(イラストレーションコース・映像コース・食文化デザインコースは任意)
8,000円~ 16,000円×単位数

→27ページ参照

||

卒業までの合計金額(目安)		
グラフィックデザインコース・建築デザインコース・ ランドスケープデザインコース・空間演出デザインコース	1年次入学(4年間) 3年次編入学(2年間)	1,654,140円~ 1,822,140円 1,008,140円~ 1,080,140円
イラストレーションコース・映像コース・食文化デザインコース	1年次入学(4年間) 3年次編入学(2年間)	1,442,140円~ 746,140円~

学費

出願時に必要な費用

入学手続き金は出願時に全額一括で納入いただきます。分納はできません。なお、入学選考料以外は、オリエンテーションの学費ローンを利用できます(62ページ「学費ローン」参照)。

①入学手続き金

学科	コース	内訳				入学手続き金 (合計)
		入学選考料	入学金	授業料(1年目分)	学生教育研究災害傷害保険料	
芸術教養学科		20,000円	30,000円	170,000円	授業料に含む	220,000円
芸術学科	芸術学	20,000円	30,000円	231,000円	140円	281,140円
	歴史遺産					
	和の伝統文化	20,000円	30,000円	348,000円	140円	398,140円
	文芸					
アートライティング						
美術科	日本画	20,000円	30,000円	323,000円	140円	373,140円
	洋画					
	陶芸					
	染織	20,000円	30,000円	348,000円	140円	398,140円
	写真					
	書画					
デザイン科	グラフィックデザイン	20,000円	30,000円	323,000円	140円	373,140円
	建築デザイン					
	ランドスケープデザイン					
	空間演出デザイン	20,000円	30,000円	348,000円	140円	398,140円
	イラストレーション					
	映像					
	食文化デザイン					

- 入学選考料、入学金は、出願時のみ必要な費用です。2年目以降は必要ありません。
- 出願後の辞退、入学不許可となった場合は、入学選考料を除く入学手続き金を返還します。
- 入学後、年度途中で退学しても入学手続き金は返還いたしません。
- 授業料について

【芸術教養学科】

授業料には、学生教育研究災害傷害保険料、レポート添削指導料、Webスクーリング科目の受講料が含まれています(27ページ「入学後に必要な費用」参照)

【手のひら芸大(芸術教養学科以外)】

授業料には、テキスト科目のレポート・作品添削指導料、Webスクーリング科目の受講料、書画コース専門教育科目のスクーリング受講料、文芸コース専門教育科目のスクーリング受講料、アートライティングコース専門教育科目のスクーリング受講料を含みます。総合教育科目、学部共通専門教育科目のスクーリング受講料等は含みません(27ページ「入学後に必要な費用」参照)。

【週末芸大】

授業料には、テキスト科目のレポート・作品添削指導料、Webスクーリング科目の受講料を含みます。スクーリング受講料等は含みません(27ページ「入学後に必要な費用」参照)。

- 学生教育研究災害傷害保険は、入学年度から6年間有効です。7年目以降は対象者に対し大学にて再加入手続きを行います(再加入時の保険料は不要)。

- 以下に該当する方は、入学手続きの一部が免除されます。

免除対象		免除金額
京都芸術大学通信教育課程(学部・大学院) 京都芸術大学通学課程(学部・大学院) 京都芸術短期大学 京都芸術デザイン専門学校(旧校名：京都国際文化専門学校) 京都芸術大学附属高等学校 藤川学園	卒業・修了生 (卒業・修了見込含む)	入学選考料 20,000円 入 学 金 30,000円 合 計： 50,000円免除 【芸術教養学科のみ】 入学選考料 20,000円 入 学 金 30,000円 授業料の内 50,000円減免 ^{※1,2} 合 計： 100,000円免除
京都芸術大学通信教育課程(学部・大学院) 京都芸術大学通学課程(学部・大学院) 京都芸術短期大学 京都芸術デザイン専門学校(旧校名：京都国際文化専門学校) 京都芸術大学附属高等学校 藤川学園	卒業・修了生 (卒業・修了見込含む) の子女	入 学 金 30,000円免除
京都芸術大学通学課程(学部・大学院) 京都芸術デザイン専門学校 京都芸術大学附属高等学校 認可保育園こども芸術大学	在学生の保護者 または学費支弁者	入 学 金 30,000円免除 【芸術教養学科のみ】 入 学 金 30,000円 授業料の内 50,000円減免 ^{※2} 合 計： 80,000円免除
京都造形芸術大学通学部 芸術学部デザイン科環境デザインコース	1991年4月～1999年4月 入学生	建築デザインコースに入学の場合授業料 323,000円から2割減免。 減免後授業料：258,400円 ^{※2}

※1：京都芸術大学附属高等学校の卒業生はこの免除の対象外です(免除金額50,000円)。

※2：2年目以降の授業料についても同額が減免されます。

※退学は免除対象外です。

②資格課程受講登録料(編入学生・希望者のみ)

資格課程の受講登録は2年次以上が対象となるため、1年次入学生は出願時には登録できません。

書画コース・イラストレーションコース・映像コース・食文化デザインコースは登録できません。

芸術教養学科	+250,000円(在籍期間中有効) ^{※1}
--------	----------------------------------

- 受講登録料とは別にテキスト代、博物館実習に伴う交通費・宿泊費が必要です。
- 受講登録料には、スクーリング受講料、学外館見学時の入館料(「博物館実習1(事前指導)」、「博物館実習3(事後指導)」)、学研災付帯賠償責任保険料が含まれており、学研災付帯賠償責任保険は「博物館実習2(館園実習)」を受講する年度に加入します。
- 途中で資格課程の学習を取りやめても、受講登録の取り消し、受講料の返金はできません。

※1：受講登録料は在籍期間中有効のため、毎年納付する必要はありません。ただし、関連法規等の改正により、修得すべき科目・単位数が増加した場合や、制度が変更された場合はこの限りではありません。

※資格課程についての詳細は、87～90ページを確認してください。

芸術教養学科以外	+160,000円(在籍期間中有効) ^{※1}
----------	----------------------------------

- 受講登録料とは別にテキスト代、スクーリング受講料、博物館実習に伴う交通費・宿泊費、学外館見学時の入館料(「博物館実習1(事前指導)」、「博物館実習3(事後指導)」)が必要です。また、学外館での「博物館実習2(館園実習)」の受講を希望する方は、学外館によっては実習費等が必要となる場合があります。
- 受講登録料には、学研災付帯賠償責任保険料が含まれており、「博物館実習2(館園実習)」を受講する年度に加入します。
- 途中で資格課程の学習を取りやめても、受講登録の取り消し、受講料の返金はできません。

※1：受講登録料は在籍期間中有効のため、毎年納付する必要はありません。ただし、関連法規等の改正により、修得すべき科目・単位数が増加した場合や、制度が変更された場合はこの限りではありません。

※資格課程についての詳細は、87～90ページを確認してください。

③支払方法

出願時	入学後
<ul style="list-style-type: none"> ・クレジットカード決済 ・ネットバンキング(銀行ネット)決済 ・コンビニ決済 ・郵便振込^{※1} ・ローン利用 	<ul style="list-style-type: none"> ・登録口座から引き落とし ・クレジットカード決済^{※2} ・ネットバンキング(銀行ネット)決済^{※2} ・コンビニ決済^{※2} ・ローン利用

※1：芸術教養学科は郵便振込不可。

※2：入学2年目以降の授業料・休学科・博物館学芸員受講登録料のみ可。ただし、事務手数料が別途必要です。

※3：入学2年目以降の授業料・博物館学芸員受講登録料のみ可。

Web出願手続「学費の支払い」の画面にて、以下から支払方法を選択し、支払操作を行います。

● クレジットカード決済

志願者本人、もしくは家族、会社等でご契約されているクレジットカードでお支払いください。

VISA/MASTER/JCB/AMEX（2023年10月現在。JCB/AMEXは一回払いのみ）。

決済代行会社(株式会社ペイジェント)から大学が決済完了報告を受けた後、大学から登録メールアドレス宛に決済完了確認のメールを送信します。

● ネットバンキング(銀行ネット)決済

志願者本人、もしくは家族でご契約されているネットバンキングでお支払いください。

<https://www.pay-easy.jp/>（みずほ銀行、三菱UFJ銀行、三井住友銀行、りそな銀行など1,400行以上。）

決済代行会社(株式会社ペイジェント)から大学が決済完了報告を受けた後、大学から登録メールアドレス宛に決済完了確認のメールを送信します。

【重要】決済の操作期限(クレジットカード決済、ネットバンキング決済)

決済サイトの画面には、支払操作のできる画面有効期限（10日間）が設定されていますので、期限内に支払操作を完了してください。

なお、画面有効期限を越えた場合はエラーとなり、支払操作ができなくなります。その場合は、通信教育部芸術学部願書受付係にメールでご連絡ください。

京都芸術大学 通信教育部芸術学部願書受付係 question@air-u.kyoto-art.ac.jp

● コンビニ決済

「お支払い番号」を以下のコンビニの端末・レジで入力してお支払いください。

ローソン、ファミリーマート、セイコーマート、デイリーヤマザキ、ミニストップ(2023年10月現在)。決済代行会社(株式会社ペイジェント)から大学が決済完了報告を受けた後、大学から登録メールアドレス宛に決済完了確認のメールを送信します。

【重要】

支払期限(10日間)が出願期間を越える場合でも、必ず出願期間内にコンビニの端末・レジでの支払いを完了してください。出願期間後に入金されても受け付けられません。なお、総額30万円を超える場合、コンビニ決済は利用できません。

● 郵便振込(※芸術教養学科は不可)

「学費の支払い」の画面で大学指定口座への振込みを選択し、「提出書類について」の画面に表示される振込先口座番号や口座名義等を控え、郵便局・ゆうちょ銀行に備付の振込用紙に必要事項を記入・ご入金のうち「振替払込請求書兼受領証」のコピー[※]を提出してください。なお出願期間後に入金されても受け付けられません。

※A4サイズの用紙の中央に受領証が来るようにし、等倍でコピーしたものを切りとらずにそのまま提出してください。

● ローン利用

あらかじめローン審査を受け、審査結果が「許可」となってから出願してください。Web出願手続「学費の支払い」の画面で「ローン利用」を選択し、次の画面でローン受付番号と、ローン対象外の入学選考料(20,000円)の支払い方法を入力します。なお、ローン対象外の入学選考料はクレジットカード決済、ネットバンキング決済、コンビニ決済または郵便振替でのお支払いです(62ページ「学費ローン」参照)。なお、入学選考料の支払い方法を選択すると、決済代行会社の決済サイト画面に自動遷移します。

入学後に必要な費用

本学では、学生が金融機関に開設している預金口座から、学費等の諸費用を引き落とす「預金口座振替制度」を採用しています。入学2年目以降の授業料、在籍中に発生するスクーリング受講料、教材費等の費用は、すべて登録口座から引き落とします。ただし、授業料については下記①の支払い方法が選択可能です。

※口座振替の業務はSMBCファイナンスサービス(株)に委託しています。通帳には「SMBC (キヨウトゲイジユツ)」等と表示されます。引き落としの際は、本学より事前に引落明細をお知らせします。

※卒業、退学等により本学の学籍から離れると、口座振替は解除されます。

※以下は2024年度適用金額です。授業料等の諸費用は改定することがあります。

①授業料(2年目以降)

学科	コース	授業料(年間)	支払い方法
芸術教養学科		170,000円/年間	
芸術学科	芸術学	231,000円/年間	支払時期：前期入学生は毎年2月 後期入学生は毎年8月 支払方法：登録口座から引き落とし クレジットカード決済 ^{※1} ネットバンキング決済 ^{※1} コンビニ決済 ^{※1} ローン利用
	歴史遺産		
	和の伝統文化		
	文芸		
美術科	アートライティング	348,000円/年間	
	日本画	323,000円/年間	
	洋画		
	陶芸		
	染織		
	写真		
書画	348,000円/年間		
デザイン科	グラフィックデザイン	323,000円/年間	
	建築デザイン		
	ランドスケープデザイン		
	空間演出デザイン	348,000円/年間	
	イラストレーション		
	映像		
	食文化デザイン		

※1：授業料(年間)に加えて事務手数料が別途必要です。

②スクーリング受講料

	金額	備考
講義系(遠隔/京都瓜生山キャンパス)	8,000円/単位	●スクーリング受講後、登録口座から引き落とします。 ●別途1科目につき1,000円～15,000円程度のスクーリング教材費(テキスト代、入館料、材料費、モデル料等)や20,000円～100,000円程度の研修費(交通費・宿泊費)が必要な科目があります。 ●演習系総合教育科目のスクーリング受講料は、左記金額に一律1科目につき8,000円加算します。
講義系(瓜生山キャンパス以外)	10,500円/単位	
演習系(遠隔/京都瓜生山キャンパス)	13,000円/単位	
演習系(瓜生山キャンパス以外)	16,000円/単位	

※芸術学科のスクーリングは主に講義系、美術科・デザイン科・「博物館実習」のスクーリングは主に演習系です(必ずしもすべてがこの限りではありません)。

※WS科目の受講料、書画コース専門教育科目、イラストレーションコース専門教育科目のスクーリング受講料およびキャンセル料は不要です。

※手のひら芸大(芸術教養学科以外)のコースは受講料が必要なスクーリング科目の受講は必須ではありません。

1年間にかかるスクーリング受講料の概算(最短で卒業する場合)

入学形態	スクーリング受講料	備考
1年次入学	64,000円～128,000円	最短4年で卒業する場合：年間8単位取得を目安
3年次編入学	96,000円～192,000円	最短2年で卒業する場合：年間12単位取得を目安

③資格課程受講登録料(希望者のみ)

芸術教養学科	+250,000円(在籍期間中有効) ^{※1}
--------	----------------------------------

- 学籍更新手続期間(1月)^{※2}に登録手続きをし、2月下旬までにお支払いいただきます。ローンの利用も可能です。
- 受講登録料とは別にテキスト代、博物館実習に伴う交通費・宿泊費が必要です。
- 受講登録料には、スクーリング受講料、学外館見学時の入館料(「博物館実習1(事前指導)」、「博物館実習3(事後指導)」)、学研災付帯賠償責任保険料が含まれており、学研災付帯賠償責任保険は「博物館実習2(館園実習)」を受講する年度に加入します。
- 途中で資格課程の学習を取りやめても、受講登録の取り消し、受講料の返金はできません。

※1：受講登録料は在籍期間中有効のため、毎年納付する必要はありません。ただし、関連法規等の改正により、修得すべき科目・単位数が増加した場合や、制度が変更された場合はこの限りではありません。

※2：後期(10月)入学生は8月に登録手続きをします。
資格課程についての詳細は、87～90ページを確認してください。

芸術教養学科以外	+160,000円(在籍期間中有効) [※]
----------	---------------------------------

- 学籍更新手続期間(1月)に登録手続きをし、2月下旬までにお支払いいただきます。ローンの利用も可能です。
- 受講登録料とは別にテキスト代、スクーリング受講料、博物館実習に伴う交通費・宿泊費、学外館見学時の入館料(「博物館実習1(事前指導)」、「博物館実習3(事後指導)」)が必要です。また、学外館での「博物館実習2(館園実習)」の受講を希望する方は、学外館によっては実習費等が必要となる場合があります。
- 受講登録料には、学研災付帯賠償責任保険料が含まれており、「博物館実習2(館園実習)」を受講する年度に加入します。
- 途中で資格課程の学習を取りやめても、受講登録の取り消し、受講料の返金はできません。

※受講登録料は在籍期間中有効のため、毎年納付する必要はありません。ただし、関連法規等の改正により、修得すべき科目・単位数が増加した場合や、制度が変更された場合はこの限りではありません。

資格課程についての詳細は、87～90ページを確認してください。

④テキスト・教材・機材費

所属コースにより、次の教材・機材が必要です。教材費とは別に授業での制作には材料費がかかります。入学時にすべてを揃える必要はありません。新入生ガイダンスや各コースの「コースガイド」「専門教育科目シラバス」等で案内しますので、様子をみながら揃えてください。ただし、入学時より学習用Webサイト「airUマイページ」上で様々な情報を提供しますので、Web閲覧ができる環境はできるだけ早めにご準備ください。

テキストは必修科目を含め有料です(一部コースで入学時に一斉送付されるテキストや、学習用Webサイト「airUマイページ」上で閲覧となるテキストは無料です)。また、一部コースでは大学へ個別請求(有料)するものもあります。総合教育科目、学部共通専門教育科目(必修除く)、資格関連科目のテキストは、大学へ個別請求(有料)するものと、各自購入となるものがあります。(1冊750円から4,000円程度)。なお、在学中に指定テキストの変更があれば、新しく指定されるテキストは新たにご購入いただく必要があります。

※無料でテキスト配本した科目を含む。

※表示価格は授業に必要なものを新規購入した場合の参考価格です。学習の進行にともなって追加で必要となるものや、絵具や参考文献等、学習方法により個人差が生じる教材は含んでおりません。

コース	テキスト(コース専門教育科目)・教材・機材	参考価格
全コース	パソコン 38ページのシステム要件を満たし、インターネットへの接続環境が整ったものを準備してください(カメラ、マイク付きのノート型パソコン推奨)。 ※以下コースはノート型パソコンの準備が必須です(ディスプレイ型パソコン不可)。 写真コース/グラフィックデザインコース/建築デザインコース ランドスケープデザインコース/空間演出デザインコース	約100,000円～
芸術教養学科	テキスト	電子テキストの場合は無料 ※在学中のみ閲覧可。閲覧にはインターネット環境が必要。一部の選択科目を除く。 印刷製本版(市販本)の場合は有料 ※1冊2,200円～2,800円。標準的な履修(学部共通専門教育科目5科目、学科専門教育科目10科目)において、すべて印刷製本版を購入する場合、合計47,000円程度。
芸術学	テキスト	約5,000円～
歴史遺産	テキスト	約30,000円～
文芸	テキスト	電子書籍およびairUマイページ利用の場合：約22,000円 印刷製本の場合：約44,000円
和の伝統文化	テキスト	約31,000円～

コース	テキスト(コース専門教育科目)・教材・機材	参考価格
アートライティング	テキスト	電子書籍およびairUマイページ利用の場合：約7,700円 印刷製本の場合：約60,000円
日本画	基本画材(鉛筆、スケッチブック、麻紙、水干絵具、絵具皿、筆、墨等) ※別途、岩絵具が必要です。	約60,000円
	テキスト	約12,000円
洋画	油彩道具(油絵具、筆、パレット、ペインティングナイフ等) デッサン用具(鉛筆、木炭等)	約30,000円～
	テキスト	約16,000円
陶芸	制作に必要な道具(手ろくろ、ヘラ、乳鉢、乳棒等)	約18,000円
	陶土(白土、赤土、赤荒土等)	各課題につき約500円～1,000円
	陶芸作品送付用段ボール ※作品を送付する為の段ボールを購入する必要があります(段ボールは繰り返し使用できます)。 作品送付には送料が発生します(陶芸作品は第四種郵便は適用されません)。	梱包材入り各1,800円
	焼成費 ※電動ろくろや窯を自宅に用意する必要はありませんが、テキスト科目の課題作品を本学で焼成する際に学内焼成費がかかります。素焼き状態で提出する課題作品にも焼成が必要です。 スクーリング科目で作成した作品も希望があれば焼成することが可能です。その場合も別途焼成費が必要です。	各課題につき 1,000円～2,000円(2023年度実績)
	テキスト	約13,000円
染織	染色用具(浸染用具セット、摺込刷毛セット、媒染剤等)	約50,000円
	織用具(枠機セット、製織用具)	約20,000円
	織機 ※卒業制作で織作品を制作する場合、3年次から自宅制作用の織機が必要です。	(約200,000円)
	テキスト	約16,000円
写真	デジタル一眼カメラ、レンズ、フード、レリーズ、三脚等 31ページ参照	約100,000円～
	ノート型パソコン、ソフトウェア 31ページ参照	約150,000円～
	遠隔授業用教材・機材 ※遠隔スクーリングの受講を予定している場合は科目によっては教材機材を揃える必要があります。	(約16,000円～)
	テキスト	約15,000円
書画	基本画材(筆、紙、墨、硯、下敷き、筆巻、絵具皿、筆洗、文鎮等)	約15,000円
	プリンター (A3サイズ推奨、A4サイズでも可)	約30,000円～
	カメラ(提出作品を撮影するために必要。スマートフォンのカメラでも可)	-
	テキスト	約21,000円
グラフィックデザイン	デザイン用具(三角定規、デザイン用ピンセット等)	約3,000円
	ノート型パソコン 32ページ参照	約150,000円～
	ソフトウェア(Adobe Creative Cloud) 32ページ参照	23,760円(年間)(2023年度実績)
	パソコン用フォント(MORISAWA PASSPORT)	13,200円(4年間)(2023年度実績)
	プリンター (A3サイズ推奨、A4サイズでも可)	約30,000円～
	テキスト	※1 (30ページ参照)
建築デザイン	製図用具(定規、トレーシングペーパー等)	約20,000円
	模型制作用具(カッターナイフ、ステンレス定規等)	約20,000円
	スケッチ用具(スケッチブック、鉛筆等)	約5,000円
	ノート型パソコン 32ページ参照 ※在学中は、CADソフト(Auto CAD)を無償で使用できます。	約180,000円～
	プリンター (A3サイズ推奨、A4サイズでも可、カラー印刷推奨、A3スキャナー推奨)	約30,000円～
	テキスト	(入学時の基礎教材および1年次科目) 約59,000円 (2年次科目以降卒業まで) 約24,000円

コース	テキスト(コース専門教育科目)・教材・機材	参考価格
ランドスケープ デザイン	製図用具(定規、トレーシングペーパー、製図板、色鉛筆等)	約17,000円
	庭園実習用具(剪定はさみ、実習服等)	約15,000円
	ノート型パソコン 33ページ参照 ※在学中は、CADソフト(Auto CAD)を無償で使用できます。	約150,000円～
	プリンター (A3サイズ推奨、A4サイズでも可)	約30,000円～
	ソフトウェア(Adobe Creative Cloud)	23,760円(年間)(2023年度実績)
	スケッチ用具(スケッチブック、鉛筆等)	約6,000円～
	テキスト	約26,000円
空間演出 デザイン	製図用具(シャープペン、三角定規、円定規、三角スケール、A2製図板+T定規セットorA2平行定規等)	約25,000円～
	模型制作用具(カッターナイフ、ステンレス定規等)	約12,000円
	スケッチ用具(スケッチブック、鉛筆等)	約3,000円
	ノート型パソコン 33ページ参照 ※在学中は、CADソフト(Auto CAD)を無償で使用できます。	約150,000円～
	プリンター (A3サイズ推奨、A4サイズでも可)	約30,000円～
	ソフトウェア(Adobe Creative Cloud)	23,760円(年間)(2023年度実績)
	3Dモデル作成ソフト(SketchUp) ※2年次スクーリングで使用します。	12,100円(年間)(2023年度実績)
テキスト	※1	
イラスト レーション	ソフトウェア(Adobe Creative Cloud)	23,760円(年間)(2023年度実績)
	イラスト制作ソフト(CLIP STUDIO PAINT PRO / EX)	480円～(月額) 2,800円～(月額) 5,000円～(一括払い) ※2023年度実績 ※アップデートのサポートがあるため月額または年額払い推奨
	ペンタブレット(スペックは問いません)	約6,000円～
映像	動画撮影機材(スマートフォン、タブレット/デジタル一眼レフカメラ、ビデオカメラ等) 動画撮影機材の価格は機材のスペックや市場の状況等により変動します。 詳細な価格や仕様については、各メーカーの製品情報サイトをご参照ください。 34ページ参照	約30,000円～
	パソコン(ノート型、デスクトップ型いずれも可) 34ページ参照	約140,000円～
	ソフトウェア(Adobe Creative Cloud) 34ページ参照	年間23,760円(2023年度実績)
	3DCG制作ソフト(Blender) ※3年次科目で使用します。 34ページ参照	無償
食文化 デザイン	調理道具一式 ※鍋・包丁・コンロなど基本的なキッチン環境があれば問題ありません。	-
	カメラ(提出作品を撮影するために必要。スマートフォンのカメラでも可)	-
	PDFの作成・閲覧ができる環境 ※PDFで作品提出をするため、文書作成ソフト等(Microsoft OfficeやMac標準のPagesやKeynote等)からPDF作成ができれば問題ありません。	-
	テキスト	約10,000円～

※テキストの参考価格に総合教育科目、学部共通専門教育科目等、選択科目のテキスト代は含まれません。

※1：コース専門教育科目、必修となる学部共通専門教育科目のテキスト科目の指定テキストは初年度のみ無料配布します。なお、無料でテキスト配布した必修科目でも、在学中に指定テキストの変更があれば、新しく指定されるテキストは有料となります。

⑤ パソコンスキル・インターネット環境(全学科・コース共通) 38ページ参照

入学するコースによってパソコンや用意していただくアプリケーションソフトの指定があります。

「⑥アプリケーションソフト等」の該当コース箇所をご確認ください。

⑥ アプリケーションソフト等(一部コースは指定あり)

入学後のガイダンスでパソコン、アプリケーションソフトの購入やインストール等に関する説明を行う予定です。

必ずしもすべてを入学前に揃えておく必要はありません。以下は必要となるパソコンのスペックです。

パソコンのシステム要件等は38ページをご確認ください。

写真コース

パソコンを利用する対面スクーリング(1年次科目～)では、各自使用するカメラのメーカーが指定する動作環境以上の機能を備えたノート型パソコン(Mac推奨)の持参が必要となり、科目によって事前にRAW現像ソフトや画像編集ソフトのインストールが必要です。パソコンやカメラは、入学前に揃えておく必要はありません。入学後のガイダンスで説明を行う予定です。以下は必要となるパソコンのスペック、デジタル一眼カメラ、その他機材です。

パソコン	アプリケーションソフト
<p>【Mac】推奨 ノート型パソコン (対面スクーリングはノート型パソコンの持参が必要となります)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● OS Mac OS (インストールするアプリケーションソフトの最新バージョンに対応したもの) ● 機種 MacBook Pro (5年以内に発売されたシリーズを推奨) MacBook Air (M1チップ搭載以降を推奨) ● メモリ 最小: 8GB (16GB以上推奨) ● 内蔵ストレージ 256GB以上推奨 	<ul style="list-style-type: none"> ● Adobe Creative Cloud推奨 (Photoshop、Bridge、Lightroom Classic、Premiere Pro)の最新バージョン(学生・教職員向けソフトあり) ● セキュリティ対策ソフト(有償版)

※遠隔授業の受講時には、大容量のデータを送受信することのできる通信環境が必要です(光回線推奨)。

ダウンロード: 250Mbps以上
アップロード: 100Mbps以上

- デジタル一眼カメラ(ミラーレスを含む) / 次の機能をすべて満たすものがが必要です。
レンズを外した状態でシャッターが切れる(撮影ができる)もの / マニュアル機能がついているもの(絞りとシャッタースピードが個別に設定できること) / マニュアルフォーカスがついているもの(オートフォーカスだけでなく、自分でピントを設定できる機能がついているもの) / 撮像素子(CMOSやCCD)のサイズがマイクロフォーサーズ以上のもの / レンズ交換ができるもの / 画素数が1,000万画素程度以上のもの / RAWデータの撮影ができるもの / シンクロ接点もしくはホットシューがついているもの(ストロボの接点がついていること) / 三脚をとりつけるねじ穴がついているもの ※主なメーカー: キヤノン、ニコン、ソニー、オリンパス、ペンタックス、パナソニック、ライカ、富士フイルム等
- レンズ / 標準ズームレンズ(広角、標準、望遠域をカバーしていれば、ズームレンズでなく複数のレンズの組み合わせでも可)
- フード / 各自のレンズ専用のもの
- レリーズ / 各自のカメラ専用のもの(リモコン / アプリでも可)
- 三脚

※スクーリング(3年次科目～)では、テザー撮影が可能な一眼カメラが必要です。

グラフィックデザインコース

パソコンを利用する対面スクーリング(1年次科目～)ではノート型パソコンが必要です*。パソコンは必ずしも入学前に揃えておく必要はありません。入学後のガイダンスでパソコン、アプリケーションソフトの購入やインストール等に関する説明を行う予定です。なお、まだパソコンをお持ちでない方には、Macの購入を推奨しています*。以下は必要となるパソコンのスペックです。

またWeb教材や事前課題出力のためにプリンター (A3サイズ推奨、A4サイズでも可)も必要です。

*コースの授業や教材はMacの環境に準拠しています。

パソコン	アプリケーションソフト
<p>ノート型パソコン (対面スクーリングはノート型パソコンの持参が必要です。)</p> <p>【Mac (推奨)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 機種 MacBook ProまたはMacBook Air ● システム構成 CPU、OS、メモリ、すべてインストールするアプリケーションソフトの必要システム構成に準拠してください。 <p>【Windows】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● システム構成 CPU、OS、メモリ、すべてインストールするアプリケーションソフトの必要システム構成に準拠してください。 	<ul style="list-style-type: none"> ● Adobe Creative Cloudの最新バージョン (学生・教職員向けソフトあり) ● MORISAWA PASSPORT (アカデミック版モリサワ認定校用) ● セキュリティ対策ソフト(有償版)

● 必要システム構成はAdobe社のWebサイト(<https://adobe.com/jp/>)にてご確認ください。

・各種アプリケーションソフトのバージョンおよび必要なスペックは、メーカーの都合により変更になることがあります。

・パソコンスペックの詳細はパソコンメーカー、販売店等へお問合せください。

建築デザインコース

パソコンを利用するCADのスクーリング(2年次科目)ではノート型パソコンとCADソフト(AutoCAD)が必要です。2年次スクーリング科目のため入学前に揃えておく必要はありません。入学後のガイダンスでパソコン、アプリケーションソフトに関する説明を行う予定です。以下は必要なパソコンのスペックです。

またWeb教材や事前課題出力のためプリンター (A3サイズ推奨、A4サイズでも可、カラー印刷推奨、A3スキャナー推奨)も必要です。遠隔スクーリングの受講を予定している場合は、課題提出のため、上記に加えてA3スキャナーが必要です。プリント、コピー、スキャンができるインクジェットプリンター A3複合機の購入を推奨します。

パソコン	アプリケーションソフト
<p>【Windows】</p> <p>ノート型パソコン (CADの対面スクーリングはノート型パソコンの持参が必要です)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● システム構成 CPU、OS、メモリ、表示解像度、ディスプレイカード、ディスク空き容量等ともにインストールするアプリケーションソフトの動作環境に準拠してください。 <p>【Mac】</p> <p>ノート型パソコン</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 機種 MacBook ProまたはMacBook Air ● システム構成 CPU、OS、メモリ、表示解像度、ディスプレイカード、ディスク空き容量等ともにインストールするアプリケーションソフトの動作環境に準拠してください。 	<ul style="list-style-type: none"> ● AutoCAD (CADソフト)の最新バージョン ● セキュリティ対策ソフト(有償版)

● 必要なシステム構成はAUTODESK社のWebサイト(<https://www.autodesk.co.jp/>)にてご確認ください。

・AutoCADのバージョンおよび必要なスペックは、メーカーの都合により変更になることがあります。

・パソコンスペックの詳細はパソコンメーカー、販売店等へお問合せください。

*CADソフトの使い方を学ぶ科目を遠隔受講する場合はデュアルディスプレイ環境が必要です。

ランドスケープデザインコース

パソコンを利用する対面スクーリング（1年次科目～）ではノート型パソコンの持参が必要です。パソコンは必ずしも入学前に揃えておく必要はありません。入学後のガイダンスでパソコン、アプリケーションソフトの購入やインストール等に関する説明を行う予定です。以下は必要となるパソコンのスペックです。またWeb教材や事前課題出力のためにプリンター（A3サイズ推奨、A4サイズでも可）も必要です。

パソコン	アプリケーションソフト
【Windows】 ● システム構成 CPU、OS、メモリ、すべてインストールするアプリケーションソフトの動作環境に準拠してください。	● AutoCAD (CADソフト)の最新バージョン ● Adobe Creative Cloudの最新バージョン（学生・教職員向けソフトあり） ● セキュリティ対策ソフト(有償版)
【Mac】 ● 機種 MacBook ProまたはMacBook Air ● システム構成 CPU、OS、メモリ、すべてインストールするアプリケーションソフトの動作環境に準拠してください。	

- 必要なシステム構成は以下よりご確認ください。
 - ・Adobe Creative Cloud：Adobe社のWebサイト(<https://www.adobe.com/jp>)
 - ・AutoCAD：Autodesk社のWebサイト(<https://www.autodesk.co.jp>)

・各種アプリケーションソフトのバージョンおよび必要なスペックは、メーカーの都合により変更になることがあります。
 ・パソコンスペックの詳細はパソコンメーカー、販売店等へお問合せください。

空間演出デザインコース

パソコンを利用するスクーリング（1年次科目～）ではノート型パソコンが必要です*。パソコンは必ずしも入学前に揃えておく必要はありません。入学後のガイダンスでパソコン、アプリケーションソフトの購入やインストール等に関する説明を行う予定です。なお、まだパソコンをお持ちでない方には、Macの購入を推奨しています。以下は必要となるパソコンのスペックです。

またWeb教材や事前課題出力のためにプリンター（A3サイズ推奨、A4サイズでも可）も必要です。

※遠隔スクーリングのみで卒業される方はその限りではありません。

パソコン	アプリケーションソフト
【Mac】 ● 機種 MacBook ProまたはMacBook Air ● システム構成 CPU、OS、メモリ、すべてインストールするアプリケーションソフトの動作環境に準拠してください。	● AutoCAD (CADソフト)の最新バージョン ● Adobe Creative Cloudの最新バージョン（学生・教職員向けソフトあり） ● SketchUp(3Dモデル作成ソフト)の最新バージョン(教育用ライセンスあり) ● セキュリティ対策ソフト(有償版)
【Windows】 ● システム構成 CPU、OS、メモリ、すべてインストールするアプリケーションソフトの動作環境に準拠してください。	

- 必要なシステム構成は以下よりご確認ください。
 - ・Adobe Creative Cloud：Adobe社のWebサイト(<https://www.adobe.com/jp>)
 - ・SketchUp：アルファコックス社のWebサイト(<https://www.alphacox.com>)
 - ・AutoCAD：Autodesk社のWebサイト(<https://www.autodesk.co.jp>)

・各種アプリケーションソフトのバージョンおよび必要なスペックは、メーカーの都合により変更になることがあります。
 ・パソコンスペックの詳細はパソコンメーカー、販売店等へお問合せください。

イラストレーションコース

パソコン	アプリケーションソフト
【Windows / Mac】 ノート型、デスクトップ型いずれも可。 ● メモリ 推奨：8GB以上 ● システム構成 CPU、OS、メモリ、すべてインストールするアプリケーションソフトの必要システム構成に準拠してください。	● Adobe Creative Cloudの最新バージョン (学生・教職員向けソフトあり) ● CLIP STUDIO PAINT PROまたはEX ● セキュリティ対策ソフト(有償版)

※必要システム構成はAdobe社のWebサイト(<https://adobe.com/jp/>)、CELSYS社のWebサイト(<https://www.clipstudio.net/ja/>)にてご確認ください。

映像コース

入学後のガイダンスでパソコン、アプリケーションソフトの購入やインストール等に関する説明を行う予定です。必ずしも入学前に揃えておく必要はありません。以下は必要となるパソコンや機材のスペックです。撮影や編集を伴う科目では、各自カメラ機材(スマートフォン、タブレット、デジタル一眼カメラ、ビデオカメラ等)と動画編集ソフトをパソコンやスマートフォンにインストールしてください。

パソコン	アプリケーションソフト
【Windows / Mac】 ノート型、デスクトップ型いずれも可。 ● メモリ 推奨：16GB以上 ● システム構成 CPU、OS、メモリ、すべてインストールするアプリケーションソフトの動作環境に準拠してください	以下①～③の最新バージョンを準備してください。 ① Adobe Creative Cloudコンプリートプラン (Premiere Pro、After Effects、Photoshop、Illustrator)(学生・教職員向け価格での販売あり) ② Blender(無償) ③ セキュリティ対策ソフト(有償版)

● 必要なシステム構成は以下よりご確認ください。

- ・Adobe社のWebサイト(<https://www.adobe.com/jp/>)
- ・Blender (<https://www.blender.org/>)

・各種アプリケーションソフトのバージョンおよび必要なスペックは、メーカーの都合により変更になることがあります。
 ・パソコンスペックの詳細はパソコンメーカー、販売店等へお問合せください。

● 動画撮影用機材とデータの取り扱い

スマートフォン、タブレット、デジタル一眼カメラ、ビデオカメラ等

動画編集に用いる素材を撮影する [1] もしくは [2] の機材が必要となります。いずれの場合も、動画のサイズがフルHD(1920×1080)以上、フレームレートが60fpsまで撮影可能でMP4もしくはMOV形式でデータを書き出し可能な機材を準備してください。

[1] スマートフォン、タブレット

スマートフォンやタブレットで撮影する場合は、そのままそのデバイスで編集する、もしくは撮影データをパソコンに取り込んで編集することになります。前者の場合は、完成したデータを、後者の場合は撮影したデータをパソコンに取り込むようにしておいてください。(機材によってパソコンとの接続ケーブルが必要となる場合があります。)

[2] デジタル一眼カメラ、ビデオカメラ

カメラ機材で撮影する場合は、撮影したデータをパソコンもしくはスマートフォンへ取り込み編集することになります。記録メディアの使用やケーブルを用いた機材との接続が必要となる場合がありますので、自身でデータを取り込む方法を調べておいてください。(機材によってパソコンとの接続ケーブルが必要となる場合があります。)

⑦その他の費用

	備考
郵便・宅配便代	課題提出・返却時に郵便・宅配便代がかかります。 レポート(100g以内)の場合、第四種郵便の適用で、1通15円です。 ※日本画コース・洋画コース・陶芸コースの作品の宅配便代は、作品サイズによって大型商品扱いとなる場合があります。
交通費・宿泊費	居住地やコース、受講科目によっては、スクーリング会場までの交通費や宿泊費がかかります。

学び方の手順

- 学習方法
- パソコンスキル・インターネット環境
(全学科・コース共通)
- 課題提出期間および
単位修得試験期間
- 履修形態
- 学習支援体制
- 履修科目一覧
- 入学後の単位認定手続・学籍異動

こんなふうに
学んでいきます!



学習方法

本学通信教育課程では「履修登録」がありません。通学制と異なり、まず自分で履修プランを立て学習をすすめることが重要です。各科目の「開講期」や「課題提出期間(39ページ参照)」に従って各自が学習計画を立ててそれぞれのペースで学習します。そのため、自身の履修状況や学習環境の変化によって、都度卒業までの履修プランを立てなおすことができます。入学許可後は、Web上の「airU学習ガイド」やシラバス(授業や課題内容)を確認して履修計画を立てましょう。学習用Webサイト「airUマイページ」では履修プランを作成できます。

① 4月1日*から学習スタート

学習用Webサイト「airUマイページ」にログイン。シラバスを確認し、必要なテキストや教材を準備しましょう。

※芸術教養学科の後期(10月)入学の場合、10月1日。
※4月(10月)1日かつ入学許可後に学習できます。4月(10月)1日より前から学習をスタートすることはできません。

くわしくは74ページ

② 卒業要件・必修科目の確認

卒業までに修得が必要な科目や単位数を確認しましょう。

- 芸術教養学科 くわしくは12～13、46ページ
- 文芸コース、アートライティングコース
書画コース、イラストレーションコース
映像コース、食文化デザインコース
くわしくは14～15ページ、47～57ページ
- 週末芸大のコース
くわしくは18～19ページ、47～57ページ

学習用Webサイト「airU(エア・ユー)マイページ」でできること

「airUマイページ」は本学通信教育課程独自の学習用Webサイトです。

airUマイページ



airUマイページは、学生一人一人の学習をサポートする様々な機能を備えた個人ページです。

その他サポート

履修計画サポート(履修プラン)

学習スケジュールの作成や、履修状況、修得単位数を確認できます。

大学からの情報閲覧

定期的に配信される大学やコースからのお知らせを随時確認できます。

テキスト科目

- ・レポートや作品の提出
- ・単位修得試験の受験

Webスクーリング科目

- ・動画教材の視聴
- ・レポートや作品の提出

スクーリングの申し込み

課題の成績、評価内容の確認

学費の確認、大学登録情報の確認・変更

くわしくは
YouTubeで
紹介中!



学習サポート

学習の進め方などをわかりやすく説明する「学習ガイド」や、シラバス(科目概要)の確認、本学で提供する電子テキストの閲覧ができます。

学生生活サポート

わからないことはコンシェルジュ(質問フォーム)での問い合わせを随時受け付けています。また証明書発行の申請もWeb上でできます。

③ 履修プランを立て、履修開始

配当年次等を確認し、取り組みやすいものから履修しましょう。定期的に履修プランを見直して調整しましょう。

テキスト科目

- TR (テキストレポート科目)
くわしくは40ページ
- TW (テキスト作品科目)
くわしくは40ページ
- TX (テキスト特別科目)
くわしくは41ページ

スクーリング科目

- S (スクーリング科目)
くわしくは42ページ
- WS (Webスクーリング科目)
くわしくは41ページ
- GS (芸術学舎科目)
くわしくは44ページ

④ 合格・単位修得

不合格の場合も、年度内であれば何度でも再提出・再受験できます。教員からの添削講評をふまえて再チャレンジしましょう。

くわしくは39ページ

⑤ 卒業

卒業要件を満たせば卒業です。在籍年限内であれば、卒業までにかかる年数は自分で決められます。

学習中に困ったことがあれば
質問フォームから
いつでも相談してください。

コンシェルジュ (質問フォーム) チャットボット (AIによる自動応答)

質問フォームの他、「何から始めればいいのか?」「スクーリングの申し込み方は?」などいつでも気軽に聞けるチャットボット (AIによる自動応答) も設置しています。わからないことはまずはチャットボットに聞いてみましょう。



パソコンスキル・インターネット環境（全学科・コース共通）

学習を進めるには、インターネットへの接続環境が整ったパソコンが必要です(5ページ「出願資格」参照)。

スキルレベル

文字入力や作成したファイルのアップロード、インターネット閲覧、メールの送受信等、基本的なパソコンやWebの操作ができれば問題ありません。文字のコピー & ペースト、作成した文書や資料をPDFに変換（ファイル形式を指定して保存）、Zoom（オンライン会議システム）でのファイル共有もできると良いですが、学習を進める中で慣れていっていただければ結構です。

入学後、新入生ガイダンス等でも本学学習システム利用に関する基本的な操作方法等について説明する機会を設けます。その他ご不明な点がありましたら事務局までお問い合わせください。

推奨機材

画面の見やすさ(画面サイズ)や文字入力のしやすさ(キーボードの有無)を考慮してご自身に合った端末を選んでください。カメラ・マイクが使用できるパソコンを推奨します。基本的には事務作業向けのパソコンで十分です。パソコン等については4月中をめどにご準備いただければ結構です。

※一部コースではパソコン機材の指定あり(31ページ「アプリケーションソフト等」参照)。

システム要件

デバイス	対象OS	ブラウザ
Windows PC	Windows 10、11	Google Chrome(推奨) Microsoft Edge
Mac PC	Mac OS 10.14 Mojave 以降	Google Chrome(推奨) Safari
iPhone・iPad	iOS 12 以降	Google Chrome(推奨) Safari
Android端末	Android 7 以降	Google Chrome(推奨)

※ブラウザはいずれも最新版を使用してください。

※ブラウザの設定で、Cookieを有効にする必要があります。Cookieが無効の場合、airUの一部が正常に動作しない場合があります。

※今後のOSやブラウザ、本学システムのバージョンアップに伴い、システム要件も変更となる場合があります。

アプリケーション

レポート作成にあたってはそれなりの長文を執筆しますので、Word等のテキストエディタを使用できると良いでしょう。一部の遠隔スクーリングや対面相談等ではオンライン会議システムの「Zoom」も使用します。最新のシステム要件については以下ZoomのWebサイトをご確認ください。

なお、コースによっては特殊なアプリケーションを使用するなど、別途要件を指定しています(31～34ページ参照)。

・Zoom ヘルプセンター>はじめに(<https://support.zoom.us/>)

インターネット環境

Web利用にあたっては別途通信料がかかります。定額の高速光回線を推奨します。

システムの言語環境

海外でパソコンをご利用の場合は、日本語版OSのみご利用いただけます。また、ブラウザの設定も日本語に設定していただく必要があります。タブレットやスマートフォンの場合は、言語環境を日本語に設定していただく必要があります。

課題提出期間および単位修得試験期間

科目はそれぞれ春夏秋冬3ヶ月ごとに提出期間が設定されています。期間中はいつでも提出可能です。

		春期			夏期			秋期			冬期		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
TR	テキスト レポート 科目	レポート		試験	レポート		試験	レポート		試験	レポート		試験
		4/21 ~ 4/30		6/1 ~ 6/8	7/21 ~ 7/30		9/1 ~ 9/8	10/21 ~ 10/30		12/1 ~ 12/8	1/21 ~ 1/30		3/1 ~ 3/8
TW	テキスト 作品科目	作品	作品		作品	作品		作品	作品		作品	作品	
		4/11 ~ 4/20	5/11 ~ 5/20		7/11 ~ 7/20	8/11 ~ 8/20		10/11 ~ 10/20	11/11 ~ 11/20		1/11 ~ 1/20	2/11 ~ 2/20	
TX	テキスト 特別科目	課題の提出期間は科目により設定されます。											
WS	Web スクーリング 科目		レポート または 作品	全体 講評		レポート または 作品	全体 講評		レポート または 作品	全体 講評		レポート または 作品	全体 講評
			5/21 ~ 5/28	6/13 ~ 6/20		8/21 ~ 8/28	9/13 ~ 9/20		11/21 ~ 11/28	12/13 ~ 12/20		2/21 ~ 2/28	3/13 ~ 3/20

※基本日程を記載しています。暦の関係上等で一部前後する場合があります。

※単位修得試験は、Web受験のみです。

※WS科目は科目により、「春期・秋期」または「夏期・冬期」の開講です。



課題や試験は
1回で合格しなくても大丈夫。
提出・受験機会は
年度内に複数回あります。

履修形態

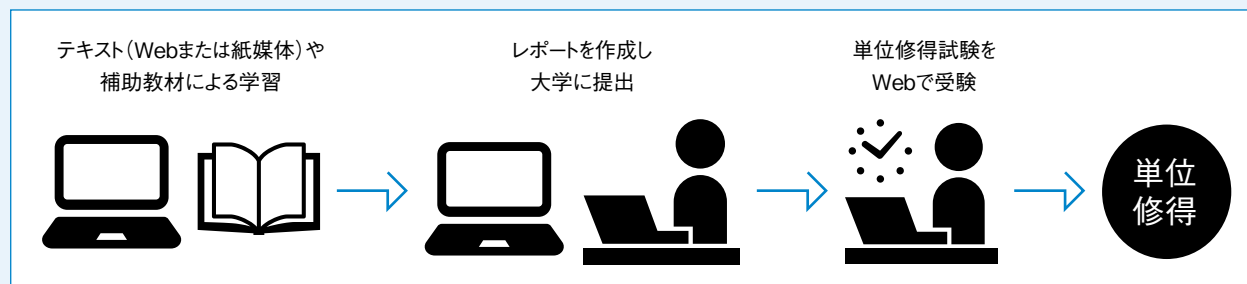
通信教育における開講科目は、「テキスト科目」と「スクーリング科目」に大きく分けられます。

本学通信教育課程では自宅学習や対面授業、レポートや作品など課題によって科目の形態が6種類あります。

テキスト科目	TR (テキストレポート科目)	自宅学習	レポート課題と単位修得試験がある科目
	TW (テキスト作品科目)		作品課題の科目
	TX (テキスト特別科目)		卒業関連科目、論文研究など特別な科目
スクーリング科目	WS (Webスクーリング科目)	対面/遠隔授業	Web上での動画学習と課題提出がある科目
	S (スクーリング科目)		対面/遠隔授業のある科目
	GS (芸術学舎科目)		本学が開講する公開講座芸術学舎を受講する科目

※スクーリング科目における開講形態(対面/遠隔)は、「スクーリング日程2024 (pdf)」をご確認ください。

TR（テキストレポート科目）



テキストや補助教材をもとに自宅で学習します。テキストを読み、あたえられた課題についてレポート（3,200文字程度／2単位科目）を作成。レポートは教員からの添削講評文とともに返却されます。レポート合格後に単位修得試験を受験できます。レポート、単位修得試験に合格すれば単位修得です。

課題の提出方法は原則「Webのみ」ですが、一部「郵送等のみ」の科目があります。郵送等は京都瓜生山キャンパスでの窓口提出も含まれます。

単位修得試験

レポート合格後、単位修得試験が受験可能です。単位修得試験はWebでのみ受験できます。1科目につき、60分間の論述形式（あたえられた課題について自らの考えを述べる形式）の試験が中心です。本人認証を経て学習用Webサイト「airUマイページ」で受験します。

TW（テキスト作品科目）

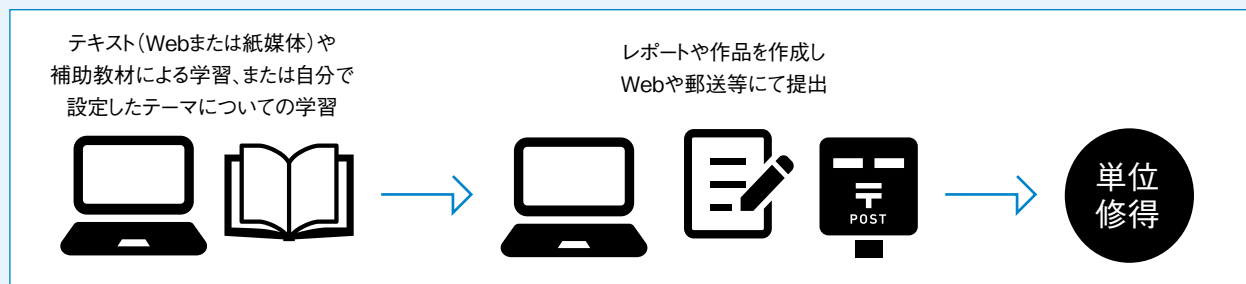


テキストや補助教材をもとに自宅で学習します。テキストを読み、あたえられた課題について作品を作成。添削講評文と、課題によっては作品のコピーやデータに教員のコメントが書き込まれたものとともに返却されます。

課題の提出方法は科目により、「Webのみ」「Webと郵送等」「郵送等のみ」があります。郵送等は京都瓜生山キャンパスでの窓口提出も含まれます。

※芸術教養学科の方は受講できません。

TX（テキスト特別科目）



テキストや補助教材をもとに自宅学習、または自分で設定したテーマについて学習します。あたえられた課題についてレポートや作品を作成。レポートや作品は教員からの添削講評文とともに返却されます。科目によって、開講スケジュールや課題の提出期間が異なるなど、取り組み方は様々です。卒業関連科目、論文研究などの特別な科目が該当します。

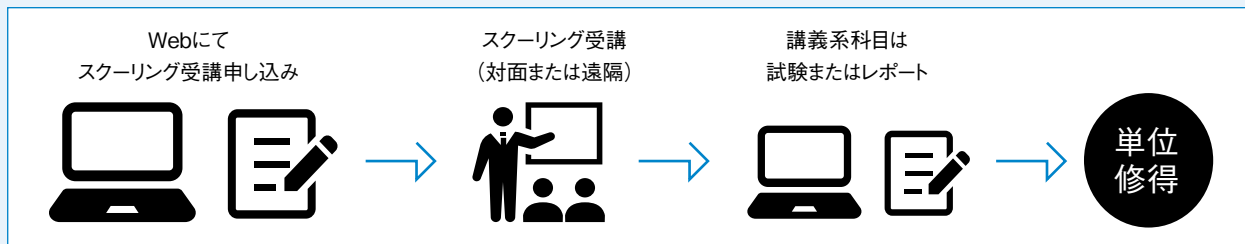
課題の提出方法は科目により、「Webのみ」「Webと郵送等」「郵送等のみ」があります。郵送等は京都瓜生山キャンパスでの窓口提出も含まれます。手のひら芸大は「Webと郵送等」の科目でも「Webのみ」です。

WS（Webスクーリング科目）



動画教材とテキストを組み合わせる学習します。動画教材を視聴し終えたら、科目によってレポート試験または作品課題を提出し、「全体講評」動画を視聴することですべての授業が終了します。レポート試験のボリュームは科目により異なりますが、800～1,600字程度です。

S (スクーリング科目)



スクーリングを申し込み、受講許可となった科目を受講できます^{※1,2}。スクーリング科目の一部には事前課題や事前学習がありますので、受講前までに取り組んでください。また、講義系科目はスクーリング最終日の筆記試験または授業後のレポート提出（原則Web提出）が必要な科目があります。

※芸術教養学科の方は受講できません。

※1：文芸コース／アートライティングコース／書画コース／イラストレーションコース／映像コース／食文化デザインコース
 専門教育スクーリング科目（遠隔）は申し込み不要です。

※2：文芸コース／アートライティングコース／書画コース専門教育スクーリング科目（遠隔）の学習の流れは上記と異なります。
 「2024 大学案内」各コースページをご確認ください。



◀スクーリング日程
2024 (PDF)を
ご覧ください。

スクーリングの申し込み方法

3ヶ月に1回、年4回の申込期間を設けています。定員を超える受講申込みがあった場合には、抽選になる場合があります。また、申込者が少ない場合、日程変更をお願いする場合や開講を取りやめることがあります。定員に空きのある科目については開講日のおおよそ40～5日前まで追加募集を行います。

※文芸コース／アートライティングコース／書画コース／イラストレーションコース／映像コース／食文化デザインコース専門教育スクーリング科目（遠隔）は申し込み不要です。

スクーリングのキャンセル料

申し込みをしたスクーリングを受講許可後にキャンセルする場合、キャンセル料（スクーリング受講料の10～100%）が発生します。なお、キャンセル時期によってはスクーリング受講料を一旦引落後に、後日キャンセル料を差し引いた金額を返金する場合があります（振込手数料本人負担）。

週末芸大 各コースの専門教育科目スクーリング開講状況

※週末土日2日間を中心に開講

コース	以下会場での受講で卒業可					備考
	京都のみ	東京のみ	京都+遠隔	東京+遠隔	遠隔のみ	
芸術学			○	○	○	一部の科目は京都のみ、東京のみで開講のため、選択によってはその限りではありません。
歴史遺産			○	○	○	
和の伝統文化			○	○	○	
日本画	○	○	○	○	○	3年次選択必修科目の一部は京都のみ、対面のみで開講しています。卒業制作は対面受講を推奨します。(P.49参照)
洋画	○	○	○	○	○	「卒業制作6」のみ対面受講（京都または東京）を推奨します。(P.49参照)
陶芸	○		○			東京での開講はありません。
染織	○		○	○	○	一部の3年次選択必修科目は京都のみで開講のため、選択によってはその限りではありません。
写真			○	○	○	
グラフィックデザイン			○	○	○	2025年度よりオンライン完結のカリキュラムに順次移行予定です。2026年度完成予定。
建築デザイン	○	○	○	○	○	
ランドスケープデザイン	○	○	○	○		
空間演出デザイン			○	○	○	

※スクーリング科目における開講形態（対面／遠隔）は、「スクーリング日程2024 (pdf)」をご確認ください。

※申込者多数の場合は、抽選結果により希望の会場で受講できない場合があります。

スクーリングの成績

講義系スクーリングの場合、成績評価のため、スクーリング終了後に筆記試験やレポート提出を求められることがあります。演習系スクーリングでは、スクーリング中に制作した成果物の提出や、プレゼンテーションが求められます。スクーリングの成績は、受講態度や課題、試験、提出物、プレゼンテーションの総合評価です。

スクーリングの日数

講義系スクーリングは1単位7.5講時（スクーリングにより+0.5講時の授業後試験あり）、演習系スクーリングは1単位10講時を基準にしています。

以下を基本のパターンとしています。

- 講義系スクーリング(1単位) = 3講時(Ⅲ～Ⅴ講時) + 5講時(Ⅰ～Ⅴ講時) = 2日間^{※1}
- 演習系スクーリング(1単位) = 5講時(Ⅰ～Ⅴ講時) + 5講時(Ⅰ～Ⅴ講時) = 2日間^{※2}

※1：講義系スクーリングでは事後にレポートに取り組む科目があります。

※2：スクーリングの受講前または事後に5講時相当の事前または事後課題などに取り組む必要があります。

科目により開講の形態が異なりますので、「スクーリング日程2024 (pdf)」で開講日程を確認してください。

スクーリング開講時間

講時	開講時間
I講時	9:30～10:50
II講時	11:00～12:20
III講時	13:20～14:40
IV講時	14:50～16:10
V講時	16:20～17:40

遠隔授業

遠隔授業とは、対面（大学等）ではなくオンラインで授業を受けられる開講形態のことです。遠隔授業には主に以下の受講方法があります。

- Zoom（オンライン会議システム）等を利用したリアルタイムでの受講。
- 事前収録した動画を視聴（オンデマンド配信）。

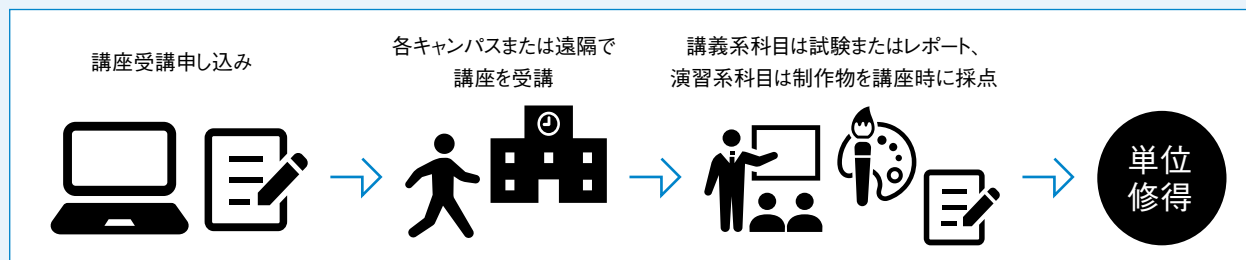
遠隔授業の場合も対面授業と同じく申し込みが必要です[※]。受講許可者には、受講に必要なZoomのIDやパスワード等をお知らせしますので、スクーリング開講日に指定のURLに接続またはミーティングルームに入室すれば、授業を受講できます。なお、スクーリング科目における開講形態（対面/遠隔）は、「スクーリング日程2024 (pdf)」をご確認ください。

※文芸コース/アートライティングコース/書画コース/イラストレーションコース/映像コース/食文化デザインコース専門教育スクーリング科目(遠隔)は申し込み不要です。
 ※文芸コース/アートライティングコース/書画コース専門教育スクーリング科目(遠隔)の学習の流れは上記と異なります。「2024 大学案内」各コースページをご確認ください。
 ※遠隔のみで卒業の場合、受講日程が限定されることがあります。

対面スクーリング時の宿泊施設

京都については、各自で手配をお願いします。東京については、本学学生用の特別宿泊料金を設定している東京外苑キャンパス周辺のホテル等を入学後の資料で紹介します。京都や東京以外の一部の地方スクーリングでは、事務局が直接宿泊施設の斡旋を行う場合もあります。なお、大学には宿泊施設はありません。

GS（藝術学舎科目）



藝術学舎は本学が開講している一般公開講座です。隔週（全5回）と2日間集中で、講義やデッサン、写真の演習など、年間250講座以上の多彩なプログラムを開講しています。

藝術学舎の講座は本学通信教育部のスクーリング科目として開講しており、これらの講座に合格することで単位を修得できます（単位の認定には上限があり、一部、単位認定の対象外となる講座もあります。詳細は、『藝術学舎講座案内』をご確認ください）。

なお、本学通信教育部の在学学生は講座料が10%割引ですので、単位修得の場として有効に活用してください。

藝術学舎

URL : <https://air-u.kyoto-art.ac.jp/gakusha/> Tel : 075-791-9124 E-mail : gakusha@office.kyoto-art.ac.jp

学習支援体制

入学式

下記の日程で行います。出席は任意です。出席をお考えの方は2月16日（金）までに出願手続を完了させてください。詳しくは学生証に同封の案内資料にてご確認ください。なお、各開催日までに学生証が届いていない場合は、出席できません。

※入学式はLIVE配信を予定していますので、当日参加が難しい方はLIVE配信を視聴してください。

※入学式・対面ガイダンスは事前申込制にて実施を予定しています。申込者多数の場合は抽選となります。申込方法等、詳細は学生証と一緒に送る「入学式・新入生ガイダンスのご案内」をご確認ください。出願時期により、お申込をお受けできない場合もありますので、入学式・対面ガイダンスの出席を希望される場合はお早めにご出願ください。

開催日	開催地／会場	学科・コース
4月7日（日）	京都／瓜生山キャンパス	全学科・コース

新入生ガイダンス

学習方法やカリキュラムについて説明を行う「新入生ガイダンス」を下記の日程で行います。いずれも出席は任意ですが、積極的に出席してください。

詳しくは学生証に同封の案内資料にてご確認ください。

[前期(4月)入学]

開催日	開催地／会場	学科・コース
4月7日（日）[入学式]	京都／瓜生山キャンパス	全学科・コース
4月14日（日）	東京／外苑キャンパス	
5月11日（土）	オンライン	

[後期(10月)入学]

開催日	開催地／会場	学科・コース
10月5日（土）	オンライン	芸術教養学科

※当日ガイダンスに参加できない方向けに、別途学習用Webサイト「airUマイページ」にガイダンス資料を掲載予定です。

※後期(10月)入学の場合、入学式はありません。

※入学式・対面ガイダンスは事前申込制にて実施を予定しています。申込者多数の場合は抽選となります。申込方法等、詳細は学生証と一緒に送る「入学式・新入生ガイダンスのご案内」をご確認ください。出願時期により、お申込をお受けできない場合もありますので、入学式・対面ガイダンスの出席を希望される場合はお早めにご出願ください。

学習相談

学習用Webサイト「airUマイページ」内のコンシェルジュ（質問フォーム）で質問を受け付けています。

また、遠隔または京都・東京の両キャンパスにおいて、学習計画の立て方や学習の進め方に関する質問や相談に教職員が直接答える機会を設けています（週末芸大のみ、1週間前までに要予約）。

学習用Webサイト「airUマイページ」

- 学習スケジュールの作成・管理
- テキスト科目、Webスクーリング科目、スクーリング科目の学習
- 履修状況の確認
- シラバス(科目概要)の閲覧
- 各種手続きのための書式ダウンロード
- スクーリングの申込、情報閲覧
- チャットボット(AIによる自動応答)



airUコミュニティ（通信教育課程専用SNSアプリ）

本学通信教育課程の在学学生、卒業生、教職員専用のソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)です。事務局や学科・コースからのお知らせやイベント情報の確認ができ、コース内のコミュニティで教員や在学学生と意見交換をしたり、学生同士や卒業生と自由にコミュニティを立ち上げ情報交換や交流ができます。スマートフォンにアプリをダウンロードしPUSH通知を有効にすると、必要な情報が通知されます。コミュニティにおける交流・学習は実名です。あらかじめご了承ください。

『雲母(きらら)』

年4回発行の補助教材です。各研究室教員からのメッセージやアドバイスをお届けします。

※手のひら芸大の学科・コースはPDF

学習会のサポート

テキスト課題と一緒に取り組んだり、デッサン会やグループ展を催したり等、学生が集まって自主的に行う勉強会が全国各地で盛んに行われています。一層の学習効果が高まると判断される等いくつかの条件を満たした場合、大学の費用で教職員を派遣する制度もあります。また、学習会の会場として、京都・東京の両キャンパスの教室の一部を無料で貸し出しています(要申込)。

芸術文化情報センター（大学図書館）

図書貸出は10冊を上限に2週間まで行っています。相互利用サービスとして、他大学の図書館や研究機関、国立国会図書館等の蔵書を利用できるサービスもあります。また、東京外苑キャンパス内で本学所蔵の図書資料(一部)を閲覧・複写することも可能です。

芸術教養学科 履修科目一覧

入学した学科の専門教育科目と学部共通専門教育科目、総合教育科目が履修できます（他学科・コースの専門教育科目は履修できません）。

履修形態(39～44ページ参照) TR: テキストレポート科目 TX: テキスト特別科目 WS: Webスクーリング科目 GS: 藝術学舎科目
配当年次 その年次以上になれば履修できます。

※履修科目一覧は開講を予定している科目です。変更となる場合があります。

※科目内容については、以下をご確認ください。

<https://www.kyoto-art.ac.jp/t/course/tenohira/curriculum>

芸術教養学科専門教育科目

履修形態	科目名	科目紹介	単位数	配当年次	備考
TR	芸術教養入門	芸術教養学科で学ぶ学びとは何か、学習の体系と求められる基本的態度を学びます。	1	1	
WS	芸術教養講義1	芸術活動の今を端的に示すデザインのありかたとその基本的な思考法を学びます。	2	1	
WS	芸術教養講義2	私たちの暮らしのリズムを刻むイベントや行事のもつ意義を考察する視点を学びます。	2	1	
WS	芸術教養講義3	空間から日本の文化の本質を考え、理解するための授業です。	2	1	
WS	芸術教養講義4	モノや出来事を情報として捉え、俯瞰し整理する編集の考え方を学びます。	2	1	
WS	芸術教養講義5	人と人のコミュニケーションの方法や共同作業のデザインについて考えます。	2	1	
WS	芸術教養講義6	日本や東アジアの暮らしの基層にある伝統文化の成り立ちを反省します。	2	1	
WS	芸術教養講義7	伝統的な暮らしのリズムを作る年中行事や通過儀礼について考えます。	2	1	
WS	芸術教養講義8	私たちの風土にあわせた暮らしのなかで培われた空間のありかたを学びます。	2	1	
WS	芸術教養講義9	文物の蒐集と展示を伝統的な編集的思考法として捉えて考察します。	2	1	
WS	芸術教養講義10	人や地域をつなぐ文化的交流のさまざまなありかたやその歴史について学びます。	2	1	
TR	芸術教養研究1	人やグループに焦点をあてて、今日のデザイン・芸術活動の個別例を研究します。	2	1	
TR	芸術教養研究2	技術に焦点をあてて、今日のデザイン・芸術活動の個別例を研究します。	2	1	
TR	芸術教養研究3	特定の人物や集団をとりあげ、その活動や歴史的な影響を考察します。	2	1	
TR	芸術教養研究4	特定の技術や産業をとりあげて、その成立や歴史的な推移を考察します。	2	1	
TX	芸術教養演習1	指定のカテゴリに沿って地域文化を作る芸術デザイン活動の調査報告を行います。	2	3	
TX	芸術教養演習2	景観やプロダクト、食文化など皆さんの選択した今日的な芸術環境を調査報告します。	2	3	
TX	卒業研究	地域の特色ある文化資産をプレゼンテーションするレポートを作成、発表します。	2	4	必修

学部共通専門教育科目

履修形態	科目名	単位数	配当年次	備考	履修形態	科目名	単位数	配当年次	備考
TR	美学概論	2	1		WS	芸術史講義(ヨーロッパ)1	2	1	
TR	芸術理論1	2	1		WS	芸術史講義(ヨーロッパ)2	2	1	
TR	芸術理論2	2	1		WS	芸術史講義(ヨーロッパ)3	2	1	
TX	知的財産権研究	2	1		WS	芸術史講義(ヨーロッパ)4	2	1	
WS	芸術史講義(日本)1	2	1		WS	芸術史講義(近現代)1	2	1	
WS	芸術史講義(日本)2	2	1		WS	芸術史講義(近現代)2	2	1	
WS	芸術史講義(日本)3	2	1		WS	芸術史講義(近現代)3	2	1	
WS	芸術史講義(日本)4	2	1		WS	芸術史講義(近現代)4	2	1	
WS	芸術史講義(アジア)1	2	1		TX	地域芸術実践1	2	1	
WS	芸術史講義(アジア)2	2	1		TX	地域芸術実践2	2	1	
WS	芸術史講義(アジア)3	2	1		GS	学芸専門講義1～10*	各1	1	
WS	芸術史講義(アジア)4	2	1		GS	学芸専門演習1～10*	各1	1	

※「学芸専門講義1～10」「学芸専門演習1～10」は藝術学舎の単位連携科目です。

※開講科目は予定です。入学後に改めてご確認ください。

総合教育科目

履修形態	科目名	単位数	配当年次	備考	履修形態	科目名	単位数	配当年次	備考
TR	ことばと表現	1	1		TR	アジア史	2	1	
TR	論述基礎	2	1		TR	西洋史	2	1	
TR	外国語1	2	1		TR	文化研究1	2	1	
TR	古典日本語	2	1		TR	文化研究2	2	1	
TR	情報	2	1		TR	文化研究3	2	1	
TR	音楽	2	1		TR	京都を学ぶ	2	1	
TR	地域環境論	2	1		TR	地域を探る	2	1	
TR	生態学	2	1		TR	詩学への案内	2	1	
TR	都市デザイン論	2	1		TR	哲学への案内	2	1	
TR	色彩と形	2	1		TR	学際的な知への案内	2	1	
TR	心理学	2	1		TR	日本の憲法	2	1	
TR	政治学	2	1		TX	地域環境学演習	2	1	
TR	経済学	2	1		TX	地域文化学演習	2	1	
TR	社会学	2	1		GS	学芸基礎講義1～10*	各1	1	
TR	宗教学	2	1		GS	学芸基礎演習1～10*	各1	1	
TR	列島考古学	2	1						
TR	日本史	2	1						

※「学芸基礎講義1～10」「学芸基礎演習1～10」は藝術学舎の単位連携科目です。

※開講科目は予定です。入学後に改めてご確認ください。

芸術学科・美術科・デザイン科 履修科目一覧

入学した学科・コースの専門教育科目と学部共通専門教育科目、総合教育科目を履修できます(他学科・コースの専門教育科目は履修できません^{*1})。

履修形態 (39～44ページ参照) TR: テキストレポート科目 TW: テキスト作品科目 TX: テキスト特別科目
 S: スクーリング科目 WS: Webスクーリング科目 GS: 芸術学舎科目
 配当年次 その年次以上になれば履修できます。
 必修、選択科目 必修: 必修科目、選必: 選択必修科目
 コー ス 芸: 芸術学コース、歴: 歴史遺産コース、文: 文芸コース、和: 和の伝統文化コース、ア: アートライティングコース
 日: 日本画コース、洋: 洋画コース、陶: 陶芸コース、染: 染織コース、写: 写真コース、書: 書画コース
 グ: グラフィックデザインコース、建: 建築デザインコース、ラ: ランドスケープデザインコース
 空: 空間演出デザインコース、イ: イラストレーションコース、映: 映像コース、食: 食文化デザインコース

※科目内容については、通信教育部Webサイト <https://www.kyoto-art.ac.jp/t/> の「授業一覧」をご確認ください(2023年12月上旬公開)。

※履修科目一覧は開講を予定している科目です。変更となる場合があります。

※芸術教養学科の履修科目一覧は46ページをご確認ください。

※1: 文芸コース、アートライティングコースではそれぞれのコース専門教育科目を一部履修することができます。



◀ 授業一覧はこちら

芸術学科専門教育科目 ※芸術学・歴史遺産・文芸・和の伝統文化・アートライティングのみ履修可能。

履修形態	科目名	単位数	配当年次	備考
TR	芸術学基礎	2	1	芸必修
TR	美術史学基礎	2	1	芸必修
TR	地域芸術理論	2	1	
S	芸術学概論	1	1	芸必修
S	日本美術論	1	1	
S	西洋美術論	1	1	
S	アジア美術論	1	1	
S	美術史学概論	1	1	芸必修
S	音楽文化論	1	1	
TR	京都学入門	2	1	歴必修
TR	史料学基礎	2	1	歴必修
TR	史料講読基礎	2	1	歴必修
S	京都の歴史	1	1	歴必修
S	文献資料講読	1	1	歴必修
S	京都学研修1	1	1	
S	京都学研修2	1	1	
S	江戸の歴史	1	1	
TR	日本文化の源流	2	1	
TR	日本文化と東アジア	2	1	
TR	日本の生活文化	2	1	

履修形態	科目名	単位数	配当年次	備考
S	詩歌と日本文化	1	1	和必修
S	伝統芸能と工芸	1	1	和必修
S	室礼ともてなし	1	1	和必修
S	伝統芸能の諸相	1	1	和必修
S	花道文化の展開	1	1	和必修
S	伝統文化の空間	1	1	和必修
TX	論文研究基礎演習	2	2	ア文履修不可
S	論文研究基礎	1	2	歴必修、ア文履修不可
TX	論文研究I-2	1	3	芸歴和必修、ア文履修不可
TX	論文研究II-2	1	3	芸歴和必修、ア文履修不可
S	論文研究I-1	1	3	芸歴和必修、ア文履修不可
S	論文研究II-1	1	3	芸歴和必修、ア文履修不可
S	論文研究特論	1	3	歴必修、ア文履修不可
TX	論文研究III	2	4	ア文履修不可
TX	卒業研究	8	4	芸歴和必修、ア文履修不可

芸術学コース専門教育科目

履修形態	科目名	サブタイトル	単位数	配当年次	備考
TR	芸術論I-1	芸術学入門	2	1	芸必修
TR	芸術論I-3	芸術鑑賞1: 日本・東洋	2	1	芸必修
TR	芸術論I-4	芸術鑑賞2: 西洋	2	1	芸必修
TR	芸術論I-5	美術館・博物館の教育普及	2	1	
TR	芸術学演習I-2	美術批評	2	1	芸必修
TR	芸術学資料論I-1	資料の講読: 日本・東洋	2	1	
TR	芸術学資料論I-2	資料の講読: 西洋	2	1	芸選必(2単位)
S	芸術学研修		1	1	芸必修
S	芸術学実践		1	1	芸必修
S	芸術学III-1	美術資料の読み方: 日本・東洋	1	1	芸必修
S	芸術学III-2	美術資料の読み方: 西洋	1	1	芸必修
S	芸術学I-1	芸術理論: 芸術環境を巡る諸問題	1	1	
S	芸術学I-2	芸術理論: 芸術学原論(祭礼と感性)	1	1	
S	芸術学I-3	芸術理論: 舞踊論	1	1	芸選必(2単位)
S	芸術学I-4	芸術理論: 表象行為論	1	1	
S	芸術学I-5	芸術理論: 視覚文化論	1	1	

履修形態	科目名	サブタイトル	単位数	配当年次	備考
S	芸術学Ⅱ-1	芸術史：写真の諸相	1	1	芸選必(2単位)
S	芸術学Ⅱ-2	芸術史：西洋芸術史の諸問題	1	1	
S	芸術学Ⅱ-3	芸術史：日本芸術史の諸問題	1	1	
S	芸術学Ⅱ-4	芸術史：東洋芸術史の諸問題	1	1	
S	芸術学Ⅱ-5	芸術史：西洋音楽の諸相	1	1	

歴史遺産コース専門教育科目

履修形態	科目名	サブタイトル	単位数	配当年次	備考
TR	歴史遺産学基礎講義	京都学	2	1	歴必修
TR	歴史遺産学Ⅰ-1	信仰と文化の歴史	2	1	歴必修
TR	歴史遺産学Ⅰ-3	考古学研究	2	1	
TR	歴史遺産学Ⅱ-1	文化財保存修復概論	2	1	歴必修
TR	歴史遺産学Ⅱ-3	世界遺産学	2	1	歴必修
TR	史料講読応用	返り点のない活字史料の読解	2	1	
TR	古文書入門	文献史料に慣れ親しむ	2	1	
S	歴史遺産フィールドワーク1	中世鎌倉を歩く	1	1	歴選必(1単位)
S	歴史遺産フィールドワーク2	京都大原を訪ねて	1	1	
S	歴史遺産学概論	ものところの歴史遺産	1	1	歴必修
S	歴史遺産Ⅱ-1	文化財の保存と活用	1	1	歴必修
S	歴史遺産Ⅱ-2	文化財と保存修理	1	1	歴必修
S	歴史遺産Ⅱ-4	世界遺産 比叡山延暦寺	1	1	
S	歴史遺産Ⅲ-1	美術品の調査方法	1	1	歴選必(1単位)
S	歴史遺産Ⅲ-2	民俗文化の調査方法	1	1	
S	歴史遺産Ⅲ-3	中世～近世 活字史料の読解	1	1	歴必修
S	歴史遺産Ⅲ-5	くずし字史料の読解	1	1	

文芸コース専門教育科目

履修形態	科目名	サブタイトル	単位数	配当年次	備考
S(遠隔)	文芸特講1	文章表現の構造と技法	2	1	文必修
S(遠隔)	文芸特講2	文脈を読む	2	1	文必修
S(遠隔)	文芸特講3	古典を読む	2	1	文必修
S(遠隔)	文芸特講4	小説の構造と技法	2	1	文必修
S(遠隔)	文芸特講5	編集の構造と技法	2	1	文必修
S(遠隔)	文芸特講6	小説を読む	2	1	文必修
S(遠隔)	文芸演習1	対象を観察して書く	2	1	文必修
S(遠隔)	文芸演習2	小説を書く	2	1	文必修
S(遠隔)	文芸演習3	文芸批評を書く	2	1	文必修
S(遠隔)	文芸演習4	エッセイを書く	2	1	文必修
S(遠隔)	文芸演習5	自分の主張を交えて書く	2	1	文必修
S(遠隔)	卒業制作準備		2	4	文必修
S(遠隔)	卒業制作		4	4	文必修

和の伝統文化コース専門教育科目

履修形態	科目名	サブタイトル	単位数	配当年次	備考
TR	伝統文化基礎講義	伝統文化の考え方	2	1	和必修
TR	伝統文化論Ⅰ-1	和歌連歌	2	1	和必修
TR	伝統文化論Ⅰ-2	中世芸能	2	1	和必修
TR	伝統文化論Ⅰ-3	近世芸能	2	1	和必修
TR	伝統文化論Ⅱ-2	茶道	2	1	和必修
TR	伝統文化論Ⅱ-3	煎茶道	2	1	和必修
TR	伝統文化論Ⅱ-4	花道	2	1	和必修
S	伝統文化入門	伝統文化の学び方	1	1	和必修
S	伝統文化研修		1	1	和必修
S	伝統文化実践Ⅰ-1	鑑賞と批評	1	1	和必修
S	伝統文化実践Ⅰ-4	室礼と道具	1	1	和必修
S	伝統文化実践Ⅱ-1	伝統邦楽	1	1	
S	伝統文化実践Ⅱ-3	伝統芸能	1	1	
S	伝統文化実践Ⅱ-4	茶の文化	1	1	
S	伝統文化Ⅰ-2	日本の芸能	1	1	
S	伝統文化Ⅰ-4	ことばと文化	1	1	
S	伝統文化Ⅱ-2	煎茶の世界	1	1	
S	伝統文化Ⅱ-4	伝統文化の諸問題	1	1	

アートライティングコース専門教育科目

履修形態	科目名	サブタイトル	単位数	配当年次	備考
S(遠隔)	アートライティング特講 1	アートを書く・文化を編む	2	1	ア必修
S(遠隔)	アートライティング特講 2	芸術研究の方法論	2	1	ア必修
S(遠隔)	アートライティング特講 3	現代批評論 歴史・理論・実践	2	1	ア必修
S(遠隔)	アートライティング特講 4	まちを描く	2	1	ア必修
S(遠隔)	アートライティング特講 5	記録資料と芸術表現	2	1	ア必修
S(遠隔)	アートライティング特講 6	アートパブリッシング	2	1	ア必修
S(遠隔)	アートライティング演習 1	ディスクリプション	2	1	ア必修
S(遠隔)	アートライティング演習 2	クリティカル・エッセイ	2	1	ア必修
S(遠隔)	アートライティング演習 4	インタビューの方法論	2	1	ア必修
S(遠隔)	アートライティング演習 5	書評を書く	2	1	ア必修
S(遠隔)	アートライティング演習 6	ノンフィクションライティング	2	1	ア必修
S(遠隔)	卒業制作準備		2	4	ア必修
S(遠隔)	卒業制作(アートライティング)		4	4	ア必修

日本画コース専門教育科目

履修形態	科目名	サブタイトル	単位数	配当年次	備考
TW	日本画演習I- 1	鉛筆による細密描写 / 色鉛筆による細密描写(1)	2	1	日必修
TW	日本画演習I- 2	色鉛筆による細密描写(2) / 色鉛筆と水干・岩絵具による制作	2	1	日必修
S	日本画I- 1	鉛筆写生	1	1	日必修
S	日本画I- 2	色鉛筆写生	1	1	日必修
S	日本画I- 3	制作の基本	1	1	日必修
S	日本画II- 1	水干・岩絵具併用による制作	2	1	日必修
S	日本画II- 3	模写制作	1	1	日必修
TW	日本画演習II- 1	静物制作のための写生 / 水干・岩絵具による静物制作	2	2	日必修
TW	日本画演習II- 2	樹木の写生 / 花か実のある植物写生	2	2	日必修
S	日本画III- 1	植物写生	1	2	日必修
S	日本画III- 2	植物制作	2	2	日必修
S	日本画IV- 1	剥製写生	1	2	日必修
S	日本画IV- 2	剥製制作	2	2	日必修
TW	日本画演習III- 1	自画像素描および写生 / 上半身自画像制作	2	3	日必修
TW	日本画演習III- 2	身近な風景の写生 / 身近な風景の制作	2	3	日必修
S	日本画V- 1	人物写生	2	3	日選必(6単位)
S	日本画V- 2	人物制作1	2	3	
S	日本画V- 3	人物制作2	2	3	
S	日本画V- 4	風景写生	2	3	
S	日本画V- 5	風景制作1	2	3	
S	日本画V- 6	風景制作2	2	3	
TX	日本画演習IV	40号自由制作レポート / 卒業制作レポート、ポートフォリオ	4	4	日必修
S	卒業制作(日本画)*		6	4	日必修

*卒業制作(日本画)は全6回のスクーリングです。第2回目～第5回目は対面受講を推奨します。第6回目のスクーリングは原則対面受講です(遠隔受講を希望の場合要相談)。

洋画コース専門教育科目

履修形態	科目名	サブタイトル	単位数	配当年次	備考
TW	洋画演習I- 1	鉛筆デッサン「塊を描く」 / 鉛筆デッサン「私の靴」	2	1	洋必修
TW	洋画演習I- 2	人物油彩「自画像」 / 静物油彩「野菜・果物」	2	1	洋必修
S	洋画I- 1	鉛筆デッサン	1	1	洋必修
S	洋画I- 2	木炭デッサン1	1	1	洋必修
S	洋画I- 3	木炭デッサン2	1	1	洋必修
S	洋画II- 1	静物油彩1	1	1	洋必修
S	洋画II- 2	人体油彩1	2	1	洋必修
TW	洋画演習II- 1	ドローイング「手」 / 鉛筆デッサン「囲まれた空間を描く」	2	2	洋必修
TW	洋画演習II- 2	人物油彩「鏡面に映る自画像と室内風景」 / 風景油彩「建物のある風景」	2	2	洋必修
S	洋画III- 1	人体油彩2— 塑造と油彩	2	2	洋必修
S	洋画III- 2	風景を描く	1	2	洋必修
S	洋画IV- 1	静物油彩2— 構成	2	2	洋必修
S	洋画IV- 2	コンポジション	1	2	洋必修
TW	洋画演習III- 1	自由制作 I「発想」	2	3	洋必修
TW	洋画演習III- 2	自由制作 II「表現」	2	3	洋必修
S	洋画V- 1	花	2	3	洋必修
S	洋画V- 2	人	2	3	洋必修
S	洋画V- 9	抽象	2	3	洋必修
TX	洋画演習IV	50号自由課題 / 副論・ポートフォリオ	4	4	洋必修
S	卒業制作(洋画)*		6	4	洋必修

*卒業制作(洋画)は全6回のスクーリングです。第6回目のスクーリングのみ原則対面受講です(遠隔受講を希望の場合要相談)。

陶芸コース専門教育科目

履修形態	科目名	サブタイトル	単位数	配当年次	備考
TX	陶芸演習I-1	土による立体デッサン	2	1	陶必修
TX	陶芸演習I-2	五客揃の碗	2	1	陶必修
S	陶芸I-1	日常の器／ロクロ技法	1	1	陶必修
S	陶芸I-2	白い器／ロクロ技法	2	1	陶必修
S	陶芸II-1	机上のオブジェ／石膏型	1	1	陶必修
S	陶芸II-2	食卓の風景／石膏型	2	1	陶必修
TX	陶芸演習II-1	花の器	2	2	陶必修
TX	陶芸演習II-2	ハレの日の器	2	2	陶必修
S	陶芸III-1	機能からの発想／手びねり技法	1	2	陶必修
S	陶芸III-2	円柱からの展開／手びねり技法	2	2	陶必修
S	陶芸IV-1	面による構成／タタラ技法	1	2	陶必修
S	陶芸IV-2	空間の演出／タタラ技法	2	2	陶必修
TX	陶芸演習III-1	空間を造形する	2	3	陶必修
TX	陶芸演習III-2	不均衡の中のバランス	2	3	陶必修
S	陶芸V-1	発想の展開	2	3	陶必修
S	陶芸V-2	上絵の器	2	3	陶必修
S	陶芸V-4	技法研究／大物ロクロ	1	3	陶必修
S	陶芸V-5	釉薬研究	1	3	陶必修
TX	陶芸演習IV	自己表現の確立 制作構想／ポートフォリオの作成	4	4	陶必修
S	卒業制作(陶芸)		6	4	陶必修

染織コース専門教育科目

履修形態	科目名	サブタイトル	単位数	配当年次	備考
TW	染織演習I-1	植物染料の色を知る／テキスタイルリサーチ	2	1	染必修
TW	染織演習I-2	描写—植物・体の一部を描く／絞り染小作品	2	1	染必修
S	染織I-1	描写の基礎	1	1	染必修
S	染織I-2	藍色絞りの浴衣をデザインする	1	1	染必修
S	染織I-3	藍色絞りの浴衣を染める	1	1	染必修
S	染織II-1	染色実験	1	1	染必修
S	染織II-2	織物の基本を知る	1	1	染必修
S	染織II-3	織物の表現を知る	1	1	染必修
TW	染織演習II-1	幾何形態のステンシル／連続するプリント図案	2	2	染必修
TW	染織演習II-2	緯緋	2	2	染必修
S	染織III-1	色彩を知る	1	2	染必修
S	染織III-2	型染のハンカチと誕生月のカレンダーをデザインする	1	2	染必修
S	染織III-3	型染のハンカチと誕生月のカレンダーを染める	1	2	染必修
S	染織IV-1	緋の基本を知る	1	2	染必修
S	染織IV-2	緋の工程を知る	1	2	染必修
S	染織IV-3	緋の布を織る	1	2	染必修
TW	染織演習III-1	下図を描く／自由作品	2	3	染必修
TW	染織演習III-2	立体小作品／染織産地研究	2	3	染必修
S	染織V-1	蠟染	2	3	染選必(4単位)
S	染織V-2	友禅のふくさを染める	2	3	
S	染織V-3	綴織の壁掛を織る	2	3	
S	染織V-4	絹を知る	2	3	染選必(2単位)
S	染織V-7	フェルトメイキング	1	3	
S	染織V-8	スクリーンプリントの手ぬぐいを染める	1	3	
S	染織V-15	絹を織る	1	3	
TX	染織演習IV	卒業制作計画書／ポートフォリオ	4	4	染必修
S	卒業制作(染織)		6	4	染必修

※卒業制作(染織)全6回のスクーリングです。第3回と第6回は対面受講を推奨します。

写真コース専門教育科目

履修形態	科目名	サブタイトル	単位数	配当年次	備考
TW	写真演習I-1	写真日記／セルフポートレイト	2	1	写必修
TW	写真演習I-2	絞りとシャッター／露出補正	2	1	写必修
S	写真I-1	クリエイティブ	1	1	写必修
S	写真I-2	デジタル基礎	1	1	写必修
S	写真I-3	写真原理／ピンホール	1	1	写必修
S	写真II-1	撮影基礎1	1	1	写必修
S	写真II-2	撮影基礎2	1	1	写必修
S	写真II-3	ライティング基礎	1	1	写必修
TW	写真演習II-1	コラージュ／作品制作 a	2	2	写必修
TW	写真演習II-2	アザースポートレイト／作品制作 b	2	2	写必修
S	写真III-3	写真知見	1	2	写必修
S	写真III-4	スナップ	1	2	写必修
S	写真III-5	フォト・コラージュ	1	2	写必修
S	写真IV-1	デジタルフォト1	1	2	写必修
S	写真IV-2	視る	1	2	写必修
S	写真IV-3	ポートフォリオ	1	2	写必修
TW	写真演習III-1	作品ポートフォリオ1／作品ポートフォリオ2	2	3	写必修
TW	写真演習III-2	スタイル・ライフ／コンストラクティッドフォト	2	3	写必修
S	写真V-2	プレゼンテーション	1	3	写必修
S	写真V-3	ワークショップ・ゼミナール	1	3	写必修
S	写真V-6	デジタルフォト2	1	3	写必修
S	写真V-7	ライティング・アドバンス	1	3	写必修
S	写真V-12	作品批評	1	3	写必修
S	写真V-14	デジタル・プレゼンテーション	1	3	写必修
TX	写真演習IV	事例研究／プレゼンテーション・ポートフォリオ	4	4	写必修
S	卒業制作(写真)		6	4	写必修

書画コース専門教育科目

履修形態	科目名	サブタイトル	単位数	配当年次	備考
TR	書画講義1	書画同源	2	1	書必修
TR	書画講義2	書画論	2	1	書必修
TR	書画講義3	素材と表現	2	1	書必修
TR	書画講義4	余白論	2	1	書必修
TW	書画演習I-1	書法1	2	1	書必修
TW	書画演習I-2	画法1	2	1	書必修
S(遠隔)	書画I-1	篆書法・隸書法	2	1	書必修
S(遠隔)	書画I-2	構図と空間	2	1	書必修
S(遠隔)	書画II-1	行書法・草書法	2	1	書必修
S(遠隔)	書画II-2	素材と表現/紙・墨の特性と筆墨表現	2	1	書必修
TW	書画演習II-1	書法2	2	2	書必修
TW	書画演習II-2	画法2	2	2	書必修
S(遠隔)	書画III-1	楷書法・創作法	2	2	書必修
S(遠隔)	書画III-2	画稿と創作	2	2	書必修
S(遠隔)	書画IV-1	書と絵画	2	2	書必修
S(遠隔)	書画IV-2	古典表現	2	2	書必修
S(遠隔)	書画V-1(書)	書とデザイン	2	3	書選必(4単位)*
S(遠隔)	書画V-2(書)	書と美術	2	3	
S(遠隔)	書画V-3(画)	抽象表現	2	3	
S(遠隔)	書画V-4(画)	水墨表現と現代性	2	3	
S(遠隔)	卒業制作(書)		4	4	書選必(4単位)*
S(遠隔)	卒業制作(画)		4	4	

※「卒業制作(書)」または「卒業制作(画)」いずれかを選択必修。

グラフィックデザインコース専門教育科目 ※2025年度よりオンライン完結のカリキュラムに順次移行予定です。2026年度完成予定。

履修形態	科目名	サブタイトル	単位数	配当年次	備考
S	グラフィックデザイン概論	スターター	1	1	
TW	デザイン基礎1(グラフィックデザイン)	視点の発見・新釈『情報デザイン事典』	2	1	グ必修
TW	デザイン基礎2(グラフィックデザイン)	【自叙伝】～文章表現と記号遊戯～	2	1	グ必修
TW	グラフィックデザイン演習I-1	タイポグラフィ1	2	1	グ必修
TW	グラフィックデザイン演習I-2	ウェブ1	2	1	グ必修
S	グラフィックデザインI-1	タイポグラフィ1	1	1	グ必修
S	グラフィックデザインI-2	タイポグラフィ2	1	1	グ必修
S	グラフィックデザインI-3	ピクトグラム	1	1	グ必修

履修形態	科目名	サブタイトル	単位数	配当年次	備考
S	グラフィックデザインI- 4	ウェブデザイン1	1	1	グ必修
WS	グラフィックデザインII- 1	CG基礎1ーIllustrator	1	1	グ必修
WS	グラフィックデザインII- 2	CG基礎2ーPhotoShop	1	1	グ必修
TW	グラフィックデザイン基礎1	日常の観察	2	2	グ必修
TW	グラフィックデザイン基礎2	物語の図解	2	2	グ必修
TW	グラフィックデザイン演習II- 1	タイポグラフィ2	2	2	グ必修
TW	グラフィックデザイン演習II- 2	ウェブ2	2	2	グ必修
S	グラフィックデザインIII- 1	文字組みとレイアウト	1	2	グ必修
S	グラフィックデザインIII- 2	広告企画とコピー	1	2	グ必修
S	グラフィックデザインIII- 3	モーショングラフィックス	1	2	グ必修
S	グラフィックデザインIII- 4	ウェブデザイン2	1	2	グ必修
S	グラフィックデザインIV- 1	観察発想トレーニング	1	2	グ必修
S	グラフィックデザインIV- 2	映像メディア	1	2	グ必修
TW	グラフィックデザイン演習III- 1	自主テーマ研究	2	3	グ必修
TW	グラフィックデザイン演習III- 2	プランニング・ディレクション	2	3	グ必修
S	グラフィックデザインV- 1	プロモーションデザイン	1	3	グ必修
S	グラフィックデザインV- 2	アドバタイジングデザイン	1	3	グ必修
S	グラフィックデザインV- 3	エディトリアルデザイン	1	3	グ必修
S	グラフィックデザインV- 4	デジタルコンテンツ	1	3	グ必修
S	グラフィックデザインV- 5	情報編集1	1	3	グ必修
S	グラフィックデザインV- 6	情報編集2	1	3	グ必修
TX	グラフィックデザイン演習IV	卒業制作プレゼンテーションブック/ポートフォリオ	4	4	グ必修
S	卒業制作(グラフィックデザイン)		6	4	グ必修

建築デザインコース専門教育科目

履修形態	科目名	サブタイトル	単位数	配当年次	備考
S	環境デザイン概論[建築]	スターター	1	1	
TW	デザイン基礎1(建築)	作図基礎	2	1	建必修
TW	デザイン基礎2(建築)	立体構成と模型	2	1	建必修
TW	環境デザイン演習[建築]I- 1	空間特性と表現	2	1	建必修
TW	環境デザイン演習[建築]I- 2	トレース	2	1	建必修
S	環境デザイン[建築]I- 1	フィールドワーク	1	1	建必修
S	環境デザイン[建築]I- 2	ドローイング	1	1	建必修
S	環境デザイン[建築]I- 3	立体表現	1	1	建必修
S	環境デザイン[建築]II- 1	空間表現1	1	1	建必修
S	環境デザイン[建築]II- 2	平面表現	1	1	建必修
S	環境デザイン[建築]II- 3	空間表現2	1	1	建必修
TW	環境デザイン基礎1(建築)	住宅設計2	2	2	建必修
TW	環境デザイン基礎2(建築)	一般構造	2	2	建必修
TW	環境デザイン演習[建築]II- 1	住宅設計1	2	2	建必修
TW	環境デザイン演習[建築]II- 2	住宅設計3	2	2	建必修
S	環境デザイン[建築]III- 1	寸法1	1	2	建必修
S	環境デザイン[建築]III- 2	環境1	1	2	建必修
S	環境デザイン[建築]III- 3	集住	1	2	建必修
S	環境デザイン[建築]IV- 1	住宅架構	1	2	建必修
S	環境デザイン[建築]IV- 2	表現	1	2	建必修
S	環境デザイン[建築]IV- 3	CAD	1	2	建必修
TW	環境デザイン演習[建築]III- 1	フィールドスタディ	2	3	建必修
TW	環境デザイン演習[建築]III- 2	複合施設	2	3	建必修
S	環境デザイン[建築]V- 1	風景	1	3	建必修
S	環境デザイン[建築]V- 2	環境2	1	3	建必修
S	環境デザイン[建築]V- 3	場のかたち	1	3	建必修
S	環境デザイン[建築]V- 4	風景と構成	1	3	建必修
S	環境デザイン[建築]V- 5	寸法2	1	3	建必修
S	環境デザイン[建築]V- 6	架構	1	3	建必修
TX	環境デザイン演習[建築]IV	卒業制作	4	4	建必修
S	卒業制作(建築デザイン)	ディプロマ	6	4	建必修

ランドスケープデザインコース専門教育科目

履修形態	科目名	サブタイトル	単位数	配当年次	備考
S	環境デザイン概論[ランドスケープデザイン]	スターター	1	1	
TW	デザイン基礎1(ランドスケープデザイン)	設計製図基礎	2	1	ラ必修
TW	デザイン基礎2(ランドスケープデザイン)	植物ファイル制作	2	1	ラ必修
TW	環境デザイン演習[ランドスケープデザイン]I- 1	ランドスケープデザインファイル	2	1	ラ必修
TW	環境デザイン演習[ランドスケープデザイン]I- 2	ランドスケープデザイン表現基礎	2	1	ラ必修

履修形態	科目名	サブタイトル	単位数	配当年次	備考
S	環境デザイン[ランドスケープデザイン]I-1	ランドスケープデザイン総説	1	1	ラ必修
S	環境デザイン[ランドスケープデザイン]I-2	日本庭園 2 管理から日本庭園を学ぶ	1	1	ラ必修
S	環境デザイン[ランドスケープデザイン]I-3	ランドスケープデザインへの視点	1	1	ラ必修
S	環境デザイン[ランドスケープデザイン]II-1	設計1 製図基礎	1	1	ラ必修
S	環境デザイン[ランドスケープデザイン]II-2	設計2 ガーデンデザイン基礎	1	1	ラ必修
S	環境デザイン[ランドスケープデザイン]II-3	模型基礎	1	1	ラ必修
TW	環境デザイン基礎1(ランドスケープデザイン)	日本庭園と意匠	2	2	ラ必修
TW	環境デザイン基礎2(ランドスケープデザイン)	大地の創出	2	2	ラ必修
TW	環境デザイン演習[ランドスケープデザイン]II-1	住宅庭園設計	2	2	ラ必修
TW	環境デザイン演習[ランドスケープデザイン]II-2	街区公園リサーチ	2	2	ラ必修
S	環境デザイン[ランドスケープデザイン]III-1	プレゼンテーション基礎	1	2	ラ必修
S	環境デザイン[ランドスケープデザイン]III-2	美しい大地の創出	1	2	ラ必修
S	環境デザイン[ランドスケープデザイン]III-3	日本庭園 2 作庭から日本庭園を学ぶ	1	2	ラ必修
S	環境デザイン[ランドスケープデザイン]IV-1	設計3 すまいと庭のデザイン	1	2	ラ必修
S	環境デザイン[ランドスケープデザイン]IV-2	都市と地方を結ぶ風景デザイン1	1	2	ラ必修
S	環境デザイン[ランドスケープデザイン]IV-3	設計4 町並み景観とポケットパーク	1	2	ラ必修
TW	環境デザイン演習[ランドスケープデザイン]III-1	都市のランドスケープデザイン	2	3	ラ必修
TW	環境デザイン演習[ランドスケープデザイン]III-2	都市・地方の再生提案	2	3	ラ必修
S	環境デザイン[ランドスケープデザイン]V-1	プレゼンテーション発展	1	3	ラ必修
S	環境デザイン[ランドスケープデザイン]V-2	日本庭園 3 日本庭園からランドスケープデザインを学ぶ	1	3	ラ必修
S	環境デザイン[ランドスケープデザイン]V-3	設計5 都市広場	1	3	ラ必修
S	環境デザイン[ランドスケープデザイン]V-4	設計6 都市公園	1	3	ラ必修
S	環境デザイン[ランドスケープデザイン]V-5	総合的造景	1	3	ラ必修
S	環境デザイン[ランドスケープデザイン]V-6	都市と地方を結ぶ風景デザイン2	1	3	ラ必修
TX	環境デザイン演習[ランドスケープデザイン]IV	卒業制作中間報告/卒業制作最終報告	4	4	ラ必修
S	卒業制作(ランドスケープデザイン)		6	4	ラ必修

空間演出デザインコース専門教育科目

履修形態	科目名	サブタイトル	単位数	配当年次	備考
S	空間演出デザイン概論	スターター	1	1	
TW	デザイン基礎1(空間演出デザイン)	平面での思考 二次元ドリル	2	1	空必修
TW	デザイン基礎2(空間演出デザイン)	空間の観察 空間ファイル	2	1	空必修
TW	空間演出デザイン演習I-1	立体での構想 三次元ドリル	2	1	空必修
TW	空間演出デザイン演習I-2	デザインの観察 デザインファイル	2	1	空必修
S	空間演出デザインI-1	デザインリテラシー	1	1	空必修
S	空間演出デザインI-2	ドラフティング	1	1	空必修
S	空間演出デザインI-3	モデル・メイキング	1	1	空必修
S	空間演出デザインII-1	デジタル表現基礎	1	1	空必修
S	空間演出デザインII-2	造形表現基礎	1	1	空必修
S	空間演出デザインII-3	CAD表現基礎2D	1	1	空必修
TW	空間演出デザイン基礎1	図面と空間表現 空間ドリル	2	2	空必修
TW	空間演出デザイン基礎2	企画構想 ローカルデザイン	2	2	空必修
TW	空間演出デザイン演習II-1	空間構想 すまいのリノベーション	2	2	空必修
TW	空間演出デザイン演習II-2	空間構想 小さなショップ	2	2	空必修
S	空間演出デザインIII-1	空間構想・エスキス	1	2	空必修
S	空間演出デザインIII-2	空間構想・デザインプロセス	1	2	空必修
S	空間演出デザインIII-3	空間構想・実空間の想像と創造	1	2	空必修
S	空間演出デザインIV-1	メディア表現と空間演出	1	2	空必修
S	空間演出デザインIV-2	素材表現とデザイン	1	2	空必修
S	空間演出デザインIV-3	CAD表現基礎3D	1	2	空必修
TW	空間演出デザイン演習III-1	五感の空間デザイン	2	3	空必修
TW	空間演出デザイン演習III-2	おもてなしのデザイン	2	3	空必修
S	空間演出デザインV-1	すまいの空間構想	1	3	空選必(6単位)
S	空間演出デザインV-2	ショップデザイン	1	3	
S	空間演出デザインV-3	ライティングデザイン	1	3	
S	空間演出デザインV-4	エキシビジョンデザイン	1	3	
S	空間演出デザインV-5	デザインマネジメント	1	3	
S	空間演出デザインV-6	空間体験のデザイン	1	3	
S	空間演出デザインV-7	伝統とプロダクトデザイン	1	3	
S	空間演出デザインV-8	コンテポラリー・ジュエリー	1	3	
S	空間演出デザインV-9	コンパクトデザイン	1	3	
S	空間演出デザインV-10	あかりのデザイン	1	3	
TX	空間演出デザイン演習IV	卒業制作研究ノート/ファイナルプレゼンテーション	4	4	空必修
S	卒業制作(空間演出デザイン)		6	4	空必修

イラストレーションコース専門教育科目

履修形態	科目名	サブタイトル	単位数	配当年次	備考
TW	デザイン基礎1(イラストレーション)	美術解剖学	2	1	イ必修
TW	デザイン基礎2(イラストレーション)	レイアウト・構図	2	1	イ必修
TW	イラストレーション演習I-1	メインビジュアル	2	1	イ必修
TW	イラストレーション演習I-2	キャリア論	2	1	イ必修
WS	イラストレーションI-1	デジタル演習AI	1	1	イ必修
WS	イラストレーションI-2	クッキーI(ヌード)	1	1	イ必修
WS	イラストレーションI-3	色彩基礎	1	1	イ必修
WS	イラストレーションII-1	デジタル演習BI	1	1	イ必修
WS	イラストレーションII-2	人物キャラクター基礎I	1	1	イ必修
WS	イラストレーションII-3	イラスト実習I	1	1	イ必修
TW	イラストレーション基礎1	アニメーション	2	2	イ必修
TW	イラストレーション基礎2	書籍イラスト	2	2	イ必修
TW	イラストレーション演習II-1	世界観表現・コンセプトアート	2	2	イ必修
TW	イラストレーション演習II-2	アートディレクション	2	2	イ必修
WS	イラストレーションIII-1	デジタル演習AII	1	2	イ必修
WS	イラストレーションIII-2	クッキーII(着衣)	1	2	イ必修
WS	イラストレーションIII-3	背景画	1	2	イ必修
WS	イラストレーションIV-1	デジタル演習BII	1	2	イ必修
WS	イラストレーションIV-2	人物キャラクター基礎II	1	2	イ必修
WS	イラストレーションIV-3	イラスト実習II	1	2	イ必修
TW	イラストレーション演習III-1	ビジュアルストーリーテリング	2	3	イ必修
TW	イラストレーション演習III-2	ゲームイラスト	2	3	イ必修
WS	イラストレーションV-1	業界知識・情報発信	1	3	イ必修
WS	イラストレーションV-2	デジタル着彩	1	3	イ必修
WS	イラストレーションV-3	デフォルメ表現	1	3	イ必修
WS	イラストレーションV-4	コンテンツプロデュース	1	3	イ必修
WS	イラストレーションV-5	キャラクターデザイン	1	3	イ必修
WS	イラストレーションV-6	イラスト実習III	1	3	イ必修
TX	イラストレーション演習IV	ポートフォリオ	4	4	イ必修
S(遠隔)	卒業制作(イラストレーション)		6	4	イ必修

映像コース専門教育科目

履修形態	科目名	サブタイトル	単位数	配当年次	備考
TR	映像講義1	コンテンツビジネス論	2	1	映必修
TR	映像講義2	映像と向き合う	2	1	映必修
TW	映像基礎1	映像思考概論1	2	1	映必修
TW	映像演習I-1	企画の作り方	2	1	映必修
TW	映像演習I-2	技術を知る(撮影・照明)	2	1	映必修
WS	映像I-1	映像学入門	2	1	映必修
WS	映像I-2	企画の方程式	2	1	映必修
WS	映像II-1	映像制作概論1(ミュージックビデオ・広告)	2	1	映必修
WS	映像II-2	映像制作概論2(エンターテインメント・コメディ)	2	1	映必修
TW	映像基礎2	映像思考概論2	2	2	映必修
TW	映像演習II-1	シナリオライティング演習	2	2	映必修
TW	映像演習II-2	技術を知る(編集・サウンド)	2	2	映必修
WS	映像III-1	シナリオライティング	2	2	映必修
WS	映像IV-1	ドラマ・映画	2	2	映必修
WS	映像IV-2	アニメーション	2	2	映必修
TW	映像演習III-1	アイデアをデザインする	2	3	映必修
TW	映像演習III-2	技術を知る(モーショングラフィックスと応用)	2	3	映必修
WS	映像V-1	社会を変える企画	2	3	映必修
WS	映像V-2	ノンフィクション	2	3	映必修
WS	映像V-3	メディアとアート	2	3	映必修
TX	映像演習IV	プレゼンテーション	4	4	映必修
S(遠隔)	卒業制作(映像)	卒業制作	4	4	映必修

※1: TR=テキストレポート科目 TW=テキスト作品科目 TX=テキスト特別科目 S=スクーリング科目 WS=Webスクーリング科目

※2: 必修=必修科目(必ず単位を修得することが求められる科目)

選択=選択科目(修得するかしないかを自由に選択できる科目。ただし卒業要件で定められた修得すべき単位数を最低限選択することが必要(例えば学部共通専門教育科目から12単位以上を修得すること等))

※3: 総合教育科目、学部共通科目は選択の一例です。

※4: コース専門教育(TW)科目の提出期間は各期に2回ずつあります。

※5: 「卒業制作(映像)」のスクーリングは遠隔での開講となります。

食文化デザインコース専門教育科目

履修形態	科目名	サブタイトル	単位数	配当年次	備考
TW	食文化デザイン基礎 1	おいしさの科学	2	1	食必修
TW	食文化デザイン基礎 2	味覚の科学	2	1	食必修
TW	食文化デザイン演習I- 1	フードデザイン基礎	2	1	食必修
TW	食文化デザイン演習I- 2	食卓の民俗学	2	1	食必修
WS	食文化デザインI- 1	食文化デザイン入門	2	1	食必修
WS	食文化デザインI- 2	食べるということ	2	1	食必修
WS	食文化デザインII- 1	日本の食らしさとは	2	1	食必修
WS	食文化デザインII- 2	世界の食探究	2	1	食必修
TW	食文化デザイン基礎 3	食の鑑賞法	2	2	食必修
TW	食文化デザイン基礎 4	持続可能な食との関係	2	2	食必修
TW	食文化デザイン演習II- 1	フードデザイン実践	2	2	食必修
TW	食文化デザイン演習II- 2	おいしさの食体験デザイン	2	2	食必修
WS	食文化デザインIII- 1	日本の食と知恵	2	2	食必修
WS	食文化デザインIV- 1	食の器と道具	2	2	食必修
WS	食文化デザインIV- 2	食美学	2	2	食必修
TW	食文化デザイン演習III- 1	フードメディア	2	3	食必修
TW	食文化デザイン演習III- 2	食の地域価値共創	2	3	食必修
WS	食文化デザインV- 1	食の未来ビジョン	2	3	食必修
WS	食文化デザインV- 2	フードビジネス構築	2	3	食必修
WS	食文化デザインV- 3	ガストロノミーツーリズム	2	3	食必修
TX	食文化デザイン演習IV	プレゼンテーション	4	4	食必修
S(遠隔)	卒業制作(食文化デザイン)		4	4	食必修

学部共通専門教育科目

履修形態	科目名	単位数	配当年次	備考
TR	美学概論	2	1	ア必修
TR	写真論 1	2	1	
TR	写真論 2	2	1	
TR	芸術理論 1	2	1	ア必修
TR	芸術理論 2	2	1	ア必修
TX	知的財産権研究	2	1	ア必修、文必修
WS	芸術史講義(日本) 1	2	1	ア選必
WS	芸術史講義(日本) 2	2	1	ア選必
WS	芸術史講義(日本) 3	2	1	ア選必、文必修
WS	芸術史講義(日本) 4	2	1	ア選必、文必修
WS	芸術史講義(アジア) 1	2	1	ア選必
WS	芸術史講義(アジア) 2	2	1	ア選必
WS	芸術史講義(アジア) 3	2	1	ア選必、文必修
WS	芸術史講義(アジア) 4	2	1	ア選必、文必修
WS	芸術史講義(ヨーロッパ) 1	2	1	ア選必
WS	芸術史講義(ヨーロッパ) 2	2	1	ア選必
WS	芸術史講義(ヨーロッパ) 3	2	1	ア選必、文必修
WS	芸術史講義(ヨーロッパ) 4	2	1	ア選必、文必修
WS	芸術史講義(近現代) 1	2	1	ア選必
WS	芸術史講義(近現代) 2	2	1	ア選必
WS	芸術史講義(近現代) 3	2	1	ア選必、文必修
WS	芸術史講義(近現代) 4	2	1	ア選必、文必修
TX	地域芸術実践 1	2	1	
TX	地域芸術実践 2	2	1	
GS	学芸専門講義 1~ 10 ^{*1}	各1	1	
GS	学芸専門演習 1~ 10 ^{*1}	各1	1	
TW	コラージュ・デッサン	2	1	
TW	立体造形演習 1	2	1	
TW	立体造形演習 2	2	1	
TW	色彩表現基礎	2	1	
TW	形態表現基礎	2	1	
TR	都市概論	2	1	建必修、手のひら芸大不可
TR	住宅概論	2	1	建必修、手のひら芸大不可
TR	建築史 1(近代)	2	1	建必修、手のひら芸大不可
TR	建築史 2(西洋)	2	1	建選必(2単位) ^{*2} 、手のひら芸大不可
TR	建築史 3(日本)	2	1	建選必(2単位) ^{*2} 、手のひら芸大不可
TR	建築環境工学	2	1	建必修、手のひら芸大不可

履修形態	科目名	単位数	配当年次	備考
TR	建築設備	2	1	建必修、手のひら芸大不可
TR	建築材料	2	1	建必修、手のひら芸大不可
TR	建築生産	2	1	建必修、手のひら芸大不可
TR	建築法規	2	1	建必修、手のひら芸大不可
TR	構造力学1	2	1	建必修、手のひら芸大不可
TR	構造力学2	2	1	建必修、手のひら芸大不可
TR	造園史1(日本)	2	1	ラ必修、手のひら芸大不可
TR	造園史2(西洋)	2	1	ラ必修、手のひら芸大不可
TR	環境の保全と計画1	2	1	ラ必修、手のひら芸大不可
TR	環境の保全と計画2	2	1	ラ必修、手のひら芸大不可
TR	ランドスケープデザイン原論1	2	1	ラ必修、手のひら芸大不可
TR	ランドスケープデザイン原論2	2	1	ラ必修、手のひら芸大不可
TR	マーケティング概論	2	1	空必修、手のひら芸大不可
TR	ブランディングデザイン論	2	1	空必修、手のひら芸大不可
TR	インテリア計画論1	2	1	空必修、手のひら芸大不可
TR	インテリア計画論2	2	1	空必修、手のひら芸大不可
TR	空間構成材料	2	1	空必修、手のひら芸大不可
TR	生活空間デザイン史	2	1	空必修、手のひら芸大不可
S	芸術教養基礎	1	1	
S	著作権を学ぶ	1	1	
S	美学と芸術学への大きな階段	1	1	

※手のひら芸大コースにおいて、一部履修できない科目があります(手のひら芸大不可)。

※1:「学芸専門講義1~10」「学芸専門演習1~10」は藝術学舎の単位連携科目です。

※2:「建築史2(西洋)」、「建築史3(日本)」いずれかを選択必修。

※開講科目は予定です。入学後に改めてご確認ください。

総合教育科目

履修形態	科目名	単位数	配当年次	備考
TR	ことばと表現	1	1	
TR	論述基礎	2	1	
TR	情報	2	1	建必修
TR	外国語1	2	1	
TR	古典日本語	2	1	
TR	音楽	2	1	
TR	日本の憲法	2	1	
TR	地域環境論	2	1	
TR	都市デザイン論	2	1	
TR	詩学への案内	2	1	
TR	哲学への案内	2	1	
TR	学際的な知への案内	2	1	
TR	心理学	2	1	
TR	政治学	2	1	
TR	経済学	2	1	
TR	社会学	2	1	
TR	宗教学	2	1	
TR	日本史	2	1	
TR	アジア史	2	1	
TR	西洋史	2	1	
TR	生態学	2	1	
TR	列島考古学	2	1	
TR	文化研究1	2	1	
TR	文化研究2	2	1	
TR	文化研究3	2	1	
TR	色彩と形	2	1	
TR	地域を探る	2	1	
TR	京都を学ぶ	2	1	
TR	日本文化論	2	1	
TX	地域環境学演習	2	1	
TX	地域文化学演習	2	1	
TW	デッサン	2	1	
GS	学芸基礎講義1~10 [※]	各1	1	
GS	学芸基礎演習1~10 [※]	各1	1	

履修形態	科目名	単位数	配当年次	備考
S	英語1A	1	1	
S	体育実技	1	1	
S	メディア論への階段	1	1	
S	哲学への階段	1	1	
S	考古学への階段	1	1	
S	民俗学への階段	1	1	
S	自然学への階段	1	1	
S	都市環境への階段	1	1	
S	文学研究への階段	1	1	
S	映画研究への階段	1	1	
S	日本史への階段	1	1	
S	社会学への階段	1	1	
S	オンライン授業入門	1	1	
S	人間科学への階段	1	1	
S	はじめての共通科目	1	1	
S	身体と表現	1	1	
S	数と世界	1	1	
S	名著を読む	1	1	
S	入門デッサン1	1	1	
S	入門デッサン2	1	1	
S	入門デッサン3	1	1	
S	入門デッサン4	1	1	
S	入門デッサン5	1	1	
S	基礎デッサン1	1	2	
S	基礎デッサン2	1	2	
S	基礎デッサン3	1	2	
S	基礎デッサン4	1	2	
S	基礎デッサン5	1	2	
S	基礎デッサン6	1	2	
S	伝統芸術基礎(伝統芸能)	1	1	
S	伝統芸術基礎(茶の湯)	1	1	
S	伝統芸術基礎(煎茶)	1	1	
S	伝統芸術基礎(落語)	1	1	

※「学芸基礎講義1~10」「学芸基礎演習1~10」は藝術学舎の単位連携科目です。

※開講科目は予定です。入学後に改めてご確認ください。

二級建築士試験受験資格及び免許登録資格取得のために単位修得が必要な科目(空間演出デザインコースのみ対象)

空間演出デザインコースに所属する学生が、コース専門演習科目以外に二級建築士試験受験資格及び免許登録資格取得のために、卒業要件以外に卒業までに単位修得が必要な科目は下表の通りです。

科目区分	本学開講授業科目名	履修形態	単位数	受験資格と免許登録資格をともに取得するための必修区分	受験資格のみを取得するための必修区分*
学部共通専門教育科目	構造力学1	TR	2	必修	いずれか選択必修
	構造力学2	TR	2		
	建築法規	TR	2		
	建築生産	TR	2	いずれか選択必修	必修
	建築環境工学	TR	2		
	建築設備	TR	2		
必修単位数合計				10単位	6単位以上

*受験資格のみ取得の場合、免許登録するには1年間の実務経験が必要です。

- 卒業要件の必修科目以外の科目の履修は、テキスト代金が別途必要となります(2023年度実績：14,740円[本体価格])。
- 建築デザインコースは卒業要件を満たすことで、二級建築士試験受験資格および免許登録資格(実務経験0年)、一級建築士試験受験資格(実務経験0年、免許登録時の要件として実務経験2年が必要)を得ることができます。

入学後の単位認定手続・学籍異動

入学前の藝術学舎・アトリエ講座に対する単位認定

大学入学資格を持つ方が、本学入学前に藝術学舎の講座を受講し合格した単位や2016年度以前の本学通信教育部の科目等履修(アトリエ)で修得した単位は、入学後に単位認定の申請ができます(一部の講座を除く)。単位認定を希望する方は、入学後に所定の手続きをしてください。

※科目等履修(博物館学芸員課程と芸術教育士課程)は単位認定の対象となりません。
 ※藝術学舎で修得した単位の単位認定申請の有効期限は受講年度を含む6年度以内です。

コース変更

学習の目的や志向が変わった場合は、2年目以降にコース変更を認めています。在籍年限内に1回のみ、年度途中の異動はできません。変更料は20,000円(2023年度実績)です。変更後は新しく在籍するコースの卒業要件(必修科目)を改めて修得する必要があります。また、必要となる教材やテキストは新たに購入する必要があります。なお、芸術教養学科の後期(10月)入学の方は学習期間が異なるためコース変更はできません。

休学

休学は、入学2年目以降で在籍年限内に通算4年間まで認められます。休学期間は修業年限には含みませんが、在籍年限には含みます。休学期間中は授業料は不要です。休学料は1年間20,000円(2023年度実績)です。また、休学は年度単位(4月1日～翌年3月31日*)で、年度途中で休学や復学(休学後の学習再開)はできません。

*芸術教養学科の後期(10月)入学は、10月1日～翌年9月30日

本学通学部への転籍

転籍の出願資格を満たしたうえで試験に合格すれば、本学通学部へ異動できます。なお、通学部は4月入学のため、芸術教養学科の後期(10月)入学の方は転籍できません。

奨学金・ 助成金等制度・ 学費ローン

奨学金・ローン等
について
説明しています



奨学金・助成金等制度

入学後に申請できる奨学金制度があります。ただし、毎月決められた金額の奨学金が貸与される奨学金制度はありません。申請手続きは入学後のため、出願時は入学手続きの全額を支払い、後日還付を受けていただきます。申請方法はすべて入学後にお知らせします。入学後に学習用Webサイト「airUマイページ」のお知らせ、Web上の「airU学習ガイド」で確認してください。

※科目等履修生(博物館学芸員課程)は教育訓練給付制度以外は対象外です。

日本学生支援機構通信教育課程奨学金(貸与型奨学金)

芸術学科
デザイン科
美術科

夏期または冬期スクーリング期間中のスクーリング受講を前提として、年1回、在籍中に1年次入学の場合4回、3年次編入学の場合2回まで申請が可能です。成績や所得をもとに審査を行います。

奨学金種類	貸与額(金額は2023年度実績)
第一種奨学金(無利子貸与)	年額 88,000円
第二種奨学金(有利子貸与)	20,000円から120,000円までの1万円単位の金額から選択 ※年利上限3%

- ・毎月貸与されるのではなく、年1回一時金として貸与される制度です。入学後に還付を受けるため、出願時には入学手続き全額をお支払いいただく必要があります。
- ・芸術教養学科はスクーリング科目の受講がないため対象外ですが、博物館学芸員課程を登録する方(「博物館実習」を夏期または冬期スクーリング期間中に受講する場合のみ)は申請が可能ですので、入学手続き前にお問い合わせください。
- ・入学前に他大学で受けた貸与型奨学金を継続して受けることはできません。改めて申請する場合も、日本学生支援機構奨学金を借りたことのある方は貸与期間短縮や申請不可となることがあります。
- ・通信教育部在学中は入学前に貸与を受けた日本学生支援機構奨学金の返還猶予ができます(在学猶予)。希望者は入学後に手続きをしてください。

高等教育の修学支援新制度(給付型奨学金/授業料減免/入学金減免)

全コース

学業、人物ともに優れ、かつ、健康であって、経済的理由により学費の支弁が困難と認められる者に適用される制度です。本学は、「大学等における修学の支援に関する法律」による高等教育の修学支援新制度の対象機関に選定されています。

給付型奨学金の採用者となった場合、奨学金の給付に加え、授業料等の減免が適用されます。

1.給付型奨学金	年1回支給	最大51,000円
2.授業料減免/入学金減免	年1回還付、入学金減免は採用年度納付者のみ	最大130,000円 / 30,000円

※世帯の所得基準により区分Ⅰ・Ⅱ・Ⅲと判定され、それぞれ支給額が上記の3/3、2/3、1/3となります。

※区分は10月に見直され、区分変更により減免額が変更となる場合があります。

※減免費の還付は10月頃の予定です。入学時は入学手続きの全額をお支払いいただきます。

予約採用と在学採用

高校在籍時に申請し受給が決定している「予約採用」と、大学に進学してから申請する「在学採用」があります。各手続きの詳細は、4月1日に学習用Webサイト「airUマイページ」のお知らせ欄でご案内します^{*}。必ずご確認ください。

※後期入学生は10月1日です。

予約採用	高校在籍時に給付奨学金受給申請を行い、候補者決定通知を受け取っている方 ※入学後に自身で必要手続きを行わないと奨学生に認定されません
在学採用	大学入学後に奨学金を申請する方

※予約採用は給付型奨学金のみが対象です。通信教育課程の場合、貸与型奨学金は対象外です。

認定要件

下記の要件をすべて満たす必要があります。詳細は下記のサイトからご確認ください。

1.収入基準・資産基準：住民税非課税世帯の学生、及びそれに準ずる世帯の学生であること

2.学業成績基準：高校評定平均値3.5以上、GPA等が上位2分の1の範囲、等

3.国籍・在留資格：日本国籍を有する者、等

4.大学進学までの期間：高校卒業から本学入学までの期間が3年未満の者、等

※他大学を退学し入学される方で、現在給付型奨学金を受給している方は、継続採用となる場合がありますので、入学後に通信学務課へお問合せください。

※他大学を卒業した後に学士入学や学士編入学をされた場合は、要件上申請できません。

※科目等履修生、大学院生は申請できません。

詳しくは、以下をご参照ください。

・文部科学省Webサイト (https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/hutankeigen/)

・日本学生支援機構Webサイト (<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/kyufu/shikaku/zaigaku.html>)

・進学資金シミュレーター (<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/oyakudachi/shogakukin-simulator.html>)

京都芸術大学通信教育課程 学習支援奨学金

芸術学科
デザイン科
美術科

同一コースにおける学習が通算5年目以上となる場合（休学期間を除く）、授業料の20%を奨学金として減免します。

京都芸術大学通信教育課程 学生創作研究助成金

全コース

地域社会における芸術文化の活性化をめざす学生（グループも可）の創作、研究およびその成果発表、普及活動に対し、選考のうえ200,000円（2023年度実績）を上限に支援します。

※販売や営利目的として行う活動、所属する企業や団体の活動の直接延長にある企画や、評価を伴う科目に直接関連する活動は対象外です。

勤労学生の所得控除

全コース

納税者が所得税法上の「勤労学生」に当てはまる場合に受けられる所得控除です。独立した生計者で、給与所得が年間130万円以下であること等が条件です。詳細は所轄の税務署にお問い合わせください。

学割

全コース

美術館・映画館等の料金が学割対象となる場合があります。その都度各自で確認してください。

また、スクーリング等に出席する際、JRの学生割引を利用できます（運賃2割引、片道101km以上）。JRの学割は入学式や新入生ガイダンスも発行対象ですが、1週間前までに大学へ発行申請し、返送された学割証と学生証をJR等に提出し、乗車券を購入する必要があります。発行申請のためには学生証がお手元に届いている必要があります。出願時期によっては申請できないことがありますのでご了承ください。

教育訓練給付制度

科目等履修生のみ

厚生労働省が実施している雇用対策事業の一つです。本学通信教育部では、「科目等履修生（博物館学芸員課程）」が指定講座です。詳細は91ページ参照。

※学部生（=学科・コース在籍者）が履修する「博物館学芸員課程（資格課程）」は適用外です。

学費ローン

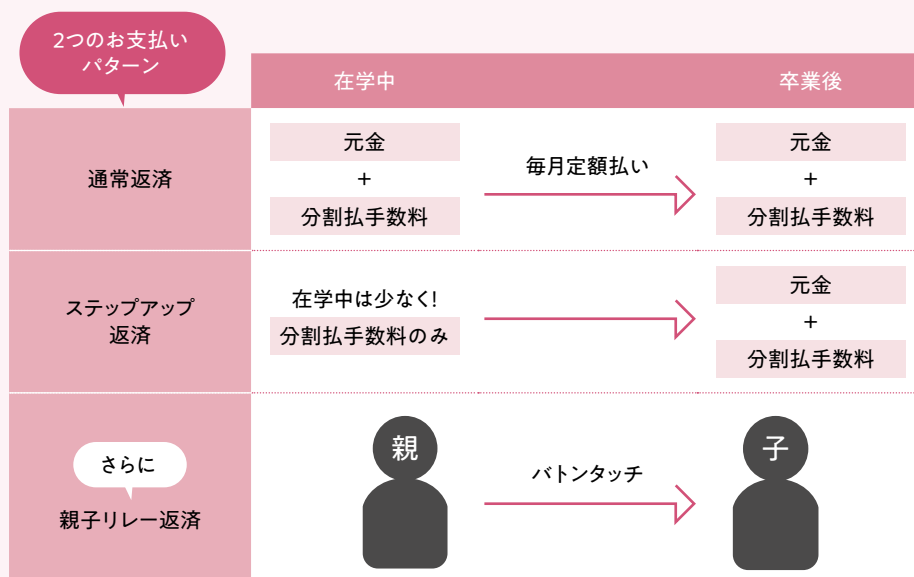
本学通信教育課程では、オリココーポレーション(以下オリコ)と提携した「学費サポートプラン」をご利用いただけます。

ポイント

- 出願手続き前にオリコへ申込みください(ローン審査結果を受けた後に本学の出願手続きへお進みください)。
- 入学選考料以外の入学手続き金をローン利用できます。
- ローン契約は1年ごとです(2年目以降は学籍更新時に手続き)。

概要

分割手数料	3.0% (実質年率・固定) 《2023年11月現在》
返済プラン	通常返済、ステップアップ返済、親子リレー返済
毎月の返済金額	6,000円～ (ご利用金額に応じて選択)
連帯保証人	原則不要
申込方法	・Web申込 ・電話で申込書を依頼し、提出 (☎ 0120-517-325)



商品概要の詳細は下記オリコのWebサイト「学費サポートプラン」をご確認ください。

オリコお問い合わせ先・申込先

● オリコ学費ローンのWeb申込

本学通信教育部のWebサイトからアクセス[URL] <https://www.kyoto-art.ac.jp/t/admission/>
通信教育部Webサイト>入学のしかた・学費>ローン(Oricoのロゴをクリック)

※出願期間中は出願画面「出願前の注意事項」からもアクセスできます。

※必ず本学Webサイトまたは出願画面「出願前の注意事項」からアクセスしてください。検索サイト等の別画面から申込を行うと正しく手続きできない場合があります。



● オリコ学費ローンの郵送申込

オリコ学費サポートデスクに電話の上、申込書をご請求ください。

☎ 0120-517-325 受付時間 9:30～17:30 (土日祝休)

E-mail : gakuhi-desk@p.onet.orico.co.jp

ローン対象内容

入学選考料を除く入学手続き金の総額がローン対象です。資格課程（博物館学芸員課程）の受講登録をする方は登録料を加えた総額を申し込んでください。入学手続き金の一部のみをローンで支払うことはできません。

入学手続き金(全員)		該当者のみ	
芸術教養学科	200,000円	博物館学芸員課程 受講登録料 (芸術教養学科)	+250,000円
芸術学・歴史遺産・和の伝統文化コース	261,140円	博物館学芸員課程 受講登録料 (芸術学科・美術科・デザイン科)	+160,000円
日本画・洋画・陶芸・染織・写真・ グラフィックデザイン・建築デザイン・ ランドスケープデザイン・空間演出デザインコース	353,140円	入学金免除 (芸術教養学科 25ページ該当者)	- 80,000円
文芸・アトライティング・書画・ イラストレーション・映像・食文化デザインコース	378,140円	入学金免除 (芸術学科・美術科・デザイン科 25ページ該当者)	- 30,000円

ローン対象外の入学選考料20,000円は出願手続「学費の支払い」画面で支払方法を選択のうえお支払いください。

ローン契約から出願手続まで

オリコの学費サポートプランを申し込み、ローン受付番号(16桁)を取得

申し込み受付開始日：

前期(4月)入学：2024年1月15日(月)

後期(10月)入学：2024年8月22日(木)

科目等履修生：2024年1月15日(月)

オリコ申し込み画面での入力内容：

入力欄	前期(4月)入学	後期(10月)入学	科目等履修生
学納金の納付期日	2024年4月5日(金)	2024年10月5日(土)	2024年2月16日(金)
在学区分	新入生		
学籍(受験)番号	2024		

オリコからの審査結果通知メールを確認

記入済みの「学費ローン利用届」を準備し、オリコからの確認(電話・メール)を受ける

契約内容確認のための電話またはメールがありますので、「ローン対象金額」欄を記入した「学費ローン利用届」をお手元に準備してください。メール確認の場合は必ず内容承諾の操作をしてください。

電話またはメールでの内容確認を経てローン手続が完了となります。

なお、この際オリコが案内する「納付書等」とは本学の「学費ローン利用届」のことです。

※「学費ローン利用届」は65ページ参照。

オリコとのローン手続完了

受付完了メールにある16桁の受付番号がローン受付番号です。

本学の出願手続

出願手続「学費の支払い」画面で「ローンのご利用」を選択し、ローン受付番号を入力。

ローン利用届

書式「学費ローン利用届【本人控】」

学費ローン利用届

【本人控】

オリコの案内する「納付書等」と同じ扱いです。

本利用届は、学費ローンを申込された方がオリコからの確認（電話・メール）を受ける際に必要です。

あらかじめ以下すべてを記入しておき、確認（電話・メール）を受けてください。

(62 ページ参照)

氏名

ローン受付番号

入学年度
※いずれかに○

2024年度 前期

2024年度 後期
(芸術教養学科のみ)

出願先

※コース名を記入または課程名に○

通信教育部芸術学部

コース

博物館学芸員課程

ローン対象金額
(授業料等)

円

ローン申込に関する注意点

入学選考料

入学選考料はローン対象外です。学費ローンを申し込む方も入学選考料20,000円は、出願手続「学費の支払い」画面で支払い方法を選択し、お支払いください。なお本学卒業(見込)者等、入学選考料が免除となる方はお支払い不要です。

77ページ「入学手続金の一部免除の手続方法」、98ページ「本学園卒業・修了生(卒業・修了見込含む)の登録料免除の手続方法」参照

博物館学芸員課程受講登録料

3年次編入学で、出願と同時に博物館学芸員課程の受講登録を行う場合、入学金・授業料・学生教育研究災害傷害保険料と博物館学芸員課程受講登録料の合計金額が、学費ローンの対象です。

※博物館学芸員課程受講登録料のみを、ローンではなく一括支払することはできません。

入学(受講)選考の結果「入学(受講)不許可」の場合

選考の結果、「入学(受講)不許可」となった場合や、編入学選考の結果、3年次編入学での入学がかなわず入学を辞退する場合は、ローン契約は不成立となります。

ローン契約成立後の入学辞退や退学

学費ローンは、オリコが本人に代わり、大学に一括で年間の学費を支払う仕組みですので、入学(受講)許可前に入学(受講)辞退をされた場合を除き、ローンの解約はできません。年度途中で退学した場合でもローンの解約はできず返済義務は残ります。

77ページ「入学辞退」、98ページ「受講辞退」参照

2年目以降のローン契約

ローンは自動更新ではありません。2年目の学費についてローンを利用される場合、次年度学籍更新手続時にローン申込が必要です。

ローン申請金額に誤りがあった場合

ローン申請金額に誤りがあった場合は、オリコへ連絡してください。審査が通っていても、再度申請し審査を通過する必要があることがありますのでご注意ください。

【よくある間違い】

・入学選考料2万円が含まれている。

(例)芸術教養学科出願 誤 220,000円 → 正 200,000円

・保険料140円が含まれていない

(例)日本画コース出願 誤 353,000円 → 正 353,140円

出願手続

- 出願方法
- 提出書類
- 入学選考料／入学金免除について
- 学生証・教材等の送付時期
- 出願に関する諸注意



出願の方法を
まとめています!

出願手続

出願準備

- 提出書類、顔写真データの準備
- 金融機関口座の開設
- ローン契約(希望者のみ)

Web出願手続

期間：2024年1月15日(月)～**3月30日(土) 17:00**



Web出願登録はこちらから

Step1～5 Web出願サイトへの入力完了 ▶くわしくは69ページ

Step6～7 口座振替登録と入学手続き金支払い

	全学科コース(芸術教養学科以外)	芸術教養学科
口座振替登録	入学後に必要な費用を引き落とす口座の登録	
入学手続き金の支払方法	クレジットカード、ネットバンキング、コンビニ、郵便振込、ローン	クレジットカード、ネットバンキング、コンビニ、ローン

※上記Step1～7までの手続きは3/30(土)17:00が最終バ切です。それ以降はお手続きできませんのでご注意ください。

出願者の手続

提出書類の送付

期間：2024年1月15日(月)～**4月5日(金)**[消印有効]

証明書などの提出 ▶くわしくは70～73ページ

※出願登録完了後、出願書類の本学到着をもって出願手続完了となります。ご注意ください。
また出願登録を期限内にされていない方は出願手続未完了(未出願)となりますのでご注意ください。

しめきりに
気をつけてね



書類到着をもって出願完了

※書類の到着確認の問い合わせには応じられませんので、必ずご自身で追跡ができる方法で郵送してください。

入学許可メール通知

※書類到着後、審査を実施。
※入学許可メール後、学生証などを約10日で発送します。

まずは
入学許可メールを
待ってください

大学側の手続

学習開始

4/1以降スタート

10月入学の場合は10/1。

※出願手続完了時期によって学習スタート時期が異なります。
最短の4/1(10月入学の場合は10/1)より学習スタートする場合は2月中に出願手続をしてください。

出願方法

Web出願登録の後、提出書類を送付。本学到着をもって出願完了です。

志願者本人が正しく出願画面での入力や出願書類への記入をしてください。

記載事項が事実と異なることが判明した場合、処分の対象となることがあります。

Web出願手続のフロー



※Step1 個人情報の入力時に顔写真データのアップロードが必要です。

顔写真データ

学生証および学籍原簿に使用します。

5MB以下の証明写真画像ファイル 縦354px × 横295px推奨 (タテ4cm×ヨコ3cm推奨)

※上半身脱帽、正面、背景なしで3ヶ月以内の撮影であるもの。



Webによる口座振替登録の注意点

本学では入学後に発生するスクーリング受講料等は予め指定いただく金融機関口座からの自動引落としており、口座振替登録をSMBCのWebによる口座振替登録サービスを利用し行っています。口座振替登録手続をする前に以下をご確認ください。

[注意] 入学手続金は引き落としではありません。口座振替登録後、別途支払い手続を行なっていただく必要があります。

預金口座の名義

預金口座は原則志願者本人または学費支弁者名義に限ります。(会社名義は不可とします。)

登録時に必要な条件

以下が登録時の必要条件となることがあります。条件は金融機関によって異なりますので、金融機関窓口にお問い合わせください。

- 当該金融機関のキャッシュカードを持っていること
- 当該金融機関のネットバンキングを契約していること
- Web手続き画面での預金残高の入力
- Web手続き画面での各種暗証番号の入力

※各種暗証番号や預金残高はご利用の金融機関が求めるものであり、大学に情報が開示されることはありません。不明な点がある場合は、ご利用の金融機関にお問い合わせください。

海外在住で日本国内の口座をお持ちでない場合

下記の願書受付係にメールでご連絡ください。

Web手続き時にエラーとなる場合

SMBCのWebによる口座振替登録サービスにて使用できない漢字が氏名に含まれていると思われます。志願者ご自身では修正できませんので、下記の願書受付係にメールでご連絡ください。氏名の漢字を代替文字に変更いたします。

例) ×高 → ○高 ×崎 → ○崎

■ 願書受付に関するお問い合わせ

通信教育部芸術学部願書受付係 e-mail : question@air-u.kyoto-art.ac.jp

提出書類

全員必須	A.入学資格証明書 71ページ
該当者のみ	B.編入学基礎資格証明書* 72ページ C.戸籍抄本等(現在の氏名(戸籍上の氏名)が証明書に記載されている氏名と異なる場合) 72ページ D.パスポートのコピーと在留資格証明書(外国籍の方) 72ページ E.振替払込請求書兼受領証のコピー(郵便振込をした方) 72ページ F.預金口座振替依頼書* 73ページ

提出先

〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116 京都芸術大学通信教育部芸術学部願書受付係
窓口受付期間：月～土／9：00～17：00 ※日祝休

お問い合わせ先

出願前 ☎ 0120-20-9141 E-mail : tsushin@office.kyoto-art.ac.jp (通信教育課程入学課)
月～土／10：00～16：00 ※日祝休
(2023年12月1日～2024年1月13日は平日のみ(土日祝休))

出願後 Tel : 075-791-9988 E-mail : question@air-u.kyoto-art.ac.jp (通信教育部芸術学部願書受付係)
開設期間：前期(4月)入学：2024年1月15日(月)～4月27日(土)
後期(10月)入学(芸術教養学科のみ)：2024年8月22日(木)～10月31日(木)
月～土／10：00～16：00 ※日祝休

提出用封筒

提出用封筒を資料請求された方へお送りしています。**出願専用の提出用封筒(青色の定形サイズ封筒)**を使い、**簡易書留速達**で郵送または窓口を持参してください。また、封筒裏面の必要項目(氏名、住所、出願コース等)を必ずご記入ください。

出願専用封筒がお手元がない場合は任意の封筒を使用いただいても構いません。必ず上記提出先を正しくご記入のうえ、**簡易書留速達**で郵送または窓口を持参してください。また、封筒裏面に
出願番号、入学年度(芸術教養学科の場合は前期入学または後期入学の別)、1年次入学または3年次編入学の別、出願学科・コース名、氏名(フリガナ)、住所、電話番号を必ずご記入ください。

※書類の到着確認の問い合わせは受け付けできませんので、必ずご自身で追跡ができる方法で郵送してください。

A. 入学資格証明書【必須(全員)】

入学資格を確認のうえ、**原則発行6ヶ月以内の証明書の正本（コピー不可、厳封は不要）**を提出してください（特別な事情がある場合は申し出てください）。

入学形態	入学資格	必要な証明書(すべて提出)	備考
1年次入学	高等学校・中等教育学校	●卒業証明書	●卒業見込の場合、調査書で可ですが、卒業確定後に卒業証明書を提出してください。
	大学入学資格が付与される専修学校高等課程	●修了証明書	●卒業・修了見込で出願の場合、卒業・修了見込証明書で可ですが、卒業・修了確定後に確定した証明書を提出してください。 ^{※4}
	高等専門学校3年次修了	●3年次修了の証明書	●看護学校等で、その教育機関の卒業証明書では「高等学校卒業」が確認できない場合は、高等学校の卒業証明書を提出してください。
	大学・短期大学退学	●在籍期間証明書(または退学証明書)	●退学見込で出願の場合、退学日の明記された退学見込証明書で可ですが、退学確定後に在籍期間証明書(または退学証明書)を提出してください。 ^{※4,5}
	海外において学校教育における12年の課程を修了	●成績証明書 ●修了証明書 ●国際バカロレア資格証明書のコピー ●国際バカロレア最終試験6科目の成績評価書	●日本語または英文に限ります。それ以外の場合、①翻訳文、②大使館等公的機関で、翻訳が正しいことの証明を受けた書類(公正証書)、の両方を添付してください。 <small>※別途資料の提出を求める場合があります。 ※審査に時間を要する場合があります。</small>
	高等学校卒業程度認定試験(旧大学入学資格検定)	●合格証明書	●合格見込で出願の場合、合格見込証明書で可ですが、合格後に合格証明書を提出してください。
	大学編入学要件を満たさない、専修学校専門課程(専門学校)・高等学校の専攻科	●高等学校の卒業証明書	●看護学校等で、その教育機関の卒業証明書では「高等学校卒業」が確認できない場合は、高等学校の卒業証明書を提出してください。
3年次編入学	大学・短期大学・高等専門学校	●成績証明書 ^{※2} ●卒業証明書	●成績証明書に入学年月、卒業・修了年月の記載があれば、卒業・修了証明書は不要です。 ●大学院修了は出願資格とはなりません。大学(学部)の成績証明書と卒業証明書を提出してください。
	大学編入学要件を満たす、専修学校専門課程(専門学校)・高等学校の専攻科	●成績証明書 ^{※2} ●修了証明書 ●編入学基礎資格証明書 ^{※3} (出願書類H)	●卒業・修了見込で出願の場合、単位修得見込証明書と卒業・修了見込証明書で可ですが、卒業・修了確定後に確定した証明書を提出してください。 ^{※4}
	大学退学(短期大学退学は不可)	●成績証明書 ^{※1,2} ●在籍期間証明書(または退学証明書)	●成績証明書に入学年月、退学年月の記載があれば、在籍期間証明書(または退学証明書)は不要です。 ●退学見込で出願の場合、単位修得見込証明書と退学日の明記された退学見込証明書で可ですが、退学確定後に成績証明書と在籍期間証明書(または退学証明書)を提出してください。 ^{※4,5}
	海外において学校教育における14年の課程を修了	●成績証明書 ^{※2} ●学位が確認できる証明書(卒業証明書または学位取得証明書)	●日本語または英文に限ります。それ以外の場合、①翻訳文、②大使館等公的機関で、翻訳が正しいことの証明を受けた書類(公正証書)、の両方を添付してください。 <small>※別途資料の提出を求める場合があります。 ※審査に時間を要する場合があります。</small>
	各省庁設置の大学校卒業で、大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与	●出身大学校の成績証明書 ^{※2} ●出身大学校の卒業証明書 ●学位授与証明書	●学位授与見込で出願の場合、学位授与申請受理証明書で可ですが、授与後に学位授与証明書を提出してください。

※1: 通信制大学退学の場合、修得科目の区分(テキスト科目かスクーリング科目か)と単位数が記載された資料を添付してください(成績証明書に記載されている場合は不要)。

※2: 3年次編入学での出願には成績証明書の提出が必須です。

※3: 編入学基礎資格証明書の大学入学資格記入欄の記述内容に不備・不足または不明にチェックがあった場合は別途入学資格証明書の提出を求めます。

※4: 出願時に卒業・修了見込で出願された方、または退学見込で出願した方は、卒業・修了・退学が確定次第、上記「必要な証明書(すべて提出)」に記載されている証明書を提出してください。(締切日: 2024年4月5日(金)【必着】、芸術教養学科後期(10月)入学者2024年10月5日(土)【必着】)

※5: 退学見込で出願の方で、出願時に「退学日の入った退学見込み証明書」が提出できない場合は、「在学証明書」と「退学許可証や退学願等、大学とのやりとりがわかる書類のコピー」も併せて出願時に提出ください。

※ 証明書は正本であること(コピー不可)。厳封は不要です。卒業証書や合格証書、またそれらのコピーも不可です。

※ 入学資格証明書発行元が閉校している場合は、運営していた法人または証明書の発行を引き継いでいる機関(各都道府県の私学振興課等、企業、合併先学校法人等)にお問い合わせください。なお、証明書(専門学校の場合は、編入学基礎資格証明書含む)が発行できない場合は、理由の如何にかかわらず入学資格がないものとみなします。

※ 卒業・修了後の経過年数により証明書が発行されない場合は、発行不可証明書(理由書)を提出してください。文面は任意です。

※ 選考の際に上記以外の証明書の提出を求める場合があります。

※ 見込証明書で入学許可が出て、入学資格証明書が期日までに提出されなかった場合は、入学日に遡って入学許可を取り消すことになりますので、ご注意ください。その場合、入学手続金の返金はできません。

出願書類について

証明書等の準備には時間がかかることが予想されますので、余裕を持って準備をしてください。

※PDF形式を含む電子版証明書のコピーを提出する場合は、個人の証明内容が確認できるサイトにアクセスできるQRコードやURL等の記載がある書類のみ原本と認めます。

[出身校等が証書の再発行を受け付けていない場合(卒業証明書・「学士」学位証明書・成績証明書を含む)]

下記1または2の方法をとってください。

1. 公証役場で公証した証明書を提出する
2. 卒業証書の発行機関で原本のコピーを取り、コピーに発行機関の公印を押印したものを提出する
※出身校の事情により上記の方法が不可能な場合は、事前に通信教育課程 入学課(tsushin@office.kyoto-art.ac.jp)に相談してください。

[証明書が日本語・英語以外で書かれている場合]

大使館などの公的機関や日本語学校等による証明を受けた翻訳文を添付してください(公正証書)。

翻訳文のみの提出や、翻訳サービス会社が作成した翻訳文は不可とします。

原本が日本語または英語の場合	原本を提出
原本が日本語または英語以外の場合	原本+翻訳文(公正証書)の原本を提出

B. 編入学基礎資格証明書【該当者のみ】



専修学校専門課程(専門学校)または高等学校の専攻科出身で、編入学にて出願する方は、Web出願「提出書類について」画面にあるPDFを印刷、または2024年度出願書類用紙セット内の「編入学基礎資格証明書(79ページと同書式)」に出身校ですべて記入・捺印を受けたものを提出してください。なお、証明書が発行できない場合は、理由の如何にかかわらず編入学資格がないものとみなします。

※大学入学資格記入欄に不備があった場合や、不明だった場合は別途入学資格証明書(高校の卒業証明書、高等学校卒業程度認定試験の合格証明書など)の提出を求める場合がありますので、必ず記載内容を確認してからご提出ください。

C. 戸籍抄本等【該当者のみ】

現在の氏名(戸籍上の氏名)が70ページ「提出書類 A. 入学資格証明書」に記載されている氏名と異なる場合は、それぞれが一致することを確認できる公的な書類(戸籍抄本、在留カードの両面、運転免許証の両面、年金手帳の氏名変更が記載されているページ等。各コピー可。証明書は発行6ヶ月以内のもの)を提出してください。戸籍抄本等は氏名変更の確認のみに使用します。

D. パスポートのコピーと在留資格証明書【該当者のみ】

外国籍の方は、パスポートのコピー(写真のあるページ)を提出してください。パスポートをお持ちでない場合、国籍を確認できる公的書類を提出してください。また、日本在住の場合、在留資格を証明する資料(在留カード・特別永住者証明書の両面のコピー)も提出してください。


E. 振替払込請求書兼受領証のコピー【該当者のみ】

Web出願の支払方法で郵便振込を選択した方は、郵便局・ゆうちょ銀行窓口備付の振込用紙(青色の文字)にてお振込後、そのコピーを提出してください。なお、振り込みの際は振込名義の後に必ず振込番号8桁を明記してください。振込番号は、支払い方法選択後に表示される「提出書類について」の画面に表示されます。

- コピーはA4用紙に受領証が用紙中央に来るように等倍でコピーし、切りとらずにそのまま提出してください。
- 学費ローンを利用する場合は、ローン対象外の入学選考料をお振込みください。
- 自動払込機(ATM)やネットバンキング、ゆうちょ銀行以外の銀行、本学窓口では納付できません。
- 入学手続き金の分納はできません。

※振込番号8桁の記入を忘れた場合は確認が遅れ、その分入学許可も遅れますのでご注意ください。

F. 預金口座振替依頼書【該当者のみ】


 出願書類用紙セット

入学後に必要な費用を引き落とす口座の登録はWeb出願手続き「Step6 口座振替登録」で行います。原則Webによる口座登録となりますが、登録が完了できなかった方で、事務局の承認を得た方のみ使用できます。在籍中に発生する諸費用の引落口座としてゆうちょ銀行・ネット銀行を指定するかそれ以外の金融機関を指定するかによってお手続きが異なります。

- ゆうちょ銀行・ネット銀行の場合
必要事項を記入し、1枚目「A.金融機関用」にゆうちょ銀行・ネット銀行お届け印を押印のうえ、1枚目「A.金融機関用」と2枚目「B.大学提出用」の2枚を出願書類として提出してください。ゆうちょ銀行・ネット銀行窓口でのお手続き(金融機関受取印)は不要です。3枚目「C.本人控」はご自身で保管してください。ネット銀行利用で、届出印がない場合は押印不要です。
- 上記以外の金融機関の場合
必要事項を記入し、1枚目「A.金融機関用」に金融機関お届け印を押印のうえ、引落口座に指定する金融機関窓口で受取印手続き(預金口座振替依頼)を行ってください。1枚目「A.金融機関用」はそのまま金融機関の窓口に渡し、金融機関受取印が押印された2枚目「B.大学提出用」を出願書類として提出してください。3枚目「C.本人控」はご自身で保管してください。
- 預金口座は志願者本人名義または学費支弁者のものに限りです。
- 指定金融機関は日本国内の銀行に限りです。27ページ「入学後に必要な費用」を参照。

京都芸術大学 通信教育部芸術学部願書受付係 question@air-u.kyoto-art.ac.jp

入学選考料／入学金免除について【該当者のみ】

下表①～④のいずれかに該当する方は入学手続金の一部が免除されます。


 出願書類用紙セット

Web出願登録前に通信教育課程入学課(tsushin@office.kyoto-art.ac.jp)にご連絡ください。

免除対象		提出書類・手続き
① 瓜生山学園の卒業・修了(見込)者	京都芸術大学通信教育課程(学部・大学院) 京都芸術大学通学課程(学部・大学院) 京都芸術短期大学 京都芸術デザイン専門学校(旧校名: 京都国際文化専門学校)	本学園以外の学歴を出願資格とされる場合のみ、本学園の卒業・修了(見込)証明書を別途提出。 Web出願画面「step2 出願資格の入力」にある本学・併設校学歴の項目に必要な事項を入力 ^{※1} 。
② 瓜生山学園の卒業・修了(見込)者の子女	京都芸術大学附属高等学校 藤川学園	事前に通信教育課程入学課へ確認事項をご連絡 ^{※2} 後、本学園の卒業・修了(見込)証明書を提出。
③ 瓜生山学園在学生の保護者または学費支弁者	京都芸術大学通学課程(学部・大学院) 京都芸術デザイン専門学校 京都芸術大学附属高等学校 認可保育園 ども芸術大学	事前に通信教育課程入学課へ確認事項をお知らせください ^{※2} 。
④ 京都造形芸術大学芸術学部デザイン科環境デザインコースへ1991年4月～1999年4月に入学された方が通信教育部芸術学部デザイン科建築デザインコースへ入学する場合		

※1：77ページ「入学手続金の一部免除の手続方法【該当者のみ】」参照。

※2：【お問い合わせ先】通信教育課程入学課 tsushin@office.kyoto-art.ac.jp
件名:入学手続金の一部免除対象

本文:志願者(ご本人)の氏名、住所、電話番号、志望コース、メールアドレスと②③の場合は卒業・修了(見込)者または在学生の氏名、在籍学科、学年、学籍番号をご記載ください。

※退学は免除対象外です。

学生証・教材等の送付時期

入学許可のメール通知後、学生証などを約10日間で発送します。

コースガイド・課題提出用教材の発送

手のひら芸大の学科・コースへの一斉送付はありません（Webから各自入手。一部の科目は本学に個別請求）。
 その他のコースは提出書類の本学到着時期により送付時期が異なりますので、下表でご確認ください。
 なお、テキストは別途購入する必要があります。（28～30ページ「テキスト・教材・機材費」参照）。

※一部コースでは初年度にテキストを配本します。ただし、在学中に指定テキストの変更があれば、新しく指定されるテキストは各自購入いただく必要があります。

	1/15～2/29	3/1～3/31	4/1～4/6
2月	<p>提出書類の到着 1/15～2/10</p> <p>↓</p> <p>提出書類の到着 2/11～2/29</p>	<p>入学式の出席をお考えの場合は、2月16日までに到着するようにご出願ください。</p>	
3月	<p>学生証の送付 2月下旬～3月上旬</p> <p>↓</p> <p>コースガイドの送付 3月下旬</p>	<p>提出書類の到着 3/1～3/12</p> <p>↓</p> <p>学生証の送付 3月下旬</p>	<p>提出書類の到着 3/13～3/19</p> <p>↓</p> <p>提出書類の到着 3/20～3/30</p>
4月	<p>2月中であれば、 年間の学習計画を立てた上で、 4月から余裕をもって 学習を始められます。</p>	<p>提出書類の到着 3/13～3/19</p> <p>↓</p> <p>提出書類の到着 3/20～3/30</p> <p>↓</p> <p>提出書類の到着 4/1～4/6[※]</p>	<p>提出書類の到着 4/1～4/6[※]</p> <p>↓</p> <p>学生証の送付 4月下旬～5月上旬</p>
5月			<p>↓</p> <p>コースガイドの送付 5月上旬</p>

※出願期日の消印有効にて対応します（海外から送付の場合は必着です）。

※前期（4月）入学の入学式は4月7日（日）です。後期（10月）入学の場合、入学式はありません。44ページ「入学式・新入生ガイダンス」参照。

※芸術教養学科の後期（10月）入学は、9月6日（金）までに提出書類を提出すれば10月1日から学習を始められます。

※提出書類に不備があった場合は手続きが遅れるため、各種送付も遅くなりますのでご注意ください。

※書類の到着確認の問い合わせには応じられませんので、必ずご自身で追跡ができる方法で郵送してください。

📢 出願に関する諸注意

入学選考に関する問い合わせ

選考結果についての問い合わせには回答できません。

テキスト科目課題提出時期

テキスト科目の課題提出期間は4月から始まります。出願時期が4月以降になると、課題提出までに十分な学習時間がとれなくなる可能性があります。余裕をもった学習の開始や4月度の課題提出を目指す場合は、早めの出願をおすすめします。

新生生のスクーリング受講開始時期について

新生生のスクーリング受講は5月からです(1年次入学・3年次編入学ともに)。新生生対象の専門教育科目スクーリングは、出願時期にかかわらず追加募集にて受講申込できるよう、スクーリング日程を設定しています。ただし、4月以降に出願の方は、一部の選択科目において、スクーリング申込期間との関係で、5月開講の科目を申し込みできない可能性があるため、早めの出願をおすすめします。

- スクーリング科目(対面/遠隔)の申し込みは、先行募集と追加募集があります。先行募集で定員を超える申し込みがあった場合、申込者全員を対象に抽選を行い、後日申込結果を公開します(先着順ではありません)。先行募集の結果、定員に空きがある科目については、追加募集を行います。
- 先行募集でスクーリング申込をお考えの場合、2月中に出願書類が到着するようにご出願ください。(ご希望のスクーリング受講を確約するものではありません)
- スクーリングの申込方法、その他詳細は「学生証」に同封する書類にてお知らせします。
- なお、文芸コース、アトリエコース、書画コース専門教育スクーリング科目の課題提出期間は4月から始まります。出願時期が3月中旬以降になると、課題提出までに十分な学習時間がとれなくなり、夏期以降に学習開始となる可能性がありますのでご注意ください。

入学式への出席

入学式の出席をお考えの場合、2月16日(金)までに出席書類が到着するようにご出願ください(入学式までに学生証をお送りすることを確約するものではありません)。

- 後期(10月)入学の場合、入学式はありません。
- 入学式・対面ガイダンスは事前申込制にて実施を予定しています。申込者多数の場合は抽選となります。申込方法等、詳細は学生証と一緒に送りする「入学式・新生ガイダンスのご案内」をご確認ください。出願時期により、お申込をお受けできない場合もありますので、入学式・対面ガイダンスの出席を希望される場合はお早めにご出願ください。

緊急連絡先の指定

万一に備え出願時に緊急連絡先を指定いただきます。緊急連絡先を入力・記入する際は、下記4点に留意してください。

- 緊急連絡先(日本国内に限る)は、必ず志願者本人以外の方を指定してください。緊急連絡先へは、大学から学生本人への緊急連絡が必要な際に連絡がつかない場合や、スクーリング受講中の事故等、就学上支障をきたすと判断される状況において、ご連絡を差し上げることがあります。
- 緊急連絡の必要性から、緊急連絡先として指定する方が携帯電話をお持ちであれば、必ず携帯電話の番号を入力・記入してください。
- 緊急連絡先となる方に、あらかじめ上記2点について説明し、了解を得ておいてください。
- 志願者が未成年の場合は保証人を兼ねます。

記入または入力不備・書類不備

出願時に入力・記入間違いや漏れ、あるいは提出書類に未提出や発行日が古い等の不備がある場合は、書類審査を開始できず、入学許可が遅くなるだけでなく、入学不許可になることがあります。

不備がある場合は、不備が補完された日が出願書類の受理日となり、書類審査開始となります。

旧字体等

お名前、ご住所に旧字体等が含まれている場合は、常用漢字の代替文字にて対応させていただきますので、あらかじめご了承ください（例：高→高、吉→吉など）。また、使用する文字フォントのバージョンは『JIS2004（JIS X 0213:2004）』に統一しています。これにより、一部字体が変更される場合があります（※辻→辻、※芦→芦など）。

氏名の通称

氏名は戸籍上のものに限り、通称は認めません。在留資格「永住」の方はこの限りではありませんが、通称と入学資格証明書記載の氏名、出願時の氏名とが一致する公的な証明書を提出してください。

●障がい等の理由で通称名使用を希望する場合は、必ず出願前に通信教育課程入学課(tsushin@office.kyoto-art.ac.jp)へご相談ください。

氏名登録可能な文字種

氏名として登録できる文字は、漢字、ひらがな、カタカナです。アルファベット表記はできません。

住所等の変更

出願後に、住所や電話番号等に変更が生じた場合は、すみやかに通信教育部芸術学部願書受付係にメールで連絡してください。また、住所変更の場合は郵便局へ転居届を提出してください。大学からの重要な送付物（学生証等）が届かなくなります。

京都芸術大学 通信教育部芸術学部願書受付係 question@air-u.kyoto-art.ac.jp

窓口での書類提出

通信教育部願書受付窓口（京都瓜生山キャンパス人間館中2階）で提出することもできます。ただし、入学手続金は窓口では納付できませんので、あらかじめ納入手続を済ませてください。

窓口受付時間：月～土／9：00～17：00 ※日祝休

受付通知（メール）

出願後、Web出願を受け付けた旨のメール（件名：Web出願を受け付けました[airU]）を送信します。

Web出願登録後、1日経過してもメールが届かない場合は、以下へ氏名、生年月日、住所を明記し、メールが届かない旨を連絡してください。

京都芸術大学 通信教育部芸術学部願書受付係 question@air-u.kyoto-art.ac.jp

書類到着に関するお問い合わせ

書類到着確認のお問い合わせは原則として受け付けできません。ご自身で追跡番号等により確認してください。

提出書類の返却

出願時の提出書類は、理由の如何にかかわらず返却しません。

出願内容の変更

出願後にコース・入学形態は変更できません。

志望する入学形態での入学が不許可になった場合

入学選考の結果、志望した入学形態とは異なる入学形態と判定された場合（例.3年次編入学で出願したが、1年次入学と判定）は、判定結果を通知します。判定結果の入学形態で入学するか、入学辞退するかを改めて選択してください。入学を辞退する場合は、入学選考料を除く入学手続金を返還します。返還のための振込手数料は、ご本人負担となります。

入学が不許可になった場合

入学選考の結果、不許可となった場合（例.入学資格を満たさなかった場合や、提出書類・出願書類の不備・不足が補完されなかった場合等）は、入学選考料を除く入学手続金を返還します。返還のための振込手数料は、ご本人負担です。

入学辞退

諸事情により、出願後に辞退する場合（入学許可となった方は入学許可通知メールの送信日から10日以内）、通信教育部芸術学部願書受付係に連絡してください。入学辞退の手続方法をご案内し入学選考料を除く入学手続金を返還します。返還のための振込手数料は、ご本人負担です。

【重要】 入学許可となった場合、入学許可通知メールの送信日から10日を過ぎた場合や、期間内であってもすでに受講を開始している場合の入学辞退のお申し出は受け付けられません。この場合、理由の如何にかかわらず入学手続金は返還できません。

【重要】 出願後とは 出願を受け付けた旨のメール送信時とします。

京都芸術大学 通信教育部芸術学部願書受付係 question@air-u.kyoto-art.ac.jp

個人情報の取扱い

本学では、個人情報保護の重要性を認識し、個人情報保護に関する法令を遵守するとともに、適法かつ適正に個人情報を取り扱います。個人情報については、出願手続処理、学籍管理、教学運営、個人を特定しない統計資料作成のみに使用します。

委託業者において業務を行うことがありますが、本学が明示する用途のみに使用します。

入学手続金の一部免除の手続方法【該当者のみ】

- Web出願のstep2の入力項目に、必要事項を入力してください。
- 本学園卒業・修了以外の学歴を出願資格とする場合は、「本学園の卒業・修了（見込）証明書」の提出が別途必要です。73ページの「選考料／入学金免除について【該当者のみ】」を参照してください。
- 「学費の支払い」画面に免除金額（25ページ）が表示されていることを確認のうえ、支払い操作をしてください。
- 学費ローンを利用する場合は、ローン対象外の入学選考料の支払いが必要ですが、免除の内容により係る支払いがない場合があります。「学費の支払い」画面に免除金額（25ページ）が表示されていることを確認のうえ、支払い操作をしてください。
- 該当者以外の方が免除を選択して出願手続をされた場合、修正は本学でしか行えず、入学許可が遅れますので、ご注意ください。

1年次入学の既修得単位認定の申請方法【入学後、該当者のみ】

- 出願時には申請できません。入学後にWeb上の「airU学習ガイド」をご確認のうえ申請してください。
- 3年次編入学生は対象外です。

書式

この書式をコピーしてお使いください。

※記入前に必ず裏面をご確認ください。記載にあたっては、すべて専門学校または高等学校においてご記入ください。

編入学基礎資格証明書 (専修学校専門課程〈専門学校〉・高等学校専攻科専用)

志願者について(※印は専門学校の場合のみ記入してください)

フリガナ		性別	生年月日	西暦
氏名		男・女		年 月 日
学校名 (修了当時の名称)				
※ 専門課程名 (修了当時の名称)	学科・コース名 (修了当時の名称)			
入学・修了年月日	西暦	西暦		
	年 月 日 入学 ~	年 月 日 修了・修了見込	(いずれかに○をしてください)	
次のいずれかに該当する。(□に✓をしてください)				
<input type="checkbox"/> 1994年6月21日文科省告示第84号により、専門士の称号が付与された者である。				
<input type="checkbox"/> 専門士の称号付与はないが、修業年限が2年以上で、修了に必要な総授業時数が1,700時間以上であり、かつ試験等により成績評価を行い、その評価に基づいて課程修了の認定を行っている課程を修了した者である。				
<input type="checkbox"/> 修業年限が2年以上、その他の文部科学大臣が定める基準を満たす高等学校専攻科修了者である。				
大学 入学 資格 確認 欄	本校専門課程または専攻科入学時の最終学歴は以下のとおり。(□に✓のうえ、記入してください)			
	<input type="checkbox"/> 西暦	年 月	高等学校	科 卒業
	<input type="checkbox"/> 西暦	年 月	専修学校 高等課程	科 修了
	<small>(大学入学資格が付与された課程に限る)</small>			
	<input type="checkbox"/> 西暦	年 月	高等学校卒業程度認定試験・大学入学資格検定	合格
<input type="checkbox"/> その他()				
<input type="checkbox"/> 不明(理由を記入)				

本校について(※印は専門学校の場合のみ記入してください)

※ 専修学校設置認可年月日	西暦	年 月 日	裏面 注1) 注2)
※上記志願者が修了した課程・学科(当時の専修学校専門課程設置認可年月日)	西暦	年 月 日	裏面 注3)
校名変更・廃校の場合	旧校名 変更年月日 西暦	年 月 日	
	廃校年月日 西暦	年 月 日	
※ 所管監督庁・所轄庁	所轄庁 担当部課		裏面 注4)

上記の者は本校において法令に定める大学編入学資格を有する者であり、記載事項に誤りがないことを証明する。

西暦 年 月 日

所在地

学校名

校長名

校印

電話

記載担当者名

「編入学基礎資格証明書」の発行について(お願い)

学校教育法一部改正により、1999（平成11）年4月から、①修業年限が2年以上で、修了に必要な総授業時数が1,700時間以上の基準を満たす専門学校（専修学校専門課程）の修了者で、②大学入学資格を有する方の大学への編入学が可能となりました。

また、同じく学校教育法一部改正により、2016（平成28）年4月から、①修業年限が2年以上、その他文部科学大臣の定める基準を満たす高等学校の専攻科の修了者で、②大学入学資格を有する方の大学への編入学が可能となりました。

これらの法改正を受け、本学通信教育部では、上記基準を満たす専門学校修了者並びに高等学校の専攻科の修了者の編入学出願を認めております。

本学通信教育部では、専門学校からの編入学志願者には、出願書類として、当該学校の「修了証明書」「成績証明書」に加えて、「編入学基礎資格証明書」（本書式）の提出を求めています。高等学校の専攻科からの編入学志願者には、当該高等学校の高等課程の「卒業証明書」、専攻科の「修了証明書」と「成績証明書」に加えて、「編入学基礎資格証明書」（本書式）の提出を求めています。

「編入学基礎資格証明書」は、志願者が文部科学省の定める大学編入学のための上記基準を満たしていることを証明する資料といたしますので、記載にあたっては、すべて専門学校または高等学校においてご記入ください。また、大学入学資格確認欄に不明と記入された場合は、志願者へ通達いただきますようご協力をお願い申し上げます。

専門学校の場合

注1) 本学通信教育部では、専門学校からの編入学出願資格を、**専修学校設置基準施行1976（昭和51）年1月以降の入学者**としています。従って、当該学生の修了時に専修学校認可を受けている場合でも、専修学校設置基準施行以前の入学者については、編入学出願を認めておりませんので、本証明書を発行しないでください。

注2) 表面「専修学校設置認可年月日」とは、貴校が専修学校専門課程として認可された年月日です。上記注1) のとおり、専修学校の設置基準が施行された1976（昭和51）年1月以降の年月日になります。従って、学校設立の年月日とは異なる場合があります。

注3) 表面「上記志願者が修了した課程・学科(当時)の専修学校専門課程設置認可年月日」とは、証明対象である志願者が貴校に入学し、修了したその当時の課程・学科が専門課程として認可を受けた年月日です。上記注2)の「専修学校設置認可年月日」と同じか、それ以降の年月日になります。

注4) 表面「所管監督庁・所轄庁」の記入例は以下のとおり。

(例)所 轄 庁：京都府
担当部課：文教課

お気づきの点がございましたら、下記までお問い合わせください。

京都芸術大学通信教育課程入学課

☎：0120 - 20 - 9141

※

2024年度 科目等履修生(博物館学芸員課程)
スクーリング申込書
 【コピーをとりご自身の控えとして保管してください】

出 願 番 号		フリガナ	
		氏 名	

スクーリング（「博物館実習1～3」）の日程について、受講希望日を選択してください。「博物館実習1（事前指導）」ならびに「博物館実習3(事後指導)」は第1・第2希望を、「博物館実習2(館園実習)」は第1希望～第4希望まですべて記入してください。未記入の場合は不備となり、受理することができません。
 なお、申込人数により、第1希望とならない場合がありますので、あらかじめ、ご了承ください。

スクーリング	開講日程	開講地	希望 ※第1希望、第2希望を必ず記入。 「博物館実習2」は第4希望まで必ず記入。
博物館実習1 (事前指導)	4/6(土)、6/8(土)～6/9(日)	東京(初日のみ遠隔)	<input type="checkbox"/> 第1希望 <input type="checkbox"/> 第2希望
	4/13(土)、6/15(土)～6/16(日)	京都(初日のみ遠隔)	<input type="checkbox"/> 第1希望 <input type="checkbox"/> 第2希望
博物館実習2 (館園実習)	8/31(土)～9/1(日) 9/7(土)～9/9(月)	東京(初日のみ遠隔) 長野(康耀堂美術館)	<input type="checkbox"/> 第1希望 <input type="checkbox"/> 第2希望 <input type="checkbox"/> 第3希望 <input type="checkbox"/> 第4希望
	8/31(土)～9/1(日) 9/14(土)～9/16(月)	東京(初日のみ遠隔) 長野(康耀堂美術館)	<input type="checkbox"/> 第1希望 <input type="checkbox"/> 第2希望 <input type="checkbox"/> 第3希望 <input type="checkbox"/> 第4希望
	9/25(水)～9/29(日)	京都(初日のみ遠隔)	<input type="checkbox"/> 第1希望 <input type="checkbox"/> 第2希望 <input type="checkbox"/> 第3希望 <input type="checkbox"/> 第4希望
	9/25(水)～9/26(木) 10/5(土)～10/7(月)	京都(初日のみ遠隔)	<input type="checkbox"/> 第1希望 <input type="checkbox"/> 第2希望 <input type="checkbox"/> 第3希望 <input type="checkbox"/> 第4希望
博物館実習3 (事後指導)	11/29(金)～12/1(日)	東京	<input type="checkbox"/> 第1希望 <input type="checkbox"/> 第2希望
	12/6(金)～12/8(日)	京都	<input type="checkbox"/> 第1希望 <input type="checkbox"/> 第2希望

※「博物館実習1(事前指導)」の受講希望日は出願時から変更することはできません。
 ※決定したスクーリング日程は受講許可証とともに3月下旬に発送します。
 ※以前に本学で単位修得済のスクーリングがあり、既修得単位認定の申請を予定している方は、上部の余白にその旨を記載してください。

提出先

〒606-8271
 京都市左京区北白川瓜生山 2-116
 京都芸術大学 通信教育部芸術学部願書受付係

提出締切日

2024年2月16日(金) [消印有効]
 ※海外(日本国外)から送付の場合は消印有効ではなく【必着】です。

受 付	登 録

博物館学芸員課程

- 学科・コースに所属しながら学ぶ

「資格課程」 P87 ~

- 学科・コースに所属せず
1年間で資格取得する

「科目等履修生」 P91 ~

資格取得には
2つの学び方が
あるよ!



博物館学芸員課程

本学通信教育部で博物館学芸員の資格取得をめざす場合、学科・コースに所属しながら学ぶ「資格課程」と、学科・コースに所属せず1年間で資格取得のみをめざす「科目等履修生」の学び方があります。なお、「資格課程」の場合、以下のとおり所属する学科・コースにより受講料や実習先が異なります。

- 学科・コースに所属しながら学ぶ「資格課程」は87～90ページ
- 学科・コースに所属せず1年間で資格取得する「科目等履修生」は91～104ページ

博物館学芸員課程の各特徴

項目	資格課程 ※書画コース、イラストレーションコース、映像コース、食文化デザインコースは登録不可。			科目等履修生
	芸術学科・美術科・デザイン科 (文芸コースアートライティングコース除く)	文芸コース アートライティングコース	芸術教養学科	
受講料	課程登録時 160,000円 ※在籍期間中有効 ※スクーリング受講料は別途必要(25、28ページ参照)		課程登録時 250,000円 ※在籍期間中有効 ※スクーリング受講料を含む (25、28ページ参照)	出願時一括納入 460,480円 ※スクーリング受講料を含む
定員	なし			100名
受講期間	標準3年間(最短2年間)			1年間
受講(出願)資格	<ul style="list-style-type: none"> ・2年次以上の方 ・インターネット接続環境が整ったパソコンの所有と基本操作能力 			<ul style="list-style-type: none"> ・日本の大学または大学院を卒業・修了した方および2024年3月卒業・修了見込の方 ・文部科学省の所管である大学改革支援・学位授与機構から学士・修士、博士いずれかの学位を授与された方および2024年3月までに授与見込の方。 ・インターネット接続環境が整ったパソコンの所有と基本操作能力
在籍年限	1年次：9年間	3年次：7年間	※ただし、課程登録は2年次より可能	1年間 ※休学は不可
受講申込(出願)時期	1年次入学の場合は2年次以上になる時の学籍更新時、3年次編入学の場合は出願時もしくはその後の学籍更新時。 ※最短で2年かかるカリキュラムのため卒業年次では登録不可。			2024年1月15日(月)～2月16日(金) [消印有効]
資格取得に必要な履修単位数	合計 29単位以上 詳細は87ページ			合計 19～27単位 詳細は99ページ
「博物館実習2」の実習先	京都瓜生山キャンパス 芸術館(5日間) または 学外の博物館・美術館 ※期間、手続き方法は館による	京都瓜生山キャンパス芸術館(5日間) ※学外館での実習はできません。		京都瓜生山キャンパス 芸術館(5日間) または 東京外苑キャンパス(2日間) +長野・康耀堂美術館(3日間)
テキスト代	約16,000円～24,000円 ※履修する科目、電子版または印刷製本版いずれを選択するかにより価格が異なります。なお、一部の科目のテキストは印刷製本版のみの提供です。			電子版：合計7,832円 印刷製本版： 合計9,240円(honto)～ 11,770円(Amazon) ※必修科目のみの場合
その他	教育訓練給付制度：指定なし 学割：利用可			教育訓練給付制度：指定あり 詳細は93ページ 学割：利用不可

資格課程

取得できる資格

● 学芸員

本学通信教育部では、博物館法第5条第1項第1号の規定に基づき、学芸員の資格を取得できます。書画コース、イラストレーションコース、映像コース、食文化デザインコース以外のコース・学科(芸術学部)が対象です(ただし、課程登録は2年次以上)。

資格取得に必要な履修単位数

履修科目	単位数	
	必修	選択必修
1. 博物館法施行規則に定める科目(全コース共通)	19単位	0単位
2. 関連科目(全コース共通)	0単位	10単位
履修科目単位数合計	29単位	

※博物館学芸員課程で修得した「博物館法施行規則に定める科目」の単位は、卒業要件の「自由選択」の単位に含めることができます。
 ※「必修」「選択必修」は本学における学芸員資格取得上の要件です。

資格取得に必要な履修科目

博物館法施行規則に定める科目^{※1} (必修)

博物館法施行規則に定める科目	本学開講授業科目名	科目区分	履修形態 ^{※2}	単位数	必修区分
博物館概論	博物館概論	博物館学芸員科目	TR	2	すべて必修
博物館経営論	博物館経営論		TR	2	
博物館資料論	博物館資料論		TR	2	
博物館情報・メディア論	博物館情報・メディア論		TR	2	
生涯学習概論	博物館生涯学習概論		TR	2	
博物館教育論	博物館教育論		TR	2	
博物館実習	博物館実習1(事前指導)		S	1	
	博物館実習2(館園実習)		S	1	
	博物館実習3(事後指導)		S	1	
博物館資料保存論	博物館資料保存論		TR	2	
博物館展示論	博物館展示論	TR	2		
必要単位数合計				19	

※1：配当年次(履修可能な最低年次)は、「博物館実習2～3」のみ3年次～、その他の科目は2年次～です。

※2：S=スクーリング科目 / TR=テキストレポート科目

関連科目^{※1} (選択必修)

分野	本学開講授業科目名	科目区分	履修形態 ^{※2}	単位数	必修区分
文化史	日本文化論 ^{※3}	総合教育科目	TR	2	いずれか 1科目必修
	文化研究 2		TR	2	
美術史	芸術史講義(日本)1	学部共通専門教育科目	WS	2	いずれか 2科目必修
	芸術史講義(日本)2		WS	2	
	芸術史講義(ヨーロッパ)1		WS	2	
	芸術史講義(ヨーロッパ)2		WS	2	
	芸術史講義(アジア)1		WS	2	
	芸術史講義(アジア)2		WS	2	
	芸術史講義(近現代)1		WS	2	
	芸術史講義(近現代)2		WS	2	
考古学	列島考古学	総合教育科目	TR	2	必修
民俗学	文化研究 1	総合教育科目	TR	2	必修
必要単位数合計				10	

※1：2023年度時点の本学開講授業科目です。2024年度以降、変更となる可能性があります。

※2：WS=Webスクーリング科目 / TR=テキストレポート科目

※3：芸術教養学科の方は該当しません。

受講登録にあたって

資格取得には、標準で3年以上、最短でも2年間が必要です。よって、編入学で最短の在籍年数で卒業をめざす場合は、出願と同時に博物館学芸員課程の受講登録手続きを行う必要があります。ただし、編入学でも卒業と同時に資格取得するまでに3年以上かかる場合が十分にありえますのでご留意ください。1年次入学の方は2年次以上になる時の学籍更新時に受講登録ができます。

所属学科・コースの卒業要件を満たすと、資格課程の履修が完了してなくても卒業となります。卒業までに資格課程の履修が完了するように計画を立ててください。

なお、本課程では、学習用Webサイト「airUマイページ」を利用しますので、インターネット接続環境が整ったパソコンの所有が必要です。(38ページ「システム要件」参照)

<芸術教養学科、文芸コース、アートライティングコース 注意事項>

「博物館実習」を対面授業にて受講する場合、のべ11日間のうち、「博物館実習2(館園実習)」(5日間)は、京都瓜生山キャンパスにある「芸術館」で受講する必要があります。

また、「博物館実習2～3」を受講するためには履修の前提条件を満たすことが必須です。以下のタイミングで入学手続きを行った方が最短卒業と同時に資格取得を目指す場合、非常に厳しく、かつタイトな履修スケジュールとなりますので履修モデル等をよく確認のうえ、ご登録ください。

前期入学 4月以降に出願手続きをされる方

後期入学 10月以降に出願手続きをされる方(芸術教養学科のみ)

履修モデル

全学科(芸術教養学科後期入学生除く)

3年間の履修モデル(2024年度時点)

●卒業制作・卒業研究 着手要件の履修	博物館概論 2単位 博物館経営論 2単位 博物館資料論 2単位 博物館情報・メディア論 2単位 博物館実習1(事前指導) 1単位	(2024年度) 1年目
	博物館生涯学習概論 2単位 博物館教育論 2単位 博物館資料保存論 2単位 博物館展示論 2単位 関連科目 6単位	(2025年度) 2年目
●卒業制作・卒業研究 ●残りの卒業要件の履修	博物館実習2(館園実習) 1単位 博物館実習3(事後指導) 1単位 関連科目 4単位	(2026年度卒業年次) 3年目
学芸員資格取得+卒業		

2年間の履修モデル(2024年度時点)

●卒業制作・卒業研究 着手要件の履修	博物館概論 2単位 博物館経営論 2単位 博物館資料論 2単位 博物館情報・メディア論 2単位 博物館生涯学習概論 2単位 博物館教育論 2単位 博物館資料保存論 2単位 博物館展示論 2単位 博物館実習1(事前指導) 1単位	(2024年度) 1年目
	博物館実習2(館園実習) 1単位 博物館実習3(事後指導) 1単位 関連科目 10単位	(2025年度卒業年次) 2年目
学芸員資格取得+卒業		

芸術教養学科(後期入学生)

3年間の履修モデル(2024年度時点)

●卒業研究 着手要件の履修	博物館概論 2単位 博物館経営論 2単位 博物館資料論 2単位 博物館情報・メディア論 2単位 博物館実習1(事前指導) 1単位	(2024年度) 1年目
	博物館生涯学習概論 2単位 博物館教育論 2単位 博物館資料保存論 2単位 博物館展示論 2単位 博物館実習2(館園実習) 1単位 関連科目 6単位	(2025年度) 2年目
●卒業研究 ●残りの卒業要件の履修	博物館実習3(事後指導) 1単位 関連科目 4単位	(2026年度) 3年目
学芸員資格取得+卒業		

2年間の履修モデル(2024年度時点)

●卒業研究 着手要件の履修	博物館概論 2単位 博物館経営論 2単位 博物館資料論 2単位 博物館情報・メディア論 2単位 博物館生涯学習概論 2単位 博物館教育論 2単位 博物館資料保存論 2単位 博物館展示論 2単位 博物館実習1(事前指導) 1単位 博物館実習2(館園実習) 1単位	(2024年度) 1年目
	博物館実習3(事後指導) 1単位 関連科目 10単位	(2025年度) 2年目
学芸員資格取得+卒業		

博物館実習

本学の博物館実習は人文系博物館、とくに美術館での実務経験を中心にカリキュラムが構成されています。日程の一部で遠隔授業(43ページ「遠隔授業」参照)の実施を予定しています。「博物館実習1・3」では学外館見学を行います。受講地に関わらず近隣の府県にて実施する可能性があります。

なお、本課程では「博物館実習2～3」を受講するためには、履修の前提条件を定めています。次の条件を満たさない場合、「博物館実習2～3」を履修できません。

科目名	「博物館実習」を受講するための履修の前提条件	開講地
博物館実習1 (事前指導)	なし	京都瓜生山キャンパスまたは東京外苑キャンパス(3日間)
博物館実習2 (館園実習)	<ul style="list-style-type: none"> ・「博物館概論」「博物館経営論」「博物館資料論」「博物館情報・メディア論」「博物館生涯学習概論」「博物館教育論」「博物館資料保存論」「博物館展示論」を合格済み ※ただし、学外館実習の場合は前年度までに単位修得済み ・「博物館実習1(事前指導)」合格済み 	京都瓜生山キャンパス「芸術館」(5日間)または学外館 ※芸術教養学科、文芸コース、アートライティングコースの方は学外の博物館・美術館で実習を行うことはできません。 ※学外館での受講を希望する場合は、各自で開拓・交渉する必要があります(一部、大学より一括)。
博物館実習3 (事後指導)	・「博物館実習2(館園実習)」合格済み	京都瓜生山キャンパスまたは東京外苑キャンパス(3日間)

既修得単位の認定

本課程は相互に関連する科目群からカリキュラムが構成されているため、本課程の科目をすべて修得する必要があります。そのため、他大学や高等専門学校、専修学校専門課程(専門学校)で修得された単位を本課程で修得した科目として既修得単位認定することはできません。

一方、以前に本学(通信教育部・通学部・科目等履修)で修得した単位のうち、「博物館法施行規則に定める科目」については既修得単位として認定の対象となります。既修得単位認定を希望する場合は入学後に申請できます。ただし、この認定は資格取得のための単位認定として履修を免除するものであり、卒業に必要な単位数を減免するものではありません。また、「関連科目」は既修得単位認定の対象外です。なお、年限退学時再入学制度を利用して出願される場合の手続きは不要です。

履修についての注意事項

学芸員は「博物館資料の収集、保管、展示及び調査研究その他これと関連する事業について専門的事項をつかさどる(博物館法第4条4項)」専門的職員です。博物館等の運営には学芸員の設置が義務付けられています。学芸員の仕事は、さまざまな雑事に追われることも多々あり、夢のような研究職ではないことを心していただきたいと思えます。

昨今、学芸員としての就職は大変厳しく、求人があっても高度な専門的知識を有するものに限定するなどの条件が提示されることが多いです。資格取得が職業に直結するものではないことを認識しておいてください。なお、本学博物館学芸員課程は実地で仕事ができる能力を培うことを目標としているため、履修すれば簡単に資格取得できるわけではありません。しかしこの課程の学びは、博物館に職を求める以外に制作活動発表の際の技術、地域文化振興の知識といった発展的な利用ができます。厳しさはありますが、課程修了後には単なる資格取得にとどまらない実りをお約束します。

〈海外在住者対象〉

本課程は日本の博物館に勤務する専門職としての学芸員資格の取得を目指すカリキュラムとなっています。そのためTR科目のレポート課題では、原則として日本の博物館を調査対象としてください。

学科・コースに所属せず1年間で資格取得する

科目等履修生

募集定員

定員は100名です。出願日基準で先着順。定員になり次第、募集を締め切ります。

取得できる資格

修了すると、日本の学士、修士、博士いずれかの学位を有する人は学芸員の資格が認定されます。

入学選考

選考のための試験は行いません。出願書類による書類審査のみです。

出願期間

Webによる出願

出願締切日の17：00までにWeb出願手続と学費の支払いを完了し、提出書類を期限内に送付する必要があります。

出願期間	「提出書類」の期限
2024年1月15日(月) 10：00～2月16日(金) 17：00まで	2024年2月16日(金) [消印有効] ※海外から送付の場合は【必着】です。

※1月15日から先着順で受け付けます。出願者数の状況により、出願期間内に募集を締め切る場合は、Webサイト(<https://www.kyoto-art.ac.jp/t/>)でご案内します。

修業年限・在籍年限

1年間で学習が完結します。課程修了や資格取得は年度末(2025年3月末)となります。

※修業年限は1年、在籍年限は1年です。科目等履修生として在籍中に、休学はできません。

出願資格

1	日本の大学または大学院を卒業・修了した方および2024年3月卒業・修了見込の方。
2	文部科学省の所管である大学改革支援・学位授与機構から学士、修士、博士いずれかの学位を授与された方および2024年3月までに授与見込の方。

！ 出願資格と入学に関する諸注意

他大学等の在籍者

他の大学・短期大学・大学院等に在籍しながら履修を希望する方は、所属校に確認し許可を得たうえで出願してください。

本学通信教育部(芸術教養学科・芸術学科・美術科・デザイン科)・本学大学院(通信教育)との重複

本学通信教育部の科目等履修生と芸術教養学科・芸術学科・美術科・デザイン科および本学大学院(通信教育)との重複出願・重複受講はできません。

海外居住者の入学条件

出願にあたっては、日本国内の確実な連絡先を本人現住所として入力または記載してください。本学からのすべての送付物(郵便・宅配便等)の宛先は、日本国内の連絡先(中継先)です。海外の居住地に直接送ることはできません。なお、スクーリング(Web受講を除く)は日本国内で受けなければなりません。また、科目の課題提出時間や各種申請手続等の締切日時は、日本時間を基準にします。

※海外でパソコンをご利用の場合は、日本語版OSのみ利用できます。また、ブラウザの設定も日本語に設定する必要があります。タブレットやスマートフォンの場合は、言語環境を日本語に設定する必要があります。

疾患や障がいのある方の修学

該当する方は、出願締切の1ヶ月前までに通信教育課程入学課(tsushin@office.kyoto-art.ac.jp)にご相談ください。必要に応じて事前面談を行います。なお、ご連絡がない場合も出願時の「心身の状況」の内容に応じて、面談を提案させていただく可能性があります。

なお、通信教育部の学習上のサポートは主に対面スクーリングを対象にしています。

- 例) ・スクーリング時の介助者の同行許可
 ・スクーリング時の座席配慮
 ・補聴器や音声認識アプリ等、日常的に使用されている機器類の使用許可
 ・配付資料の事前提供(電子版の提供) など

その他、ご要望に応じて対応を検討いたしますので、事前にご相談ください。特に、学科・コースによっては実技(技術習得)を伴う科目が卒業認定上の必修科目として設定されている場合があります。障がい等の状況により配慮が必要になる場合は、学習方法・配慮方法について、事前にご相談ください。

なお、京都瓜生山キャンパスは立地の都合上、坂道や階段が多いキャンパスとなっています。場所によっては、バリアフリー整備が十分ではない校舎等もございますので、スクーリングを京都で予定されている方は、事前にご見学・ご相談ください。

学費

出願時に必要な費用

入学選考料	登録料	授業料	学研災保険料	学研災付帯賠償責任保険料	合計
20,000円	30,000円	410,000円*	140円	340円	460,480円

※ 授業料には課題添削指導料、スクーリング受講料、学外館見学時の入館料(「博物館実習1(事前指導)」)、「博物館実習3(事後指導)」を含みます。なお、テキスト代、博物館実習に伴う交通費・宿泊費については別途お支払いが必要です。(86ページ参照)

登録料の免除

以下に該当する方は、登録料が免除されます。

免除対象	免除金額
京都芸術大学通信教育課程(学部・大学院) 京都芸術大学通学課程(学部・大学院) 京都芸術短期大学 京都芸術デザイン専門学校(旧校名：京都国際文化専門学校) 京都芸術大学附属高等学校 藤川学園	卒業・修了生 (卒業・修了見込む) およびその子女 登録料30,000円免除
京都芸術大学通学課程(学部・大学院) 京都芸術デザイン専門学校 京都芸術大学附属高等学校 認可保育園こども芸術大学	在学生の保護者 または学費支弁者

勤労学生の所得控除および奨学金

本学通信教育部科目等履修は、勤労学生の所得控除および奨学金(日本学生支援機構の奨学金や返還猶予)の対象にはなりません。

教育訓練給付制度

本学通信教育部科目等履修生(博物館学芸員課程)は、教育訓練給付制度(一般教育訓練給付)の指定講座です。

教育訓練給付制度は、厚生労働省が実施している雇用対策事業のひとつです。受講を開始する段階で厚生労働省の定める条件を満たしている方が、指定講座を受講し修了すると、負担した受講費用の一部が、教育訓練給付金としてご自身の住所を管轄するハローワーク(公共職業安定所)を通じて支給されます。

次の(1)または(2)に該当する方が主な対象者です。

- (1) 受講開始日(2024年4月1日)で、雇用保険の一般被保険者である方のうち、支給要件期間(受講開始までの間に、同一の事業主の適用事業に引き続いて被保険者として雇用された期間)が3年以上の方。
- (2) 雇用保険の一般被保険者資格を喪失した日(離職日の翌日)以降、受講開始日(2024年4月1日)まで1年以上であり、かつ支給要件期間が3年以上ある方。

※ 初めて教育訓練給付金の支給を受ける方は、支給要件期間が1年以上あれば申請可能です。

※ 上記の(1)および(2)以外であっても支給対象となる場合、あるいは雇用保険の状況により支給を受けられない場合もあります。支給資格要件の詳細等については、必ず各自でハローワークまたは厚生労働省Webサイト等で確認してください。

※ ハローワークへの手続きは、受講修了日の翌日から原則として1ヶ月以内に受講者ご自身で行ってください。

※ 教育訓練給付金は、受講期間中に給付されるものではありません。

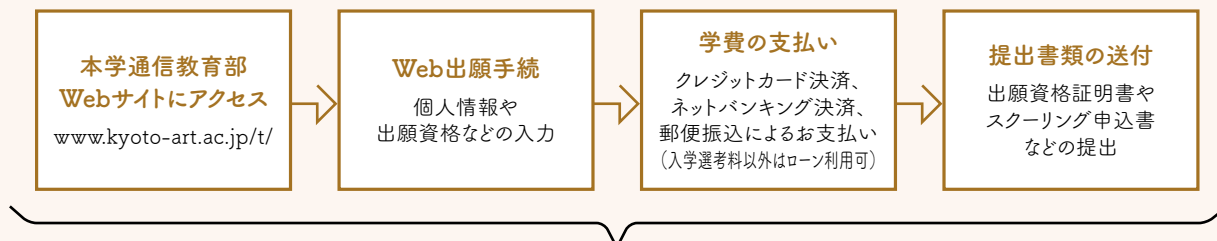
※ 法律が改正されて、内容等が変更されることがあります。入学時に配布する資料で改めて確認してください。

詳細は厚生労働省・教育訓練給付制度に関するWebサイトをご覧くださいか、ご自身の住所を管轄するハローワークへお問い合わせください。

出願手続

出願スケジュール

【出願手続】



【出願期間】

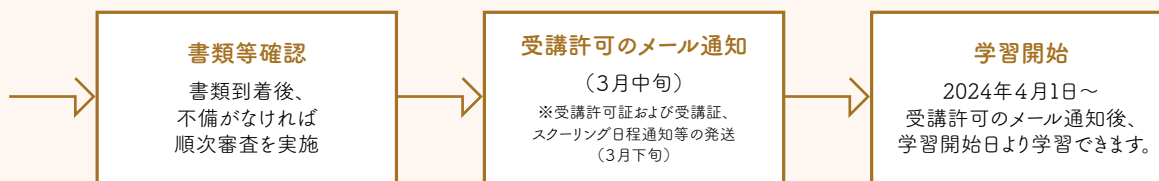


Web出願はこちらから

出願期間	2024年 1月15日(月) 10:00 ~ 2月16日(金) 17:00まで
提出書類の 受付期間	2024年 1月15日(月) ~ 2月16日(金) [消印有効]*

※海外からの送付の場合は【必着】です。[消印有効]ではありませんのでご注意ください。

【大学側の手続】



出願方法

出願手続はWebで行います。本学Webサイトにある「出願手続き」から出願学科・コース選択画面にて科目等履修「博物館学芸員課程」を選択後、画面上の注意事項・誓約内容を確認・同意のうえで、「出願手続きに進む」をクリックしてください。

Step1	個人情報の入力	入学志願書にあたるものですので正確に入力してください。顔写真データのアップロードが必要です。
Step2	出願資格の入力	89ページでご自身の出願資格を確認のうえ、入力してください。
Step3	アンケートの入力	志望動機などを入力してください。
Step4	入力内容の確認	入学志願書にあたるものです。間違いがないか再度よくご確認ください。
Step5	Web手続き完了	出願番号が表示されます。あわせて、ご登録のメールアドレスに受付内容と「学費の支払い」手続方法をお送りしますので、ご確認のうえ、引き続きお手続きください。
Step6	学費の支払い	「ご請求金額」を確認し、お手続きください。お支払いはクレジットカード、ネットバンキング、郵便振込からの選択です。
	提出書類の送付	出願に必要な書類のご案内です。画面に表示された書類を取り揃え、出願期間内に郵送(簡易書留速達)または窓口持参にて提出してください。

提出書類については95ページ

顔写真データ

学生証および学籍原簿に使用します。

5MB以下の証明写真画像ファイル 縦354px × 横295px推奨(タテ4cm×ヨコ3cm推奨)

※上半身脱帽、正面、背景なしで3ヶ月以内の撮影であるもの。



❗ 学費の支払いに関する諸注意

クレジットカード決済

志願者本人、もしくは家族、会社等でご契約されているクレジットカードでお支払いください。
VISA/MASTER/JCB/AMEX（2023年10月現在。JCB/AMEXは一回払いのみ）。
決済代行会社(株式会社ペイジェント)から大学が決済完了報告を受けた後、大学から登録メールアドレス宛に決済完了確認のメールを送信します。

ネットバンキング(銀行ネット)決済

志願者本人、もしくは家族でご契約されているネットバンキングでお支払いください。
<https://www.pay-easy.jp/>（みずほ銀行、三菱UFJ銀行、三井住友銀行、りそな銀行など1,400行以上。）
決済代行会社(株式会社ペイジェント)から大学が決済完了報告を受けた後、大学から登録メールアドレス宛に決済完了確認のメールを送信します。

【重要】決済の操作期限(クレジットカード決済、ネットバンキング決済)

決済サイトの画面には、支払操作のできる画面有効期限（10日間）が設定されていますので、期限内に支払操作を完了してください。
なお、画面有効期限を越えた場合はエラーとなり、支払操作ができなくなります。その場合は、通信教育部芸術学部願書受付係にメールでご連絡ください。

京都芸術大学 通信教育部芸術学部願書受付係 question@air-u.kyoto-art.ac.jp

郵便振込

「学費の支払い」の画面で大学指定口座への振込みを選択し、「提出書類について」の画面に表示される振込先口座番号や口座名義等を控え、郵便局・ゆうちょ銀行に備付の振込用紙に必要な事項を記入・ご入金の際「振替払込請求書兼受領証」のコピー※を提出してください。
なお出願期間後に入金されても受け付けられません。

※A4サイズの用紙の中央に受領証が来るようにし、等倍でコピーしたものを切りとらずにそのまま提出してください。

ローン利用

あらかじめローン審査を受け、審査結果が「許可」となってから出願してください。Web出願手続「学費の支払い」の画面で「ローン利用」を選択し、次の画面でローン受付番号と、ローン対象外の入学選考料（20,000円）の支払い方法を入力します。なお、ローン対象外の入学選考料はクレジットカード決済、ネットバンキング決済、コンビニ決済または郵便振込でのお支払いです（62ページ「学費ローン」参照）。なお、入学選考料の支払い方法を選択すると、決済代行会社の決済サイト画面に自動遷移します。

コンビニ決済

ローンをご利用の方のみ、コンビニ決済でお支払いいただけます（入学選考料（20,000円）のお支払いのみ）。

「お支払い番号」を以下のコンビニの端末・レジで入力してお支払いください。

ローソン、ファミリーマート、セイコーマート、デイリーヤマザキ、ミニストップ（2023年10月現在）。決済代行会社（株式会社ペイジェント）から大学が決済完了報告を受けた後、大学から登録メールアドレス宛に決済完了確認のメールを送信します。

【重要】

支払期限（10日間）が出願期間を越える場合でも、必ず出願期間内にコンビニの端末・レジでの支払いを完了してください。出願期間後に入金されても受け付けられません。なお、総額30万円を超える場合、コンビニ決済は利用できません。

提出書類

提出先

〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116 京都芸術大学通信教育部芸術学部願書受付係

窓口受付期間：月～土／9：00～17：00 ※日祝休

お問い合わせ先

出願前 ☎ 0120-20-9141 E-mail：tsushin@office.kyoto-art.ac.jp（通信教育課程入学課）

月～土／10：00～16：00 ※日祝休

出願後 Tel：075-791-9988 E-mail：question@air-u.kyoto-art.ac.jp（通信教育部芸術学部願書受付係）

開設期間：2024年1月15日（月）～3月30日（土）

月～土／10：00～16：00 ※日祝休

A. 出願資格証明書【必須】

出願資格を確認のうえ、**原則発行6ヶ月以内の証明書の正本（コピー不可、厳封は不要）**を提出してください（特別な事情がある場合は申し出てください）。

出願資格	必要な証明書（すべて提出）	備考
日本の大学	●成績証明書 ●卒業証明書	●成績証明書に入学年月、卒業年月の記載があれば、卒業証明書は不要です。 ●卒業見込で出願の場合、単位修得見込証明書と卒業見込証明書で可ですが、卒業確定後に確定した証明書を提出してください。 締切日：2024年4月5日（金）【必着】 〔本学通信教育部卒業（見込）の方〕 ●卒業生の方 「成績証明書」のみ提出してください。同書が卒業証明書も兼ねています。 ●卒業見込の方 「成績証明書（卒業見込証明書含む）」を提出してください。また、卒業確定後に成績証明書、卒業証明書を再度提出する必要はありません。
大学改革支援・学位授与機構から学士、修士、博士いずれかの学位を授与	●学位授与証明書（見込の場合は、学位授与申請受理証明書）	●出願時に学位授与申請受理証明書を提出した方は、学位が授与されることが確定次第、学位授与証明書を提出してください。 締切日：2024年4月5日（金）【必着】
日本の大学院	●成績証明書 ●修了証明書	●修了見込で出願の場合、大学院の単位修得見込証明書と修了見込証明書で可ですが、修了確定後に確定した証明書を提出してください。 締切日：2024年4月5日（金）【必着】

※見込証明書で受講許可が出ても、出願資格証明書が期日までに提出されなかった場合は、入学日に遡って受講許可を取り消すことになりますので、ご注意ください。
その場合、学費の返金はできません。

B. 2024年度科目等履修生（博物館学芸員課程）スクーリング申込書【必須】

Web出願「提出書類について」の画面にあるPDFを印刷、または81ページにある申込書をコピーし、必要事項を記入のうえ提出してください。スクーリングは申込人数により、第1希望の日程とならない場合があります。

C. 振替払込請求書兼受領証のコピー【該当者のみ】

Web出願の支払方法で郵便振込を選択した方は、郵便局・ゆうちょ銀行窓口備付の振込用紙（青色の文字）にてお振込後、そのコピーを提出してください。なお、振り込みの際は振込名義の後に必ず振込番号8桁を明記してください。振込番号は、支払い方法選択後に表示される「提出書類について」の画面に表示されます。

- コピーはA4用紙に受領証が用紙中央に来るように等倍でコピーし、切りとらずにそのまま提出してください。
- 学費ローンを利用する場合は、ローン対象外の入学選考料をお振込みください。
- 自動払込機（ATM）やネットバンキング、ゆうちょ銀行以外の銀行、本学窓口では納付できません。
- 学費の分納はできません。

※振込番号8桁の記入を忘れた場合は確認が遅れ、その分入学許可も遅れますのでご注意ください。

D. 戸籍抄本等【該当者のみ】

現在の氏名（戸籍上の氏名）が「提出書類 A. 出願資格証明書」に記載されている氏名と異なる場合は、それぞれが一致することを確認できる公的な書類（戸籍抄本、在留カードの両面、運転免許証の両面、年金手帳の氏名変更が記載されているページ等。各コピー可。証明書は発行6ヶ月以内のもの）を提出してください。戸籍抄本等は氏名変更の確認のみに使用します。

E. パスポートのコピーと在留資格証明書【該当者のみ】

外国籍の方は、パスポートのコピー（写真のあるページ）を提出してください。パスポートをお持ちでない場合、国籍を確認できる公的書類を提出してください。また、日本在住の場合、在留資格を証明する資料（在留カード・特別永住者証明書の両面のコピー）も提出してください。

F. 登録料免除証明書【該当者のみ】

①本学園を卒業・修了した方または2024年3月卒業・修了見込の方は、登録料が免除されます。本学園卒業・修了以外の学歴を出願資格とする場合は、本学園の卒業・修了証明書（卒業・修了証書のコピーは不可）を免除証明書として提出書類に同封するとともに、Web出願「出願資格」の入力画面にある「本学・併設校学歴」欄に必要事項を入力してください。免除証明書の提出が無い場合、免除は適用されません。また、②本学園の卒業・修了（見込）生の子女、③通学部在学生の保護者または学費支弁者が出願される場合も、登録料が免除されます。事前に通信教育課程入学課に確認事項をお知らせください。*

※【お問い合わせ先】通信教育課程入学課 tsushin@office.kyoto-art.ac.jp

件名:入学手続金の一部免除対象

本文:志願者(ご本人)の氏名、住所、電話番号、志望コース、メールアドレスと②③の場合は卒業・修了(見込)者または在学生の氏名、在籍学科、学年、学籍番号をご記載ください。

(93ページ「登録料の免除」参照)

❗ 出願に関する諸注意

本学大学院(通信教育)との重複出願・受講

本学大学院(通信教育)との重複出願や、本学大学院(通信教育)に在籍中の方は出願できません。

本学通信教育部(芸術教養学科・芸術学科・美術科・デザイン科)との重複出願・受講

本学通信教育部(芸術教養学科・芸術学科・美術科・デザイン科)との重複出願や、本学通信教育部(芸術教養学科・芸術学科・美術科・デザイン科)に在籍中の方は出願できません。

緊急連絡先の指定

万一に備え出願時に緊急連絡先を指定いただきます。緊急連絡先を入力・記入する際は、下記3点に留意してください。

- 緊急連絡先(日本国内に限る)は、必ず志願者本人以外の方を指定してください。緊急連絡先へは、大学から学生本人への緊急連絡が必要な際に連絡がつかない場合や、スクーリング受講中の事故等、就学上支障をきたすと判断される状況において、ご連絡を差し上げることがあります。
- 緊急連絡の必要性から、緊急連絡先として指定する方が携帯電話をお持ちであれば、必ず携帯電話の番号を入力・記入してください。
- 緊急連絡先となる方に、あらかじめ上記2点について説明し、了解を得ておいてください。

記入または入力不備・書類不備

出願時に入力・記入間違いや漏れ、あるいは提出書類に未提出や発行日が古い等の不備がある場合は、書類審査を開始できず、入学許可が遅くなるだけでなく、入学不許可になることがあります。

不備がある場合は、不備が補完された日が出願書類の受理日となり、書類審査開始となります。

旧字体等

お名前、ご住所に旧字体等が含まれている場合は、常用漢字の代替文字にて対応させていただきますので、あらかじめご了承ください(例:高→高、吉→吉など)。また、使用する文字フォントのバージョンは『JIS2004(JIS X 0213:2004)』に統一しています。これにより、一部字体が変更される場合があります(※辻→辻、※芦→芦など)。

氏名の通称

氏名は戸籍上のものに限ります。通称は認めません。在留資格「永住」の方はこの限りではありませんが、通称と出願資格証明書記載の氏名、出願時の氏名とが一致する公的な証明書を提出してください。

- 障がい等の理由で通称名使用を希望する場合は、必ず出願前に通信教育課程入学課(tsushin@office.kyoto-art.ac.jp)へご相談ください。

氏名登録可能な文字種

氏名として登録できる文字は、漢字、ひらがな、カタカナです。アルファベット表記はできません。

住所等の変更

出願後に、住所や電話番号等に変更が生じた場合は、すみやかに通信教育部芸術学部願書受付係にメールで連絡してください。また、住所変更の場合は郵便局へ転居届を提出してください。大学からの重要な送付物（学生証等）が届かなくなります。

京都芸術大学 通信教育部芸術学部願書受付係 question@air-u.kyoto-art.ac.jp

本学園卒業・修了生(卒業・修了見込含む)の登録料免除の手続方法

- Web出願「出願資格」の入力画面にある「本学・併設校学歴」欄に必要な事項を入力してください。
- 本学園卒業・修了以外の学歴を出願資格とする場合は、97ページ「提出書類 F.登録料免除証明書」の提出が必要です。
- 学費から、該当の免除金額（登録料30,000円）を差し引いた金額をWeb出願「学費の支払い」画面よりお支払手続をしてください。
- 学費ローンを利用する場合は、入学選考料のみローン対象外です。

受理通知(メール)

出願後、Web出願を受け付けた旨のメール(件名：Web出願を受け付けました[airU])を送信します。

Web出願登録後、1日経過してもメールが届かない場合は、以下へ氏名、生年月日、住所を明記し、メールが届かない旨を連絡してください。

京都芸術大学 通信教育部芸術学部願書受付係 question@air-u.kyoto-art.ac.jp

提出書類の返却

提出された書類は、理由の如何に関わらず返却しません。

窓口での書類提出

通信教育部芸術学部願書受付窓口（京都瓜生山キャンパス人間館中2階）で提出することもできます。ただし、学費は窓口では納付できませんので、あらかじめWeb出願および学費の支払いを済ませてください。

窓口受付時間：月～土／9：00～17：00 ※日祝休

定員もれの場合

定員に達し募集を締め切り、定員もれとなった場合は、学費の全額を返還します。返還のための振込手数料は大学が負担します。

受講が不許可になった場合

選考の結果、受講不許可となった場合(例.受講資格を満たさなかった場合や、提出書類・出願書類の不備・不足が補完されなかった場合等)は、入学選考料を除く入学手続金を返還します。返還のための振込手数料は、ご本人負担です。

受講辞退

諸事情により、出願後に辞退する場合（受講許可となった方は受講許可通知メールの送信日から10日以内）、通信教育部芸術学部願書受付係に連絡してください。受講辞退の手続方法をご案内し入学選考料を除く学費を返還します。返還のための振込手数料は、ご本人負担です。

【重要】

受講許可となった場合、受講許可通知メールの送信日から10日を過ぎた場合や、期間内であってもすでに受講を開始している場合の受講辞退のお申し出は受け付けられません。この場合、理由の如何にかかわらず学費は返還できません。

出願後は 出願を受け付けた旨のメール送信時とします。

京都芸術大学 通信教育部芸術学部願書受付係 question@air-u.kyoto-art.ac.jp

個人情報の取扱い

本学では、個人情報保護の重要性を認識し、個人情報保護に関する法令を遵守するとともに、適法かつ適正に個人情報を取り扱います。個人情報については、出願手続処理、学籍管理、教学運営、個人を特定しない統計資料作成のみに使用します。

委託業者において業務を行うことがありますが、本学が明示する用途のみに使用します。

資格取得に必要な履修単位数

履修科目	単位数	
	必修	選択
1. 博物館法施行規則に定める科目	19単位	0単位
2. 関連科目	0単位	8単位
履修科目単位数合計	19～27単位	

資格取得に必要な履修科目

本課程は、博物館法施行規則に定める科目のTR（テキストレポート科目）と「博物館実習1～3」（合計11日間）のS（スクーリング科目/対面授業）の合計19単位の修得をもって修了となります。

また、選択科目としてWS（Webスクーリング科目）も履修することができます。

博物館法施行規則に定める科目（必修）

博物館法施行規則に定める科目	本学開講授業科目名	履修形態	単位数
博物館概論	博物館概論	TR	2
博物館経営論	博物館経営論	TR	2
博物館資料論	博物館資料論	TR	2
博物館情報・メディア論	博物館情報・メディア論	TR	2
生涯学習概論	博物館生涯学習概論	TR	2
博物館教育論	博物館教育論	TR	2
博物館実習	博物館実習1(事前指導)	S	1
	博物館実習2(館園実習)	S	1
	博物館実習3(事後指導)	S	1
博物館資料保存論	博物館資料保存論	TR	2
博物館展示論	博物館展示論	TR	2
必要単位数合計			19

関連科目（選択）

科目名	履修形態	単位数
芸術史講義(日本)1	WS	2
芸術史講義(日本)2	WS	2
芸術史講義(ヨーロッパ)1	WS	2
芸術史講義(ヨーロッパ)2	WS	2
必要単位数合計		8

※関連科目では、日本、ヨーロッパの造形芸術に関する教養を深めます。必修科目に加え、本課程修了後に幅広い活動に活かせる内容ですので、できる限り履修することをおすすめします。

履修にあたって

インターネット接続環境が整ったパソコンの所有と基本操作能力

本課程は、Webを利用した自宅学習を主な学習手段としています。よって、インターネット接続環境が整ったパソコンの所有と基本操作能力が必要です。(104ページ「システム要件」を参照)

スクーリング(対面授業)への出席

「博物館実習」(計3単位)の単位修得には、合計11日間のスクーリングへの出席が必要です。「博物館実習」は、京都瓜生山キャンパス、東京外苑キャンパス、京都瓜生山キャンパスにある芸術館(博物館相当施設)および本学附属康耀堂美術館(長野県茅野市)で行います。他館での実習は認められません。

既修得単位の認定

本課程は相互に関連する科目群からカリキュラムが構成されているため、本課程の科目をすべて修得する必要があります。そのため、他大学や高等専門学校、専修学校専門課程(専門学校)で修得された単位を本課程で修得した科目として既修得単位認定することはできません。

一方、以前に本学(通信教育部・通学部・科目等履修)で修得した単位のうち、「博物館法施行規則に定める科目」については既修得単位として認定の対象となります。既修得単位認定を希望する場合は、入学後に申請できます。なお、「関連科目」は既修得単位認定の対象外です。

履修形態

本課程では、学習用Webサイト「airU(エア・ユー)マイページ」(102ページ参照)で学習を行います。博物館法施行規則に定める科目(必修)は、「TR(テキストレポート科目)」と「S(スクーリング科目)」の2つの学習形態を組み合わせ、基礎的知識と実践能力を身につけます。また、選択科目として、「WS(Webスクーリング科目)」も履修できますので、多面的に学びながら資格取得できます。

テキスト科目	TR(テキストレポート科目)	自宅学習	レポート課題と単位修得試験がある科目	必修
スクーリング科目	S(スクーリング科目)	対面/遠隔授業	対面/遠隔授業のある科目	
	WS(Webスクーリング科目)	自宅学習	Web上での動画学習とレポート提出がある科目	選択

TR(テキストレポート科目)



TR科目開講予定(2024年度)

		春期			夏期			秋期			冬期		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
TR	テキストレポート科目	レポート 4/21~ 4/30		試験 6/1~ 6/8	レポート 7/21~ 7/30		試験 9/1~ 9/8	レポート 10/21~ 10/30		試験 12/1~ 12/8	レポート 1/21~ 1/30		試験 3/1~ 3/8

※基本日程を記載しています。暦の関係上等で一部前後する場合があります。

レポート課題

テキストを読み、あたえられた課題についてレポート(3,200文字程度/2単位科目)を作成。レポート合格後に、単位修得試験を受験できます。

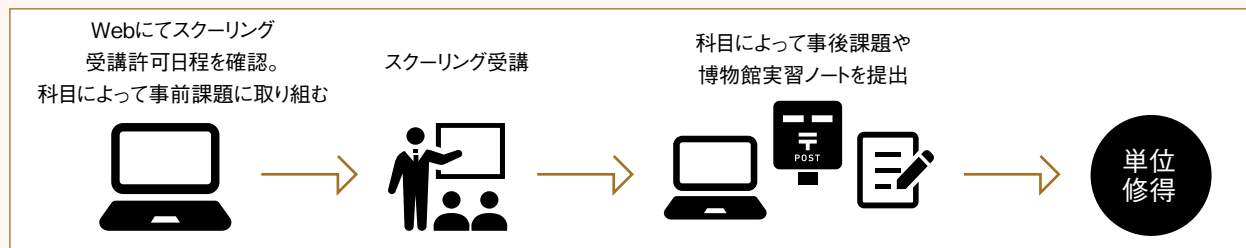
本課程は日本の博物館に勤務する専門職としての学芸員資格の取得を目指すカリキュラムとなっています。そのためTR科目のレポート課題では、原則として日本の博物館を調査対象としてください。

※テキスト代は別途必要(86ページ参照)。

単位修得試験

レポート合格後、単位修得試験を受験可能です。1科目につき、60分間の論述形式(あたえられた課題について自らの考えを述べる形式)で、本人認証を経て学習用Webサイト「airUマイページ」で受験します。単位修得試験の合格により、履修科目の単位が修得できます。

S (スクーリング科目)



博物館実習

博物館実習は、博物館に相当する施設（大学においてこれに順ずると認められた施設を含む）における実習において修得するものと定められています。「博物館実習」（計3単位）は「博物館実習1（事前指導）」（1単位／3日間）・「博物館実習2（館園実習）」（1単位／5日間）・「博物館実習3（事後指導）」（1単位／3日間）のスクーリングを受講および事前・事後課題を提出することにより単位が認定されます。「博物館実習1・3」では学外館見学を行います。受講地に関わらず近隣の府県にて実施する可能性があります。

なお、本課程の実習カリキュラムは主に人文系博物館、とくに美術館の学芸員として必要な業務内容が中心です。「博物館実習1（事前指導）」、「博物館実習2（館園実習）」は、初日のみZoomによる遠隔授業を予定しています。

スクーリング日程(科目等履修生)

スクーリング	開講日程	開講地
博物館実習1 (事前指導)	4/6(土)、6/8(土)~6/9(日)	東京(初日のみ遠隔)
	4/13(土)、6/15(土)~6/16(日)	京都(初日のみ遠隔)
博物館実習2 (館園実習)	8/31(土)~9/1(日)	東京(初日のみ遠隔)
	9/7(土)~9/9(月)	長野(康耀堂美術館)
	8/31(土)~9/1(日)	東京(初日のみ遠隔)
	9/14(土)~9/16(月)	長野(康耀堂美術館)
	9/25(水)~9/29(日)	京都(初日のみ遠隔)
	9/25(水)~9/26(木) 10/5(土)~10/7(月)	京都(初日のみ遠隔)
博物館実習3 (事後指導)	11/29(金)~12/1(日)	東京
	12/6(金)~12/8(日)	京都

スクーリング科目の開講時間

原則9:30~17:40です。ただし、学外での開講については、開始・終了時間が異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

スクーリング科目の受講に伴う交通・宿泊

スクーリング科目の受講に伴う交通費・宿泊費は自己負担です。交通手段や宿泊先の手配は各自で行っていただき、スクーリング開講地へ現地集合していただきます。なお、スクーリング科目の開始時間は9:30（学外の場合は変更あり）のため、遠方からお越しになる方は前泊が必要です。

「博物館実習2(館園実習)」

「博物館実習2(館園実習)」では、京都瓜生山キャンパス内にある芸術館(博物館相当施設)もしくは、長野県茅野市にある本学附属康耀堂美術館で実習を開講します。学外の博物館・美術館の実習に申し込むことや、学外の館で実習を受けたものを単位認定することはできません。また、開講地によって実習内容が異なります。出願時には、以下の内容を参考に「スクーリング申込書」の希望欄を記入して提出してください。

● 東京(2日間)+長野(3日間)

本学附属康耀堂美術館(長野県茅野市)にて、入場料を必要とする本格的な展覧会(秋季展)の設営を行います。

● 京都(5日間)

京都瓜生山キャンパス内にある芸術館(博物館相当施設)にて、展覧会の展示プランの立案や設営を行います。

*状況により一部遠隔授業(104ページ「遠隔授業」参照)実施の可能性があります。

こうようどう 康耀堂美術館

康耀堂美術館は2001年7月に佐鳥電機株式会社前会長佐鳥康郎氏の個人美術館として緑豊かなハヶ岳の麓、長野県茅野市に開館いたしました。蓼科高原の入り口、6,000坪の森の中に佇むこの美術館は、日本画家高山辰雄画伯の作品を中心に、近現代の日本画・洋画作品300点あまりを収蔵しています。2004年10月に佐鳥康郎初代館長が急逝した後、2005年8月より京都芸術大学が運営を引き継ぎました。新館長に日本画家として国際的に活躍している千住博(本学教授)が就任し、大学附属美術館として2006年4月、新たに開館いたしました。
[康耀堂美術館: <http://www.koyodo-museum.com/>]

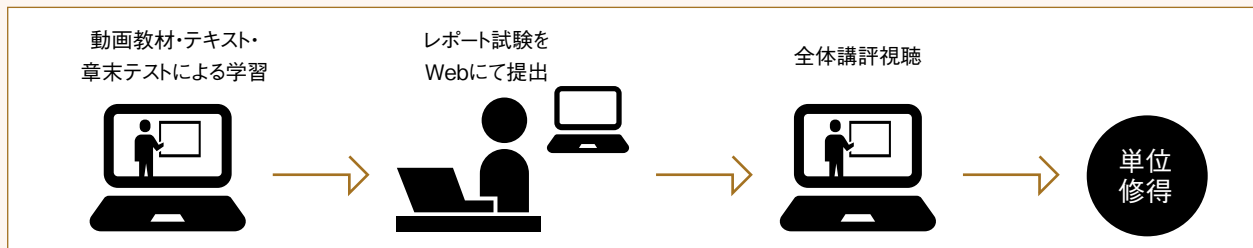
「博物館実習2(館園実習)」(長野(康耀堂美術館))に伴う交通・宿泊

本学附属康耀堂美術館(長野県茅野市)にアクセス可能な公共交通機関は、JR茅野駅(最寄り駅)発のバスのみであり、実習の開始・終了時間に合う時間帯にはバスが運行されておりません(2023年現在)。

康耀堂美術館にて開講する「博物館実習2(館園実習)」のみ、ご希望の方は、旅行会社における送迎バス付き宿泊プランをご利用いただけます(募集定員あり、先着順)。こちらには、JR茅野駅～康耀堂美術館、康耀堂美術館～宿泊先の送迎サービスが含まれております。なお、宿泊プランの代金は自己負担です。

また、上記の宿泊プランをご利用されない方を対象に、最終日の実習終了後の交通手段として、康耀堂美術館発→JR茅野駅着の貸切バスを本学にてご用意いたします。なお、貸切バスのご乗車代金は無料です。

WS(Webスクリーニング科目)



動画教材とテキストを組み合わせる学習します。動画教材を視聴し終わったら、レポート試験を提出し、「全体講評」動画を視聴することで、すべての授業が終了します。レポート試験のボリュームは科目により異なりますが、800～1,600字程度です。

WS科目開講予定(2024年度)

		春期			夏期			秋期			冬期		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
WS	Webスクリーニング科目		レポート	全体講評		レポート	全体講評		レポート	全体講評		レポート	全体講評
			5/21～ 5/28	6/13～ 6/20		8/21～ 8/28	9/13～ 9/20		11/21～ 11/28	12/13～ 12/20		2/21～ 2/28	3/13～ 3/20

※科目により、「春期・秋期」または「夏期・冬期」の開講です。

※基本日程を記載しています。暦の関係上等で一部前後する場合があります。

学習支援体制

学習に関することや事務手続き上の疑問点については、学習用Webサイト「airUマイページ」・電子メールのいずれでも質問を受け付けています。

学習用Webサイト「airUマイページ」

本課程の主な学習環境となる専用サイトです。

[主な機能]

- 事務局からのお知らせ
- 科目の受講(質問・課題提出・評価・講評等)
- 学習スケジュールの作成・管理
- 履修状況の確認
- コンシェルジュ(質問フォーム)

くわしくは
YouTubeで
紹介中!



airUコミュニティ(通信教育課程専用SNSアプリ)

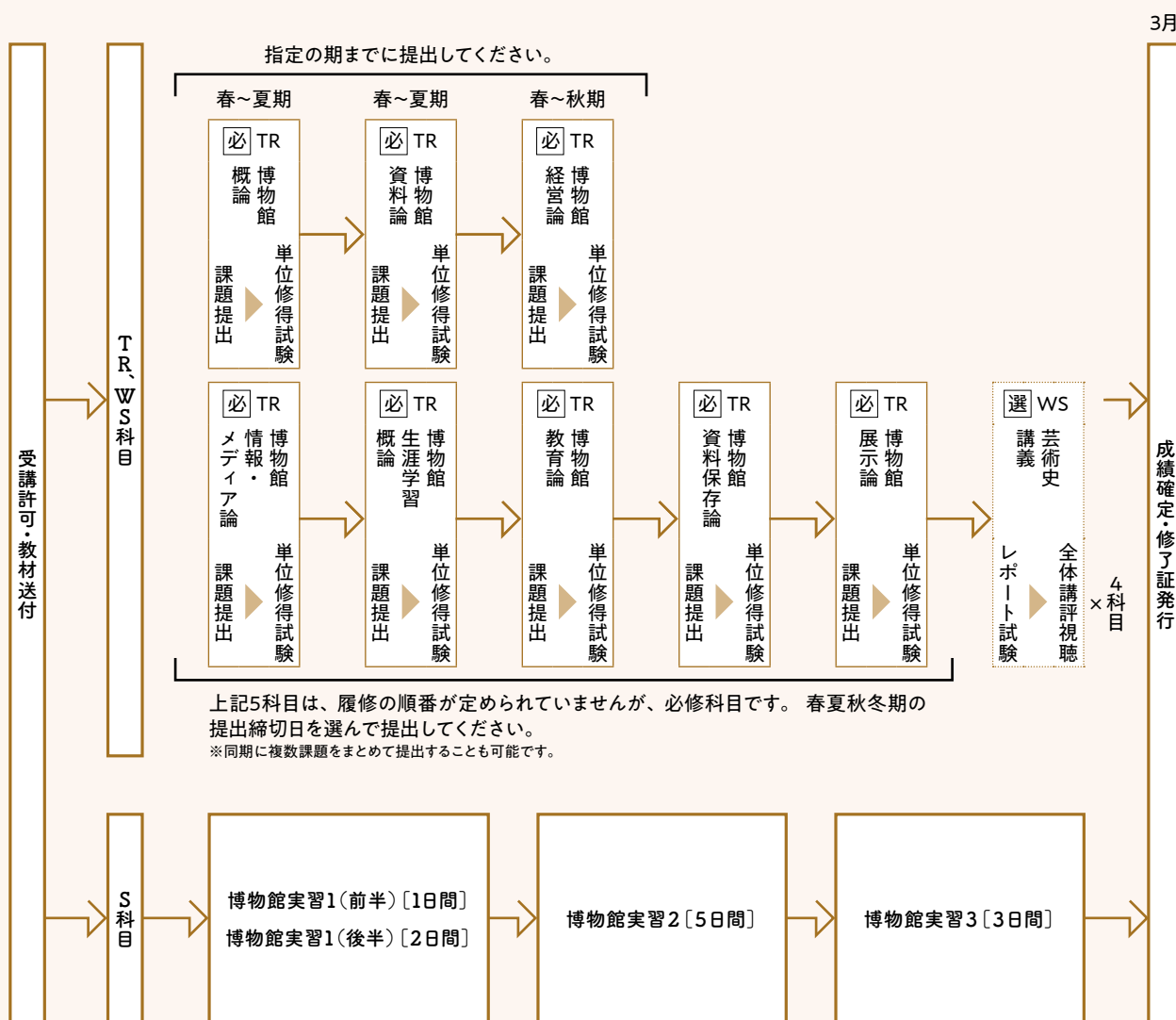
本学通信教育課程の在學生、卒業生、教職員専用のソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)です。事務局や学科・コースからのお知らせやイベント情報の確認ができ、コース内のコミュニティで教員や在學生と意見交換をしたり、学生同士や卒業生と自由にコミュニティを立ち上げ情報交換や交流ができます。スマートフォンにアプリをダウンロードしPUSH通知を有効にすると、必要な情報が通知されます。コミュニティにおける交流・学習は実名です。あらかじめご了承ください。

芸術文化情報センター(大学図書館)

図書貸出サービスは5冊を上限に2週間まで利用できます(受講期間内に限る)。

履修スケジュール

本課程では、1年間で学習を完結できます。また、課程修了、資格取得は年度末(3月末)です。1年間で修了できなかった場合は受講期間終了となり、再受講を希望する場合は再度出願する必要があります。



スクーリング科目における履修の前提条件

「博物館実習1(事前指導・前半)」以外は履修の前提条件が定められています。この条件を満たさないと、以下の科目は受講できません。

科目	履修の前提条件
博物館実習1 (事前指導・後半)	「博物館実習1(事前指導・前半)」を受講済み
博物館実習2 (館園実習)	「博物館実習1」を合格済み、「博物館概論」「博物館資料論」レポート課題を春～夏期(7月30日締切)に提出済み*、「博物館実習2」事前課題を提出済み
博物館実習3 (事後指導)	「博物館実習2」を合格済み、「博物館経営論」レポート課題を春～秋期(10月30日締切)に提出済み*

*提出済み…レポート課題の可否は問いません。

遠隔授業

遠隔授業とは、対面(大学等)ではなくオンラインで授業を受けることです。遠隔授業には主に以下の受講方法があります。

- Zoom(オンライン会議システム)等を利用したリアルタイムでの受講。
- 事前収録した動画を視聴(オンデマンド配信)。

本課程では、スクーリング日程の一部で遠隔授業の実施を予定しています。受講許可者には、受講に必要なZoomのIDやパスワード等をお知らせしますので、スクーリング開講日に指定のURLに接続またはミーティングルームに入室すれば、授業を受講できます。

システム要件

学習用Webサイト「airUマイページ」を利用して学習するにあたって、お持ちのパソコン等やネットワークが必要な環境を満たしているか、確認してください。また、パソコン等をお持ちでない方は、購入するなどしてご準備ください。

システム要件

デバイス	対象OS	ブラウザ
Windows PC	Windows 10、11	Google Chrome(推奨) Microsoft Edge
Mac PC	Mac OS 10.14 Mojave 以降	Google Chrome(推奨) Safari
iPhone・iPad	iOS 12 以降	Google Chrome(推奨) Safari
Android端末	Android 7 以降	Google Chrome(推奨)

*ブラウザはいずれも最新版を使用してください。

*ブラウザの設定で、Cookieを有効にする必要があります。Cookieが無効の場合、airUの一部が正常に動作しない場合があります。

*今後のOSやブラウザ、本学システムのバージョンアップに伴い、システム要件も変更となる場合があります。

システムの言語環境

海外でパソコンをご利用の場合は、日本語版OSのみご利用いただけます。また、ブラウザの設定も日本語に設定していただく必要があります。タブレットやスマートフォンの場合は、言語環境を日本語に設定していただく必要があります。

Q&A

よくあるご質問を
まとめました!



Q&A ～よくある質問～

入学全般

1 通信教育部は正規の大学ですか？

本学の通信教育部は文部科学省に認可された正規の4年制大学です。卒業すれば学士（芸術）の学位が授与されます。通学部とは学習形態が異なるだけで、教育水準や取得資格は同じです。（5ページ「授与される学位」参照）

2 入学試験はありますか？

入学試験はありません。出願書類による書類選考のみ行います。（5ページ「入学選考」参照）

3 入学の時期はいつですか？

芸術学科・美術科・デザイン科は4月入学のみです。
芸術教養学科は4月と10月の入学があります。（12、14、18ページ「出願期間」参照）

4 年齢制限はありますか？

2024年3月31日までに満18歳に達する方で大学入学資格があれば入学できます。18歳未満の方の場合、文部科学省の定める大学入学資格があれば入学できます。（5ページ「出願資格」参照）

5 高校を卒業していませんが、入学できますか？

本学通信教育部独自の特修生制度により入学の門戸を開いています。ただし、2024年3月31日までに満30歳に達する方を対象とします。（7ページ「特修生制度」参照）

6 他の学校等に通っていますが、入学できますか？

【出願できない方】

2024年4月1日（芸術教養学科の後期入学は2024年10月1日）以降に正科生として大学、短期大学、大学院、高等専門学校、高等学校の専攻科に在籍中の方、本学通信教育部科目等履修生の方。

【出願できる方】

専修学校専門課程（専門学校）、大学校、各種学校等に在籍中の方、他大学等の科目等履修生の方。（8ページ「二重学籍」参照）

7 卒業（学士取得）をめざしているわけではありませんが、入学できますか？

自分のペースや目的にあわせて学習できますので、入学できます。ただし、せっかく入学するので、卒業も視野に入れながらがんばってください。

8 最長で何年間在籍できますか？

1年次入学は9年間、3年次編入学は7年間です。（12～13、14～15、18～19ページ「在籍年限」参照）

9 芸術分野の経験がないのですが、やっていけるでしょうか？

未経験の方を前提としたカリキュラムですので、心配いりません。実際に毎年多くの未経験の方が入学されています。芸術が好きで、学びたいという気持ちが何よりも大切です。

10 志望コースとは異なる分野の大学の出身ですが、1年次入学した方がよいのでしょうか？

編入学資格をお持ちであれば、3年次編入学でご出願ください。3年次編入学の場合も、1年次入学と同様にコースの専門科目はすべて必修で、1年次配当科目から学習を進めていきます。専門科目以外の卒業に必要な総単位数は軽減されるので、編入学の方が専門分野の学習にじっくり取り組みます。(111ページ「学習方法」Q3、4参照)

11 いつ出願すればいいのですか？

出願期間内であればいつでも構いませんが、早く出願すれば4月1日(芸術教養学科の後期入学は10月1日)から余裕をもって学習を始められます。最短年数での卒業をめざす場合は、できるだけ早く出願することをおすすめします。(74ページ「学生証・教材等の送付時期」参照)

12 入学式はありますか？また、いつまでに出席すれば出席できますか？

4月7日(日)に京都瓜生山キャンパスで事前申込制(学生証が到着している方のみが対象)にて実施を予定しています。入学式の出席をお考えの場合、2月16日(金)までに提出書類が本学に到着するようご出願ください(ただし、入学式までに学生証をお送りすることを確約するものではありません)。出席は必須ではありませんが、節目の行事であり、新入生ガイダンスもあわせて行いますので、できるだけ出席してください。(44ページ参照)

後期(10月)入学の場合は、新入生ガイダンスのみ行います。

※入学式・対面ガイダンスは事前申込制にて実施を予定しています。申込者多数の場合は抽選となります。申込方法等、詳細は学生証と一緒に送りする「入学式・新入生ガイダンスのご案内」をご確認ください。出願時期により、お申込をお受けできない場合もありますので、入学式・対面ガイダンスの出席を希望される場合はお早めにご出願ください。

13 入学後、コースを変更することはできますか？

学習の目的や志向が変わった場合は、2年目以降にコース変更を認めています(在籍年限内に1回のみ)。なお、芸術教養学科の後期(10月)入学の方は学習期間が異なるためコース変更はできません。(57ページ参照)

14 事情により学習を続けることが難しくなった場合、休学できますか？

1年ごと(4月1日～翌年3月31日^{*})の休学制度があります。年度途中の休学や復学(学習の再開)はできません。(57ページ参照)

※芸術教養学科の後期(10月)入学の方は、10月1日～翌年9月30日

15 通学部に移ることはできますか？

一定の条件を満たしたうえで試験に合格すれば、本学通学部へ異動できる「転籍」の制度があります。なお、通学部は4月入学のみのため、芸術教養学科の後期(10月)入学の方は転籍できません。(57ページ参照)

16 自分の興味に従った科目を学習できる制度はありますか？

藝術学舎(一般公開講座)は、1講座から受講できます。なお、大学入学資格を持つ方が、本学入学前に藝術学舎の講座を受講し合格した単位は、入学後に単位認定を受けることができます。

藝術学舎 <https://air-u.kyoto-art.ac.jp/gakusha/> Tel 075-791-9124 (44ページ参照)

17 これまでに大学等で取った単位はどれくらい認定されますか？

【1年次入学】

入学後に単位認定を希望すれば、大学、短期大学、高等専門学校(専攻科)で修得した単位を、30単位を上限に本学の「総合教育科目」の単位として一括認定します。本学の単位認定は、他大学等での既修得科目と本学の科目とをひとつひとつ照合する個別認定ではありませんので、既修得科目と同じ名称の科目を本学で再度学習することもできます。(12、14、18ページ参照)

【3年次編入学】

3年次編入学の卒業要件は62単位以上(建築デザインは72単位以上)で、1年次入学の卒業要件124単位からそれぞれの卒業要件の単位を差し引いた単位数が免除されています。(13、15、19ページ参照)

18 海外で学習をすることはできますか？

可能です。ただし、本学からのすべての送付物（郵便・宅配物）の宛先は日本国内に限定しています。海外への送付を希望する場合は各自で日本国内の中継先（連絡先）を確保し、出願時に本人現住所として記載してください。なお、スクーリング（Web受講を除く）は日本国内で受けなければなりません。（8ページ参照）

学費

1 費用は1年間でどれくらいかかりますか？

学科・コースごとに異なります。該当ページをご覧ください。（22～23ページ「学費早見表」参照）

2 学費はどのように支払うのですか？

入学後の諸費用（スクーリング受講料、教材費等）は、出願時に登録していただく金融機関の口座から引き落しです。引き落としにあたっては事前に引落明細をお知らせします。

ただし、2年目以降の授業料は、引き落とし以外にクレジット決済・ネットバンキング決済・コンビニ支払い・ローンを選択できます。（26ページ参照）

3 学費の分納はできますか？

分納はできませんが、オリエントコーポレーションの学費ローンを利用できます。（62ページ「学費ローン」参照）

4 奨学金制度はありますか？

入学後に申請できる奨学金制度があります。ただし、毎月決められた金額の奨学金が貸与される奨学金制度はありません。（60ページ参照）

5 卒業が延びてしまう場合、授業料はどうなりますか？

学習を継続する場合は授業料（年間学費）、休学する場合は休学料が必要です。（57ページ参照）

6 学割は使えますか？

スクーリング等に出席する場合、JRの学生割引が利用できます。

その他、学生証の掲示等により美術館・映画館等の料金が学割対象となる場合があります。その都度各自で確認してください。なお、科目等履修生（博物館学芸員課程）は学割の対象外です。（61、86ページ参照）

学生生活

1 大学の施設は使えるのですか？

京都瓜生山キャンパスでは、スクーリングの時はもちろん、スクーリングがない時でも、図書館、学生食堂、ラウンジが利用できます。また東京外苑キャンパスでは、開館時間内であればいつでも、参考図書等を閲覧できるライブラリーコーナーを利用できます。

※特殊な設備がある実習室は原則として貸出を行っていません。講義室は学習会単位で貸出を行います（要申込）。個人への教室貸出は行っていません。

2 就職の相談はできますか？

手続を行えば通学部生と同様、キャリアデザインセンターが利用できます（京都瓜生山キャンパス／平日のみ）。個別相談（オンライン／対面）は要予約です。また、大学専用履歴書のダウンロードや求人票の閲覧、OB/OGの作成したポートフォリオの閲覧が可能です。なお、再就職や転職の相談・あっせんは行っていません。なお、利用対象は新卒に相応する方（卒業見込み時に年齢が27歳までで勤務経験がない方）です。

出願

1 Web出願での手続きは、すべてWebで完了できますか？

出身学校の各種証明書は原本を郵送または持参いただく必要があります。その他の手続きはすべてWebで完了できます。(68ページ参照)

2 出願登録しても、「出願画面のURL」を記した大学からのメールが届きません。

ご使用の端末機器やご利用の通信会社の設定にて迷惑メールと認識された可能性があります。

「@air-u.kyoto-art.ac.jp」が着信できるように設定変更のうえ、通信教育部芸術学部願書受付係 (question@air-u.kyoto-art.ac.jp) にメールでご連絡ください。(76ページ参照)

※ご自身で設定されていないでも、工場出荷段階で予め設定されている場合や、ご利用の通信会社にて予め設定されている場合があります。ご不明な場合は端末機器の購入店またはご契約の通信会社へご確認ください。

3 出願時に提出する証明写真はスマホで撮影したものでもよいですか？

スマホでの写真は可ですが、5MB以下の画像のみアップロード可能です。写真は、証明写真に準じ、上半身脱帽、正面、背景なしで3ヶ月以内に撮影したものをアップロードしてください。

4 口座振替登録をWebで行う場合、利用条件や事前に用意するものはありますか？

金融機関によって利用条件や必要なものは異なりますが、例えば以下の点が登録時の必要条件となることがあります。

- ・当該金融機関のキャッシュカードを持っていること
- ・当該金融機関のネットバンキングを契約していること
- ・Web手続き画面での預金残高の入力
- ・Web手続き画面での各種暗証番号の入力

条件は金融機関によって異なりますので、金融機関窓口にお問い合わせください。窓口での口座振替登録は行っても、SMBCのWebによる口座振替登録サービスが利用できない金融機関もあります。(69ページ「Webによる口座振替登録の注意点」参照)

※各種暗証番号や預金残高はご利用の金融機関が求めるものであり、大学に情報が開示されることはありません。

5 Webによる口座振替登録を入力してもエラーと表示され、手続を完了できません。

本学へのご出願では使用できても、SMBCのWebによる口座振替登録サービスにて使用できない氏名の漢字が含まれていると思われます。志願者ご自身では修正できませんので、通信教育部芸術学部願書受付係 (question@air-u.kyoto-art.ac.jp) にメールでご連絡ください。氏名の漢字を代替文字に変更いたします。

例) ×高→○高 ×崎→○崎(69ページ参照)

6 Webによる口座振替登録で希望する金融機関名が表示されません。いつも口座振替で使用している金融機関ですがなぜ表示されないのですか？

口座振替手続きは店舗受付のみで、SMBCのWebによる口座振替登録サービスが利用できない金融機関もあります。その場合は振替口座を指定される金融機関を変更するか、通信教育部芸術学部願書受付係 (question@air-u.kyoto-art.ac.jp) にメールでご連絡ください。(69ページ参照)

7 卒業証明書や成績証明書に記載されている氏名と、現在の氏名が異なります。どうすればいいですか？

戸籍抄本等、氏名変更が確認できる公的な書類を1通提出してください。卒業証明書や成績証明書は卒業時点での氏名が記載されています。その後、氏名が変わった場合は、戸籍抄本で証明書記載の氏名と願書に記載された現在の氏名とを照合し、同一人物であることを確認します。

戸籍抄本は居住地ではなく本籍地の役所でのみの発行です。遠隔地の場合、郵送等での発行申請となれば、書類が届くまでに時間を要するため、早めの手続きが必要です。

なお、戸籍抄本は6ヶ月以内の発行であればコピーによる提出もできます。(72ページ参照)

8 出願後に出願内容を変更することはできますか。

出願後に学科やコース、入学形態(1年次入学または3年次編入学)は変更できません。

コースを迷っている場合は、入学説明会等に参加し、学ぶ内容をよくご確認のうえ、ご自身の学習の指向とあわせて、じっくりと検討いただくことをおすすめします。

9 1年次入学で出願しましたが、既修得単位認定の申請はどうすればいいでしょうか。

入学後に一定期間を設けて申請を受け付けています。詳細は、学習方法や各種申請手続き等をお知らせしているWeb上の「airU学習ガイド」でご確認ください。

10 学生証や教材はいつ届きますか。

入学許可のメール通知後、学生証を約10日間で発送します。

【教材の発送】芸術教養学科、文芸コース、アートライティングコース、書画コース、イラストレーションコース、映像コース、食文化デザインコースは教材の一斉送付はありません(Webから各自入手。一部の科目は本学に個別請求)。その他のコースは提出書類の本学到着時期により教材の送付時期が異なります。

なお、書類に不備等があった場合は不備が解消された時点が基準日となります。各種書類や教材の送付の時期も遅くなりますのでご注意ください。(74ページ「学生証・教材等の送付時期」参照)

教材・機材等

1 テキスト(教科書)代等の教材費はかかりますか？

テキスト・教材費は有料です。コースにより一括で購入する教材や、科目により必要な参考文献、画材・用具等も各自購入です。テキスト代は科目により異なります。総合教育科目、学部共通専門教育科目(必修科目除く)、資格関連科目(博物館学芸員課程)のテキストは有料(1冊数百円から6,000円程度)です。総合教育科目のテキストは電子テキストもありますが、書籍として市販されているものがほとんどです。書店で購入したり、図書館等で借りて学習することも可能です。専門教育科目のテキスト代は学科・コース、また購入形態(電子書籍またはオンデマンドブック)により異なります。(28～30ページ「テキスト・教材・機材費」参照)

例)卒業まで標準的な履修をした場合のテキスト代(印刷製本版)

【洋画コース1年次入学の場合】

総合教育科目	約 35,000円	27科目54単位
学部共通専門教育科目	約 20,000円	10科目20単位
コース専門教育科目	約 16,000円	4科目8単位
計	約 71,000円	

【芸術教養学科】

専門教育科目(一部の選択科目を除く)の電子テキスト代は授業料に含まれています。印刷製本版は有料(各自購入)です。一部選択科目にて指定されている大学オリジナルテキストについては、学習用Webサイト「airUマイページ」上の電子テキスト(PDFビューワー)を使用します。印刷製本版をご入手されたい場合、大学購買部「ADストア」より購入、または学習用Webサイト「airUマイページ」より大学へ個別請求できます(有料)。

【芸術教養学科以外】

必修科目(コース専門教育科目、学科専門教育科目)の指定テキストは、各自購入です。一部科目では大学へ個別請求(有料)するものがありますが、基本的に電子版の場合はAmazonが運営している電子書籍ストア「Kindleストア」等で、印刷製本版の場合はオンデマンドブック(POD)をWebで各自購入します。電子書籍やオンデマンドブック(POD)はインターネット上のみで購入可能です。

※イラストレーションコースのコース専門教育科目は、購入が必要なテキストはありませんが、総合教育科目、学部共通専門教育科目のテキストは大学へ個別請求(有料)、または各自購入となります。

2 教材はどのように手元に届きますか？

【芸術教養学科・文芸コース・アートライティングコース・書画コース・イラストレーションコース・映像コース・食文化デザインコース】教材の一斉送付はありません(Webから各自入手)。

※文芸コース、アートライティングコース、書画コース、イラストレーションコースでは一部の科目は本学に個別請求するものがあります。

【芸術学科・美術科・デザイン科】

初年度に、各コースガイドと専門教育科目で課題提出に必要なダンボールや封筒等の教材を、「一斉送付教材」としてセットで無料送付します。必修科目(コース専門教育科目)の指定テキストは、各自購入です(28～30ページ「テキスト・教材・機材費」参照)。また、一部科目のテキスト・教材は学習用Webサイト「airUマイページ」より年間を通じて大学へ個別請求できます(有料)。(36、74ページ参照)

※ダンボールや封筒等の送付がないコースもあります。

※学習ガイド・シラバスはWeb版のみです。

※一部コースでは初年度にテキストを配本します。ただし、在学中に指定テキストの変更があれば、新しく指定されるテキストは各自購入いただく必要があります。

3 パソコンを用意する必要がありますか？

すべての学科・コース・課程で学習用Webサイト「airUマイページ」を利用して学習しますので、インターネット接続環境が整ったパソコンが必要です。アプリケーションを使用するなど別途要件を指定しているコースもあります。(31～34、38ページ参照)

4 パソコン、画材や用具などはいつまでに準備すればよいでしょうか？

パソコンは4月中をめぐにご準備いただければ結構です。心配でしたら、4月の新入生ガイダンスに参加してから購入しても問題ありません。ただし、入学時より学習用Webサイト「airUマイページ」で様々な情報を提供しますのでWeb閲覧ができる環境はできるだけ早めにご準備ください。また、画材や用具などは入学後、シラバスや新入生ガイダンスを通じて詳細を説明しますので、入学前にそろえておく必要はありません。(31～34、38ページ参照)

5 パソコンについて、どの程度の操作能力が必要ですか？

文字入力やファイルのアップロード、インターネット閲覧、メールの送受信等、基本的な操作ができれば問題ありません。入学後、新入生ガイダンス等でも本学学習システム利用に関する基本的な操作方法を説明する機会を設けます。

学習方法

1 いつから学習を始められますか？

4月1日(後期入学生は10月1日)以降かつ入学許可後に学習を始めることができます。出願時の提出書類の本学到着時期により学生証や教材の送付時期が異なりますので、74ページの表でご確認ください。

2 どのように学習を進めていくのですか？

学習の流れは大きく以下の通りです。

- ① 「airU学習ガイド」「シラバス」「コースガイド(芸術教養学科・アートライティングコース・書画コース・イラストレーションコース・映像コース・食文化デザインコース以外のコース)」で卒業までに必要な単位数や必修科目、各科目の受講日程や提出締切を確認する。
- ② 1年目の履修計画を立てる。
- ③ 取り組む科目のシラバスをよく読み、学習を始める。(36ページ参照)

3 カリキュラムはどのような仕組みになっていますか？

カリキュラムは「総合教育科目」(一般教養)と「専門教育科目」からなります。

【1年次入学】

「専門教育科目」と「自由選択(一般教養など)」が約半分ずつで卒業までに合計124単位以上。

専門教育科目60単位 ^{*1} 以上	自由選択(一般教養など)64単位 ^{*2} 以上
-----------------------------	-----------------------------------

【3年次編入学】

「専門教育科目」を60単位以上^{*1}と自由選択2単位以上で卒業までに合計62単位^{*3}以上。

専門教育科目60単位以上と自由選択(一般教養など)2単位以上 ^{*4}	一般教養の単位が免除されるため、専門教育科目に集中!
--	----------------------------

※1：建築デザインコースは70単位。 ※2：建築デザインコースは54単位。 ※3：建築デザインコースは72単位。

※4：建築デザインコースは専門教育科目70単位と自由選択2単位以上、美術科は専門教育科目52単位と自由選択10単位以上。

(12～15、18～19ページ「卒業要件」参照)

4 3年次編入学では、1・2年次の科目を省いて学習するのですか？ 学科・コース専門科目の学習は1年次から学習できますか？

3年次編入学の場合も専門教育科目は1年次の基礎にあたる科目からすべて取り組み、学習します。ただし、配当年次が決められている科目はその年次に達しないと履修できません。(46～57ページ「履修科目一覧」参照)

5 卒業するまでにどれくらいのペースで学習すればよいのですか？

「卒業研究」「卒業制作」に着手するために、着手の前年度終了時点(芸術教養学科、文芸コース、アートライティングコース、書画コース、イラストレーションコース、映像コース、食文化デザインコースは、着手の前の期終了時点)で修得しておくべき単位数等の条件が決められています。1年次入学で4年間での卒業をめざすには、3年間でこの条件を満たす必要があり、1年間につき30単位～40単位が目安です。最短年数での卒業をめざす場合は、一定のペースで持続的に学習しなければなりません。もちろん、在籍年限内に自分のペースでゆっくと学習することもできます。

参考：専門教育科目学習ペースのイメージ

入学形態	1年目		2年目		3年目	4年目	
1年次入学	1年次専門教育科目		2年次専門教育科目		3年次専門教育科目	条件あり	4年次専門教育科目 卒業研究 卒業制作
3年次編入学 芸術教養学科 文芸、アートライティング、 書画、イラストレーション、 映像、食文化デザインコース	1～3年次専門教育科目			条件あり	4年次専門教育科目 卒業研究 卒業制作		
3年次編入学 芸術学科 (文芸、アートライティング除く)	1～3年次専門教育科目		条件あり	4年次専門教育科目 卒業研究			
3年次編入学 美術科、デザイン科 (書画、イラストレーション、 映像、食文化デザイン除く)	1年次専門教育科目	2年次専門教育科目	条件あり	3年次専門教育科目	4年次専門教育科目 卒業制作		

※4年次の「卒業研究」「卒業制作」に着手するためには、1～3年次の専門教育科目を修了しなければなりません。

※この図では総合教育科目については、記載していません。

6 最短年数で卒業する人の割合はどのくらいですか？

入学者のおよそ1割から2割です。通学課程とは異なり、通信教育部生は仕事や家庭を持つ社会人が中心ですので、自分のペースでゆっくと時間をかけて学習を続けている人が多いのが事実です。計画的に履修すれば最短で卒業できるようにカリキュラム編成していますが、すべての方が最短年数での卒業を目指しているわけではありません。それぞれのペースで学べるのは通信教育の特長ともいえます。

7 ふだんの学習量はどれくらい必要ですか？

学習方法や学習計画は人それぞれですので、一概には言えませんが、最短年数での卒業をめざすのであれば、テキストを通勤電車の中で読んだり、就寝前1時間は必ず学習時間にあてたりする等、学習時間を生活の一部にしてしまうことが大切です。

8 入学後、学習方法に関する説明会はありますか？

4月と5月に教員による新入生ガイダンスを開催します。ガイダンスに出席してから学習を始めても構いませんが、最短年数での卒業をめざす場合は、ガイダンスを待たず、自宅学習(テキスト科目、Webスクーリング科目)を始めることをおすすめします。(44、75ページ「テキスト科目課題提出時期」参照)

※芸術教養学科の後期入学では、10月にオンライン形式で新入生ガイダンスを開催します。

9 分からないことがある時はどうしたらよいのですか？

学習内容に関する質問は、電子メール、学習用Webサイト「airUマイページ」質問フォーム等で受け付けています。分からないことがあるのは当然のことですので、積極的に質問してください。また、「airUマイページ」にはチャットボット(AIによる自動応答)を設置しています。学科・コースによっては学習相談会を開催したり、SNS上で意見交換をしたりしています。(45ページ参照)

10 一度大学を卒業していますが、総合教育科目(一般教養)をまた勉強しなければいけませんか?

総合教育科目から何単位必要、という指定はありませんので、全体で卒業要件を満たすように自由にとり入れてください(ただし、建築デザインコースは総合教育科目「情報」必修)。総合教育科目では、デッサンを基礎から学ぶ科目や、文楽、茶の湯、煎茶等を学習する「伝統芸術基礎」等、本学独自の科目を設けていますので積極的に受講してください。改めて見直してみると、以前は興味がなかった内容でもいまだからこそやってみたいと学習意欲がわいてくる科目がきっと見つかるでしょう。(12～15、18～19ページ「卒業要件」、46～57ページ「履修科目一覧」参照)

11 「英語」や「体育」は必ず履修しなければならないのですか?

必修ではありませんが、初心者や不慣れな方も取り組みやすい内容です。

12 レポートを書く自信がありません。

まずは総合教育科目のテキストレポート科目(TR)「論述基礎」のテキストを読んでください。レポートの書き方が基礎から解説されています。「論述基礎」はレポートを書くこと自体が課題になっていますので、はじめにこの科目に取り組むことをおすすめします。

13 ひとりで学習を続けられるかどうか不安です。

「入学式」や「新入生ガイダンス」に出席することをおすすめします。教員や事務局職員が学習方法について説明を行う場であるだけでなく、仲間を見つける、仲間が見つかる場でもあるからです。同じコースや同じ地域の仲間ができることで刺激にもなり、学習を進めていくうえでも張り合いが出るでしょう。毎年、「入学式」や「新入生ガイダンス」終了後に、メールアドレスや電話番号を交換し合う姿が見られます。もちろん、スクーリング受講時に周りの人たちと会話を交わしていくうちに自然に知り合いができるでしょう。また、各コースでオンラインによる学習相談会等のイベントも行っています。(44～45ページ参照)

14 課題や単位修得試験が不合格となることもあるのでしょうか?

課題に的確に解答していなかったり、内容に不備のある場合は、不合格となり、再提出・再受験が必要です。不合格となった際は、年度内の提出・受験期間に再提出・再受験できます。また、所定の締め切りまでに提出できなかった場合は受け付けられませんので、しっかりとした履修計画を立てて学習をすすめてください。(39ページ参照)

単位修得試験

1 単位修得試験とは何ですか?

テキストレポート科目(TR)は、レポートと試験の両方に合格することで初めて単位を修得できます。この試験を単位修得試験といいます。(40ページ参照)

2 試験はどのような内容ですか?

暗記ではなく、自らの考えを述べ、自分なりの結論を導き出していく論述形式の試験が中心です。基本的な事柄を身につけておくことは当然求められますが、テキストやレポート等の教材・資料を参照して解答できます。

3 試験がない科目はありますか?

自宅で作品を制作するテキスト作品科目(TW)は、課題に合格することで単位修得となりますので、試験はありません。スクーリング科目(S)は授業中課題や授業後の試験・レポートなどが科目によって課されますので、それらに合格する必要があります。

4 試験はどのように受験するのですか?

レポートに合格すれば、所定の期間に学習用Webサイト「airUマイページ」上で受験できます。(39ページ参照)

スクーリング(週末芸大 各コース専門教育科目・共通科目)

1 スクーリングは1年間にどれくらい受講しなければいけませんか？

最短で卒業する場合、以下の日数となります。卒業までの年数を長くすると1年間のスクーリング日数は少なくなります。文芸コース、アートライティングコースについては必修のスクーリング科目はありませんが、希望する場合は履修できます。

【1年次入学】

4年間でスクーリング科目を30単位以上修得する必要があります*。1年間では7~8単位です。1回のスクーリングが1単位(=2日間)ですので、1年間につき14~16日間程度です。

【3年次編入学】

2年間でスクーリング科目を24単位以上修得する必要があります*。4年次の科目(卒業研究・卒業制作)を最短の卒業年度である2年目に受講するためには、1年目、2年目ともに24日間(12単位分)です。

*動画教材で学習を進めるWebスクーリング科目もスクーリング科目の単位数に算入できます。ただし、卒業に必要なコース専門教育科目スクーリングは対面または遠隔授業です。(14~15、18~19ページ「卒業要件」、43ページ「遠隔授業」参照)

2 スクーリングはいつごろ開講されますか？

週末や連休を中心に開講しています。

3 スクーリングは京都以外でも開講されますか？

スクーリングは京都と東京を中心にを行います。それ以外の地域でも、一部のコース専門教育科目において、各地の特色を活かしたスクーリングを行っています。また、遠隔授業として実施する科目もあります。コース専門教育科目については「スクーリング日程2024 (pdf)」にて開講場所や日程を確認してください。

4 東京(遠隔含む)で卒業までのすべてのスクーリングを受けることができますか？

芸術学科、デザイン科の各コースと日本画・洋画・染織・写真コースは、卒業に必要な全単位のスクーリングを東京(遠隔含む)で開講しています。ただし、京都または東京でしか開講されない科目もありますので、科目の選択によってはこの限りではありません。また、受講希望が集中した場合は抽選となることもあります。陶芸コースは、専用の施設・設備が必要ですので、京都での受講が必要です。(42ページ参照)

5 1回のスクーリングは何日間ですか？

ほとんどのスクーリングは2日間連続(1単位)です。美術科は4日間(2単位)の科目がありますが週末2日間を2回開講します。一部の総合教育科目や資格関連科目については3日間連続等のパターンがあります。1日の授業時間は、9:30~17:40です(授業により異なるものがあります)。(43ページ参照)

6 スクーリングを遅刻・早退・欠席するとどうなるのですか？

遅刻・早退・欠席は、原則として認められません(単位は認定されません)。

7 スクーリングはどのようにして受講するのですか？

年度始めにWeb上の「airU学習ガイド」や「コースガイド」でスクーリングの開講日程を確認し、年間の受講計画を立てます。スクーリングの先行申込期間がおおよそ3ヶ月に1回のペースでありますので、受講を希望する科目を「airUマイページ」から申し込みます。受講申込結果公開日になりましたら、受講可否が学習用Webサイト「airUマイページ」で確認できます。

当日は受講票を出力のうえ受講してください。先行申込期間後は、定員に空きのある科目を開講日のおおよそ40~5日前まで追加募集します。詳細はスクーリング申込画面にてご確認ください。先行申込と異なり、申込結果は「airUマイページ」に即時公開されます。(42ページ参照)

8 希望するスクーリングは必ず受講できますか？

同一日程の同一科目に受講希望が集中した場合は抽選となり、希望にそえないことがあります。ただし、受講定員を増やしたり、同一科目を追加開講したりする等の調整を行う場合もあります。

9 スクーリングは必ず受講しなければならないのですか？

卒業するためには決められた単位数を受講しなければなりません。1年次入学は30単位以上、3年次編入学は24単位以上です。文芸コース、アートライティングコースについては必修のスクーリングはありません。(14～15、18～19ページ参照)

10 大学(短期大学等)を卒業していますが、総合教育科目(一般教養)のスクーリングを受講しなければなりませんか？

1年次入学でスクーリング6単位を認定された方(14、18ページ「既修得単位の認定(1年次入学の方のみ対象)」を参照)、および3年次編入学の方は、必須ではありません。(15、19ページ参照)

11 仕事の関係でスクーリングに行けるかどうか心配です。

定員に空きのあるスクーリング科目は、開講日のおおよそ40～5日前まで随時申し込みを受け付けています。仕事の都合等により出席が可能となった場合は、こうした制度もご利用ください。実は、スクーリングの単位数は卒業要件全体の約1/4で、残りの約3/4は自宅で取り組むテキスト科目です(1年次入学生の場合)。最短年数で卒業をめざす場合は、自宅学習にこそしっかりと目を向けて学習するように心がけてください。スクーリングだけが進み、テキスト科目がたくさん残って卒業が遅延してしまうことのないようにしてください。

12 年間で受講できるスクーリングの単位上限はありますか？

CAP制により、スクーリング科目の年間の履修上限単位は24単位とします(Webスクーリング、藝術学舎、資格関連科目除く)。

13 スクーリングを申し込んだ後、キャンセルできますか？

スクーリング開講日前日までなら、キャンセルができます。ただし、受講許可後にキャンセルする場合は、キャンセル申し出日に応じてキャンセル料(スクーリング受講料の10～100%)がかかります。(42ページ参照)

14 スクーリングでの宿泊先は斡旋してもらえるのでしょうか？

京都については各自で手配をお願いします。東京については入学後の資料で東京外苑キャンパス周辺のホテル等を紹介しています。慣れてくると、学生同士で宿の情報を交換し合ったり、自分で常宿を見つけて個人で手配する方も多いです。なお、大学に宿泊施設はありません。(43ページ「対面スクーリング時の宿泊施設」参照)

15 車やバイクで通学できますか？

京都瓜生山キャンパスには駐車場がありませんので、車やバイクでの通学はできません。公共交通機関や自転車をご利用ください。また、東京外苑キャンパスには、駐車場・駐輪場がありませんので、公共交通機関をご利用ください。(118～119ページ参照)

資格課程(博物館学芸員課程)

1 学芸員の資格は、どのコースで取得できますか？

書画コース、イラストレーションコース、映像コース、食文化デザインコース以外の全学科・コースで取得できます。(87ページ参照)

2 博物館学芸員課程はいつから受講できますか？

1年次入学生は、2年次から受講できます。編入学生は、入学年度から受講できます。(86ページ参照)

3 博物館学芸員課程を受講すると、どれくらいの単位が追加が必要となりますか？

本学の学芸員資格取得要件では、29単位の修得が必要です。ただし、これらの修得単位は「自由選択」「総合教育科目」「学部共通専門教育科目」等に含めることができます。(87ページ参照)

4 何年間で学芸員資格を取得することができますか？

卒業と同時に資格を取得するためには、標準的な場合でも3年間以上です。3年次編入学の場合、最短2年間で資格取得が可能ですが、1年目で卒業研究・卒業制作の着手要件(3年次修了相当)と並行して、学芸員資格取得に必要なほとんどの単位の修得が必要です。そのため、編入学でも卒業と同時に資格取得するまでに3年間以上かかる場合が十分にありえます。(88～89ページ参照)

5 以前、他大学で学芸員資格に関する科目を修得しました。単位を認定してもらえますか？

他大学で修得された単位は、既修得単位認定の対象とはなりません。

ただし、以前に本学(通信教育部・通学部・科目等履修)で修得した単位のうち、「博物館法施行規則に定める科目」については、入学後所定の手続きが必要ですが、既修得単位として認定の対象となります。(90ページ参照)

6 「博物館実習」の期間はどれくらいですか？

博物館の実習は、事前指導にあたる「博物館実習1」と、博物館や美術館で実習する「博物館実習2」、事後指導にあたる「博物館実習3」からなります。「博物館実習1(事前指導)」および「博物館実習3(事後指導)」は本学で各3日間受講します。「博物館実習2(館園実習)」は本学の「芸術館」(博物館相当施設)であれば5日間です。外部の博物館や美術館であれば館により異なりますが、1週間程度で実施されるところが多いようです。(90ページ参照)

7 「博物館実習2(館園実習)」はどこで行うのですか？

京都府認可の博物館相当施設である京都瓜生山キャンパス内「芸術館」、または各自が希望する外部の博物館や美術館で行います。ただし、芸術教養学科、文芸コース、アトライティングコースの方は「芸術館」で受講します。外部の博物館や美術館で行うことはできません。(90ページ参照)

8 学芸員資格を取得すれば、学芸員として博物館や美術館で働くことができますか？

実際に博物館や美術館で働くためには、各館の採用試験に合格しなければなりません。求人が非常に少ないため、資格を取得すれば、学芸員として勤務できるというわけではありません。しかし地域の美術館等でボランティアスタッフとして活動する等、この資格を活かして幅広く活動している方もいらっしゃいます。(90ページ参照)

9 入学せずに、博物館学芸員課程の科目だけを受講できますか？

日本の学士、修士、博士いずれかの学位を有する方(見込含む)を対象とした科目等履修生制度があります。(91～104ページ「科目等履修生」参照)

10 パソコンの所有が必須とありますが、どの程度の操作能力が必要ですか？

本課程では、学習用Webサイト「airUマイページ」を利用して学習しますのでテキスト入力や作成したファイルのアップロード等基本的な操作ができれば問題ありません。また、38ページ「システム要件」も確認ください。

科目等履修生(博物館学芸員課程)

1 短大卒業(短期大学士)ですが、出願できますか？

残念ながら、日本の学士、修士、博士いずれかの学位を有していない方は、出願できません(91ページ参照)。ただし、京都芸術大学通信教育部芸術教養学科・芸術学科・美術科・デザイン科(書画コース、イラストレーションコース、映像コース、食文化デザインコース除く)の正科生(4年制)に編入学し、博物館学芸員課程に受講登録をして、定められた科目を修得することで、卒業と同時に資格を取得する方法があります。(87～90ページ参照)

2 以前、他大学で学芸員資格に関する科目を修得しました。単位を認定してもらえますか？

他大学で修得された単位は、既修得単位認定の対象とはなりません。

ただし、以前に本学(通信教育部・通学部・科目等履修)で修得した単位のうち、「博物館法施行規則に定める科目」については、入学後所定の手続きが必要ですが、既修得単位として認定の対象となります。(90ページ参照)

3 テキスト代はかかりますか？

必修科目（テキストレポート科目およびスクーリング科目）の指定テキストは、すべて有料です。電子版の場合はAmazonが運営している電子書籍ストア「Kindleストア」等で各自購入、印刷製本版の場合はオンデマンドブックで各自購入できます。市販されている場合は各自で購入したり、図書館等で借りて学習することも可能です。（86ページ参照）

4 レポート課題や単位修得試験が不合格となることもあるのでしょうか？

課題に的確に解答していなかったり、内容に不備のある場合は、不合格となり、再提出・再受験が必要です。不合格となった際は、年度内の提出・受験期間に再提出・再受験できます。また、所定の締め切りまでに提出できなかった場合は受け付けられませんので、しっかりとした履修計画を立てて学習をすすめてください。（100ページ参照）

5 スクーリング受講希望日を変更することはできますか？

4月・6月開講「博物館実習1（事前指導）」の受講希望日は、出願時から変更できません。

一方、「博物館実習2（館園実習）」は6月末、「博物館実習3（事後指導）」は9月末まで受講希望日の変更を受け付けています。（101ページ参照）

6 スクーリングを欠席・遅刻・早退するとどうなるのですか？

スクーリングは、欠席・遅刻・早退をすると単位認定されません。1日の授業時間は原則9：30～17：40です。スクーリング日時には十分気をつけてください。（101ページ参照）

7 「博物館実習2（館園実習）」を学外の博物館や美術館で受講することは可能ですか？

学外の館で実習を受講することはできません。

必ず本学京都瓜生山キャンパスの芸術館（博物館相当施設）もしくは、長野県茅野市にある本学附属康耀堂美術館にて受講してください。（102ページ参照）

8 学芸員資格を取得すれば、学芸員として博物館や美術館で働くことができますか？

実際に博物館や美術館で働くためには、各館の採用試験に合格しなければなりません。

求人が非常に少ないため、資格を取得すれば、学芸員として勤務できるというわけではありません。しかし地域の美術館等でボランティアスタッフとして活躍する等、この資格を活かして幅広く活動している方もいらっしゃいます。

9 パソコンについて、どの程度の操作能力が必要ですか？

本課程では、学習用Webサイト「airUマイページ」を利用して学習しますのでテキスト入力や作成したファイルのアップロード等基本的な操作ができれば問題ありません。「airUマイページ」での学習方法については初回スクーリング時に説明します。ご不明点などがあれば、スクーリング時に質問してください。（100ページ参照）

10 分からないことがある時はどうしたらよいのですか？

学習や事務手続きに関する質問・相談は、学習用Webサイト「airUマイページ」もしくは電子メールで受付しています。（102ページ参照）

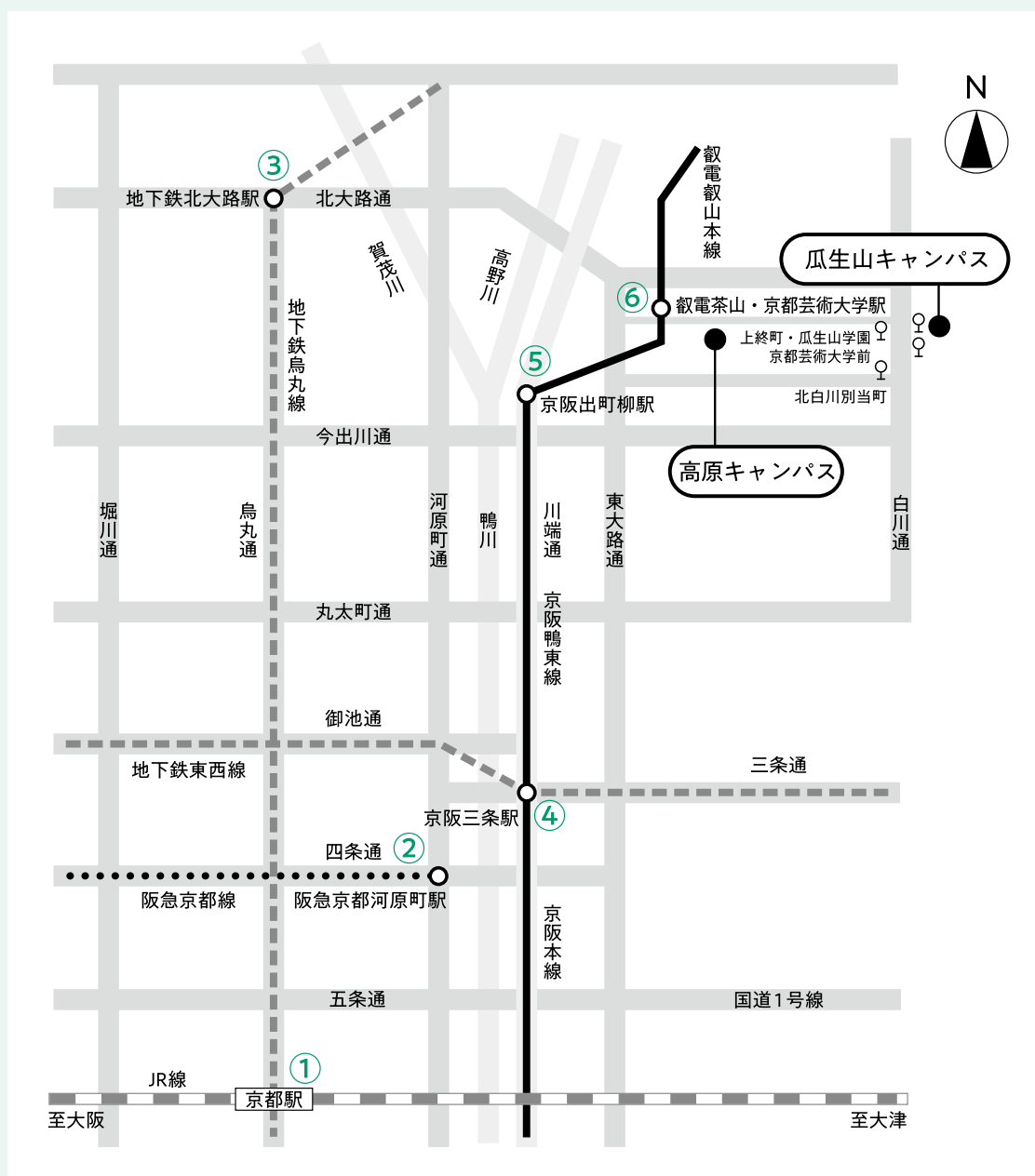
アクセス

京都瓜生山キャンパス

〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116

通信教育課程入学課 ☎ 0120-20-9141

最寄のバス停留所：上終町・瓜生山学園 京都芸術大学前



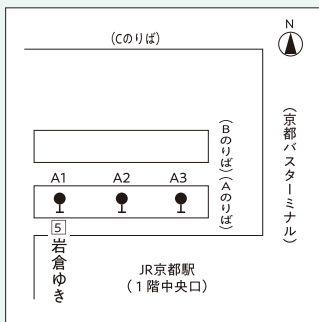
※2023年11月現在の交通機関、駅、停留所です。

※所要時間は標準時間です。天候や交通事情により変わりますので、ご注意ください。

※京都瓜生山キャンパスには駐車場がありません。自動車、バイクでの来学はご注意ください。

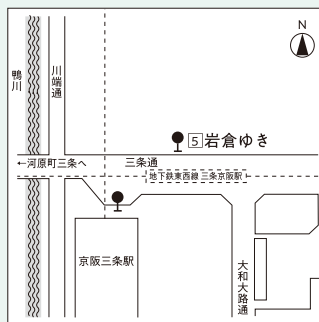
※市バス5系統は、バス正面の表示が白色の「岩倉ゆき」または「岩倉操車場ゆき」に乗車してください。

交通機関



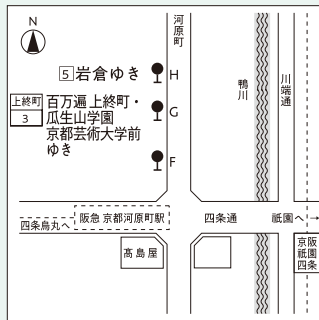
① JR京都駅

- 市バス5系統 岩倉ゆき
[上終町・瓜生山学園
京都芸術大学前]下車
(JR「京都駅」より約50分)



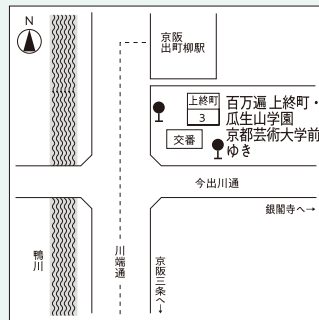
④ 京阪三条駅

- 市バス5系統 岩倉ゆき
[上終町・瓜生山学園
京都芸術大学前]下車
(京阪「三条駅」より約20分)



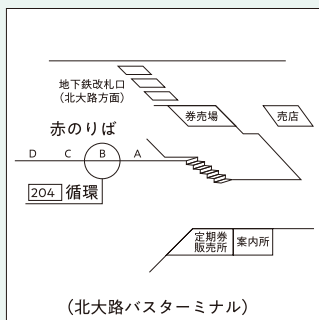
② 阪急京都河原町駅

- 市バス5系統 岩倉ゆき
- 市バス3系統 百万遍
上終町・瓜生山学園
京都芸術大学前ゆき
[上終町・瓜生山学園
京都芸術大学前]下車
(阪急「京都河原町駅」より
約30分)



⑤ 京阪出町柳駅

- 市バス3系統 百万遍
上終町・瓜生山学園
京都芸術大学前ゆき
[上終町・瓜生山学園
京都芸術大学前]下車
(京阪「出町柳駅」より約15分)



③ JR京都駅から
地下鉄北大路駅

- 北大路駅下車 (JR「京
都駅」より約15分) 乗り
換え
- 市バス204系統 循環
北大路通 高野 銀閣寺
ゆき
[上終町・瓜生山学園
京都芸術大学前]下車
(地下鉄「北大路駅」より
約15分)



⑥ 叡山電鉄
茶山・京都芸術大学駅

- 京阪「出町柳駅」で乗り
換え、叡山電鉄「茶山・
京都芸術大学駅」
下車徒歩約10分

東京外苑キャンパス

〒107-0061 東京都港区北青山1-7-15

交通機関

- JR総武線「信濃町駅」(改札左折)より徒歩約5分
- 東京メトロ半蔵門線・銀座線、都営地下鉄大江戸線「青山一丁目駅」(0番出口)より徒歩約10分

※外苑キャンパスには駐車場・駐輪場はありません。
自動車、バイク、自転車での来学はご遠慮ください。



大阪サテライトキャンパス

〒530-0018 大阪市北区小松原町2-4 大阪富国生命ビル5階

交通機関

- 地下鉄御堂筋線「梅田駅」(南改札口)より徒歩約3分
- 阪神「大阪梅田駅」(東出口)より徒歩約3分
- 地下鉄谷町線「東梅田駅」(北改札口)より徒歩約1分
- JR「大阪駅」(南口)より徒歩約5分
- 阪急「大阪梅田駅」(2階中央改札口)より徒歩約5分

※総合教育科目のスクーリング科目の一部を開講します。 ※大阪サテライトキャンパスには
駐車場・駐輪場はありません。自動車、バイク、自転車での来学はご遠慮ください。





学校法人 瓜生山学園

京都芸術大学 通信教育部

〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山 2-116

【お問い合わせ先】

出願書類を提出する前

通信教育課程入学課 ☎0120-20-9141 E-mail : tsushin@office.kyoto-art.ac.jp
月～土 / 10:00 ～ 16:00 〈日祝休〉
(2023年12月1日～2024年1月13日は平日のみ 〈土日祝休〉)

出願書類を提出した後

通信教育部芸術学部願書受付係 E-mail : question@air-u.kyoto-art.ac.jp
月～土 / 10:00 ～ 16:00 〈日祝休〉

■芸術教養学科・芸術学科・美術科・デザイン科 : Tel.075-791-9988

〈開設期間 2024年1月15日～4月27日 / 後期入学(芸術教養学科のみ) 2024年8月22日～10月31日〉

■科目等履修生 : Tel.075-791-8068

〈開設期間 2024年1月15日～3月30日〉